

川崎市人権に関する市民意識調査 報 告 書

令和8（2026）年2月

川 崎 市

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	抽出方法	1
4	調査期間	1
5	調査方法	1
6	回収結果	1
7	集計結果の表記規則について	1

II 調査結果

1	回答者について	3
2	人権についての興味関心・課題について	7
3	人権についての知識・相談窓口の認知について	10
4	それぞれの人権課題について	12
5	人権侵害についての考え・人権侵害を受けた経験や対応について	30
6	川崎市での人権尊重・共存共栄について	38
7	子どもの人権について	44
8	男女平等に関する人権について	48
9	高齢者の人権について	52
10	障害者の人権について	56
11	同和問題について	62
12	外国人の人権について	68
13	拉致問題について	72
14	性的マイノリティの人権について	76
15	インターネットやSNSによる人権問題について	80

III 調査結果のまとめ

1	基本属性のクロス集計	84
---	------------------	----

IV 資 料

1	記述回答	88
2	調査票	99

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、人権に関する市民の意識を把握し、全ての市民が不当な差別を受けることなく、個人として尊重され、生き生きと暮らすことができる人権尊重のまちづくりを推進していくための基礎資料として活用することを目的として実施した。

2 調査対象

川崎市在住の満18以上の方2,500人

3 抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

4 調査期間

令和7（2025）年5月1日～令和7（2025）年5月30日

5 調査方法

郵送による配布・郵送回収／インターネット回答

6 回収結果

配 布 数	有効回答数	有効回答率
2,500通	881通	35.2%

7 集計結果の表記規則について

本報告書の集計結果の表記規則は次のとおりである。

- 全体で881の回答を得た（n=881）。表およびグラフ中の「n」は、各設問に対する回答比率の基数である。
- 母数「n」を基に算出した数値は百分率で表記し、小数点第2位を四捨五入している。そのため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがあるが、表記上は「100.0」としている。
- 無回答の扱いについて
無回答数は一部の集計を除き、単一回答および複数回答可の設問ともに表およびグラフに表記する。
- グラフ内割合の表記について
グラフ内割合の表記において、すべての値について表記するのを原則としているが、紙面の制約上省略しているもの（0.0%や低割合数値など）が一部ある。
- グラフ表記について
単一回答のグラフは円グラフ表記、複数回答可のグラフは棒グラフ表記を基本とするが、回答項目の多い設問などの場合、見やすさを優先して例外表記としたものも一部ある。
- 複数回答可の設問における表およびグラフについて
回答件数の合計は母数（n）を超え、また回答比率の合計は100.0%を超えた表記となっている。

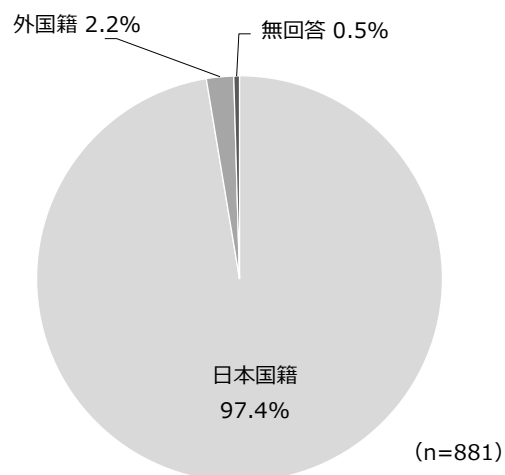
- クロス集計による分析において、分析軸の項目母数「n」が 30 未満のものは、全体比率と顕著な差がある選択肢であっても本文中ではふれていないことがある。
- 図表で「MA」と表記してあるのは、その質問が複数回答可であったことを表している。

Ⅱ 調査結果

1 回答者について

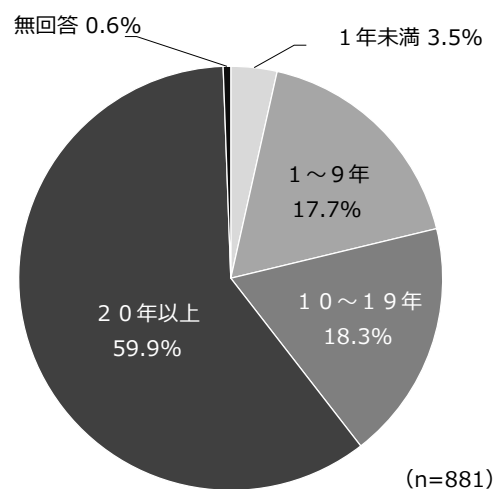
問 1 あなたの国籍をお答えください。(○は1つ)

回答者の国籍は「日本国籍」が97.4%と大半を占め、「外国籍」は2.2%となっている。



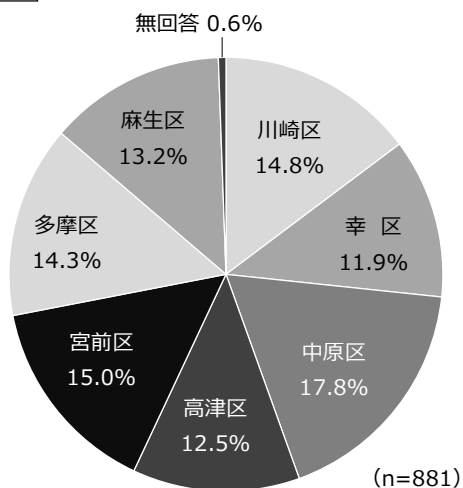
問 2 あなたの川崎市内の居住年数をお答えください。(○は1つ)

回答者の居住年数は「20年以上」が59.9%と割合が最も高く、次いで「10～19年」が18.3%、「1～9年」が17.7%となっている。



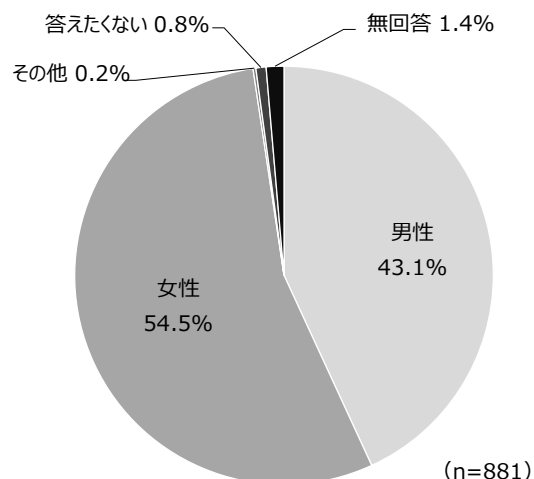
問 3 あなたの住んでいる区をお答えください。(○は1つ)

回答者の居住区は「川崎区」14.8%、「幸区」11.9%、「中原区」17.8%、「高津区」12.5%、「宮前区」15.0%、「多摩区」14.3%、「麻生区」13.2%となっている。各区に比較的均等に分布している。



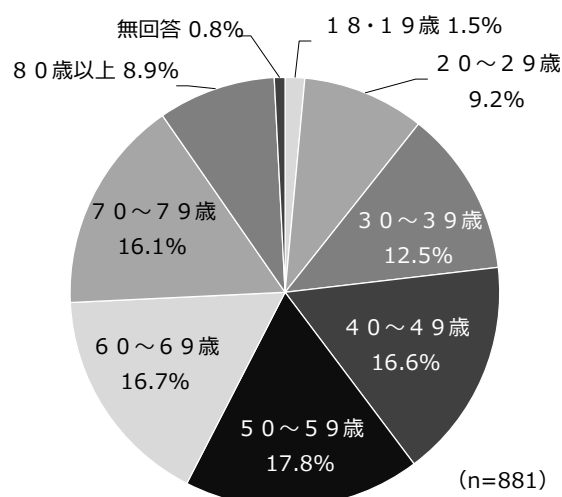
問 4 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

回答者の性別は「男性」が43.1%、「女性」が54.5%、「その他」が0.2%、「答えたくない」が0.8%となっている。



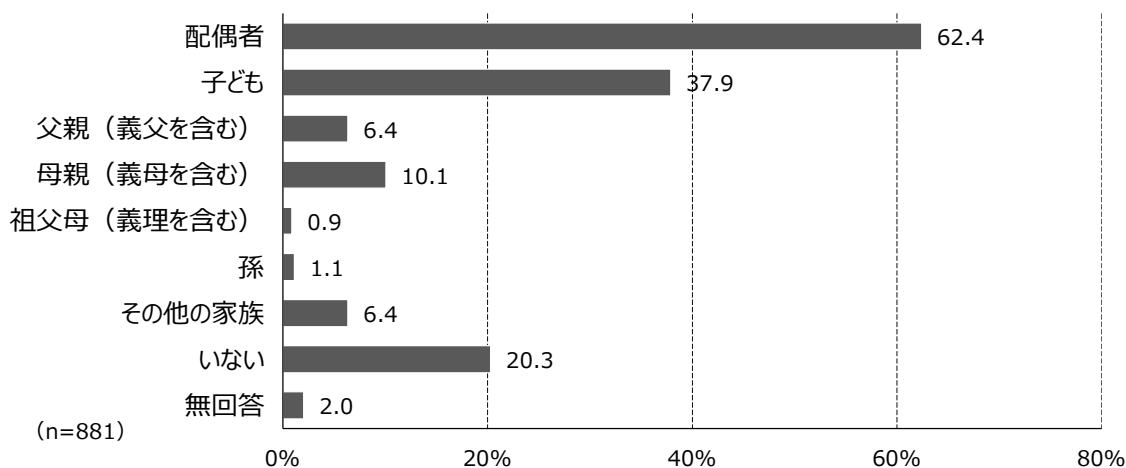
問 5 あなたの年齢をお答えください(令和7(2025)年4月1日現在の満年齢)。(○は1つ)

回答者の年齢は、「50～59歳」が17.8%で割合が最も高く、次いで「60～69歳」が16.7%、「40～49歳」が16.6%、「70～79歳」が16.1%となっている。



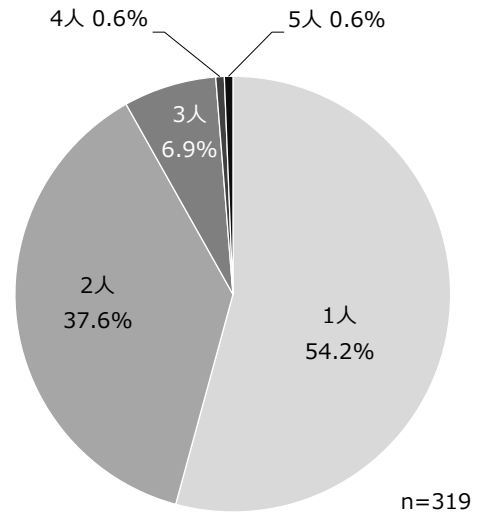
問 6 あなたと一緒に住んでいる家族をお答えください。(○はいくつでも) また、あなたを含めて家族全員の人数をお答えください。

回答者が一緒に住んでいる家族は、「配偶者」が62.4%と割合が最も高く、次いで「子ども」が37.9%、「いない」が20.3%となっている。



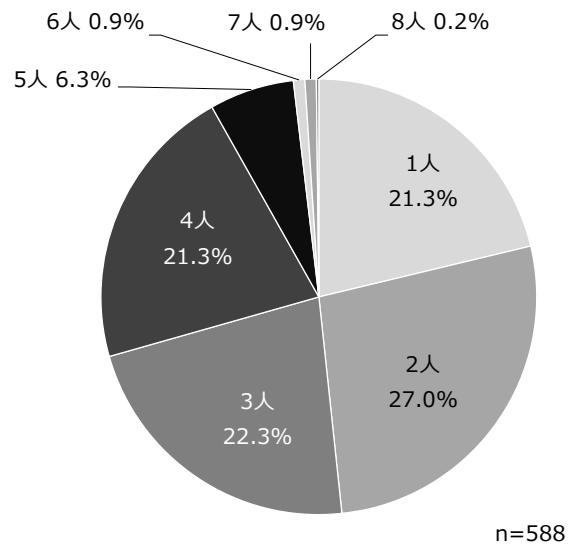
【子どもの人数】※子どもの人数の回答があった n=319

子どもの人数では「1人」が54.2%と割合が最も高く、次いで「2人」が37.6%、「3人」が6.9%となっている。



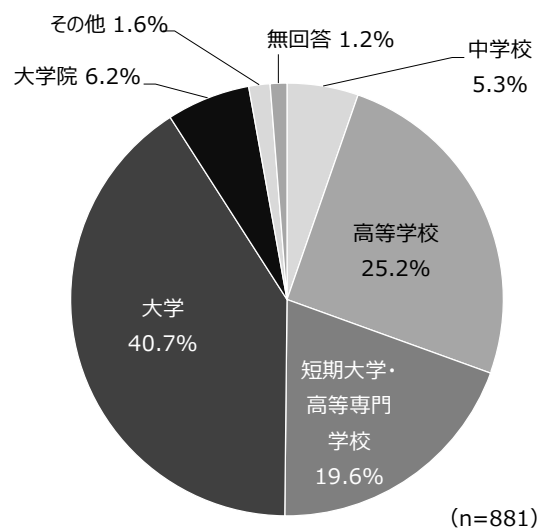
【世帯人数】※家族全員の人数の回答があった n=588

世帯人数では「2人」が27.0%と割合が最も高く、次いで「3人」が22.3%となっている。



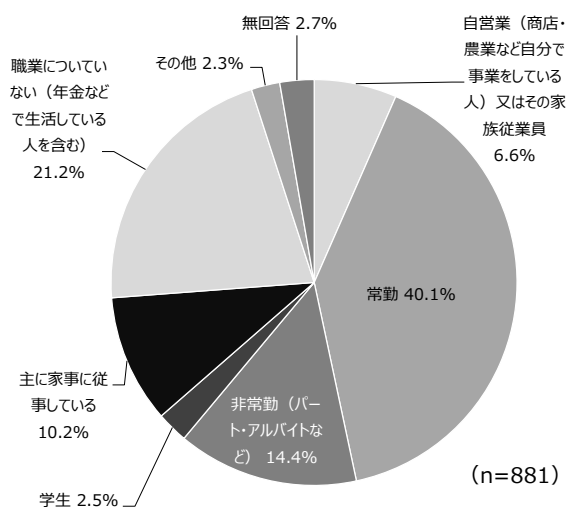
問7 あなたの最終学歴（在学中を含む）をお答えください。（○は1つ）

回答者の最終学歴では、「大学」が40.7%で割合が最も高く、次いで「高等学校」が25.2%、「短期大学・高等専門学校」が19.6%となっている。



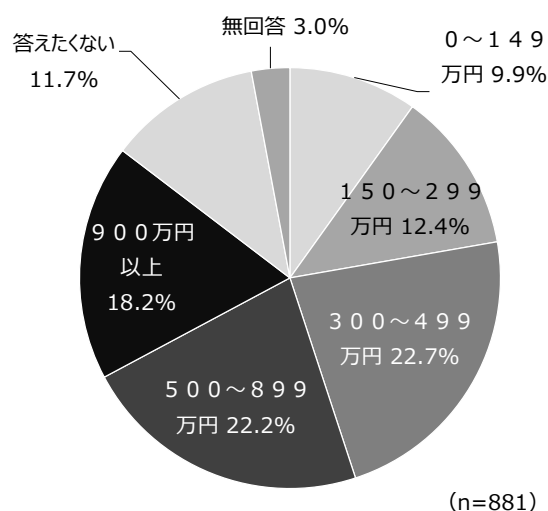
問 8 あなたの現在の職業をお答えください。(いくつかあてはまる場合は、主なものに○を1つ)

回答者の職業では「常勤」が40.1%と割合が最も高く、次いで「職業についてない（年金などで生活している人を含む）」が21.2%、「非常勤（パート・アルバイトなど）」が14.4%となっている。



問 9 あなたの世帯の年収（税込み）は次のどの範囲かお答えください。（○は1つ）

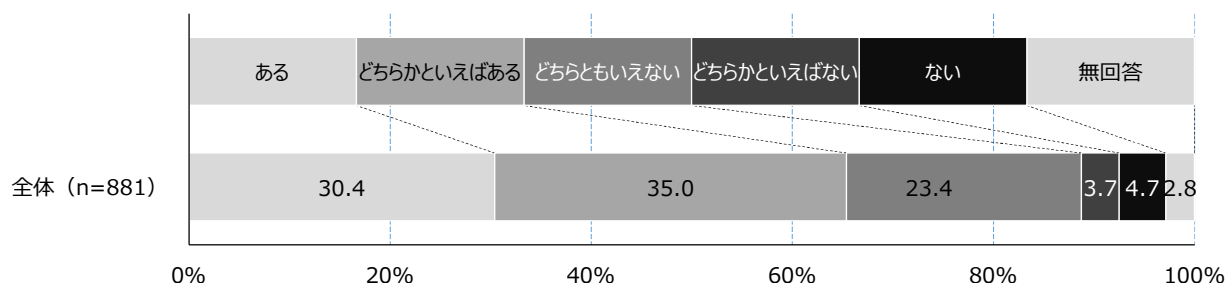
回答者の世帯年収では「300～499 万円」が22.7%と割合が最も高く、次いで「500～899 万円」が22.2%、「900 万円以上」が18.2%となっている。



2 人権についての興味関心・課題について

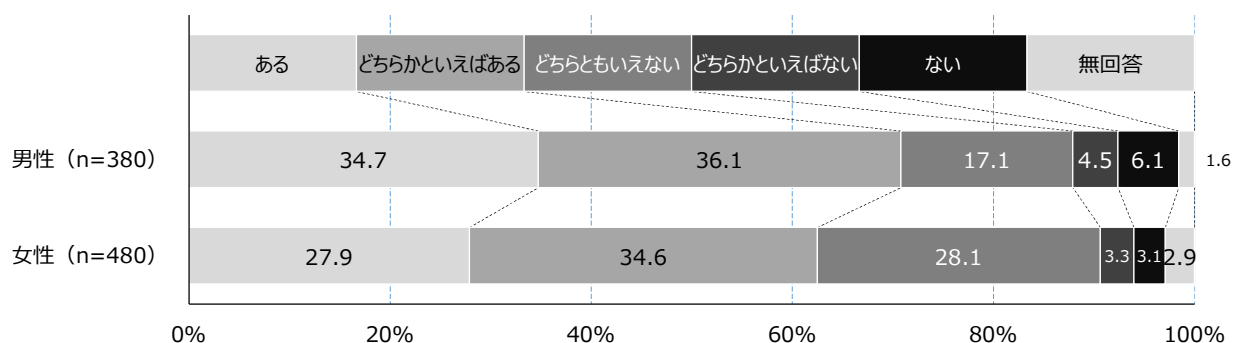
問 10 あなたは人権について興味や関心がありますか。(○は1つ)

「どちらかといえばある」が 35.0%と割合が最も高く、次いで、「ある」が 30.4%となっている。



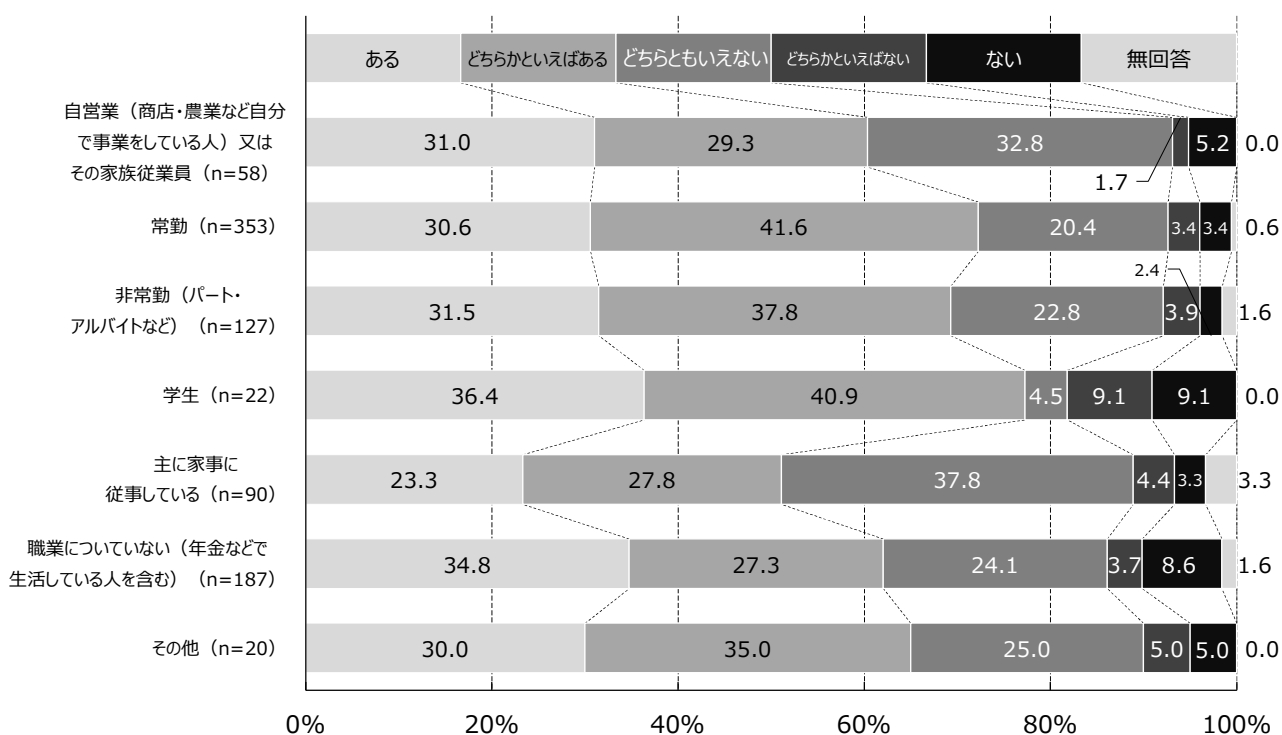
【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「どちらかといえばある」の割合が最も高い。「ある」では、男性が女性よりも 6.8 ポイント高く、「どちらともいえない」では、女性が男性よりも 11.0 ポイント高い。



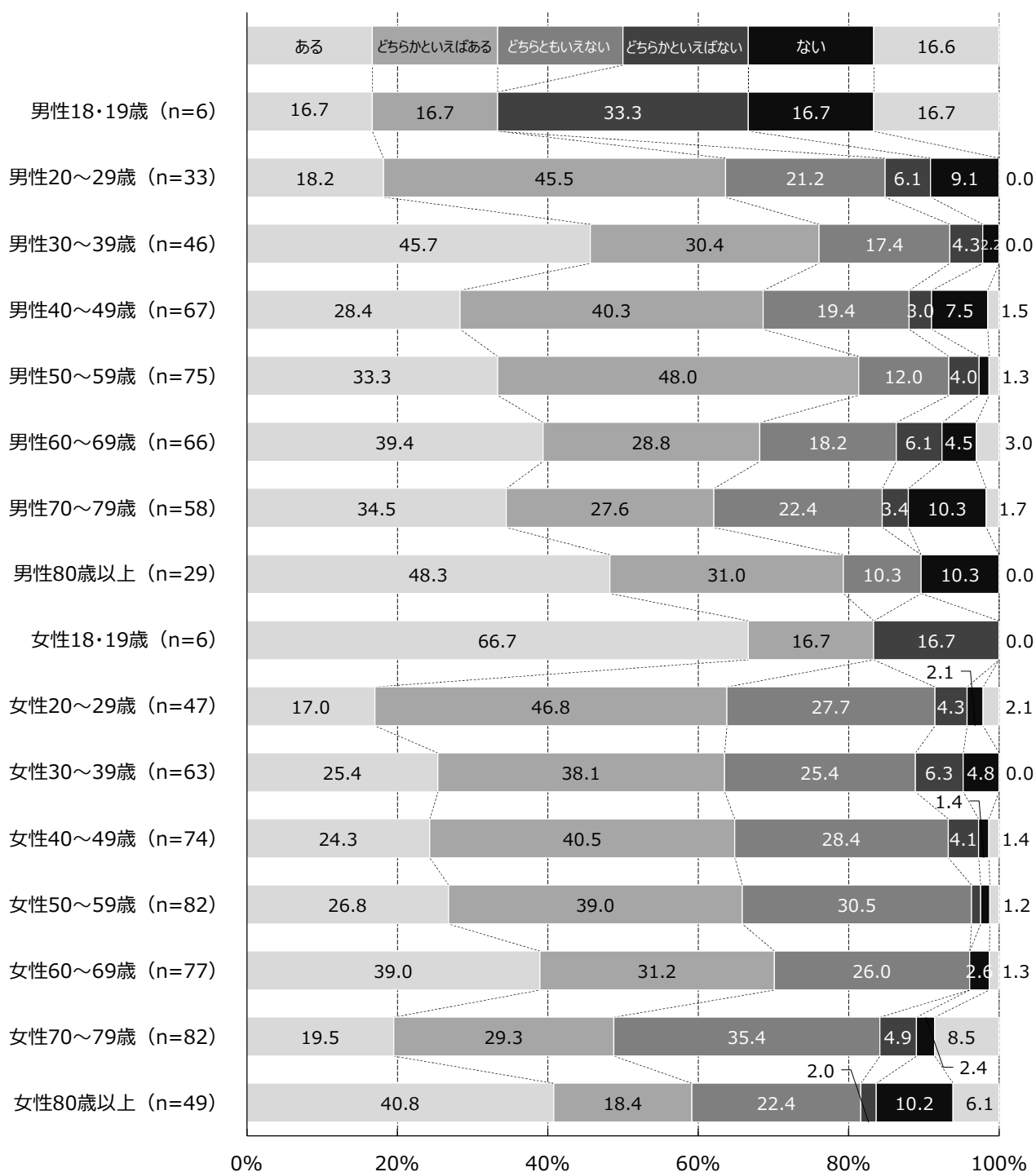
【職業別】

職業別でみると、「常勤」の「どちらかといえばある」が 41.6%と割合が最も高い。



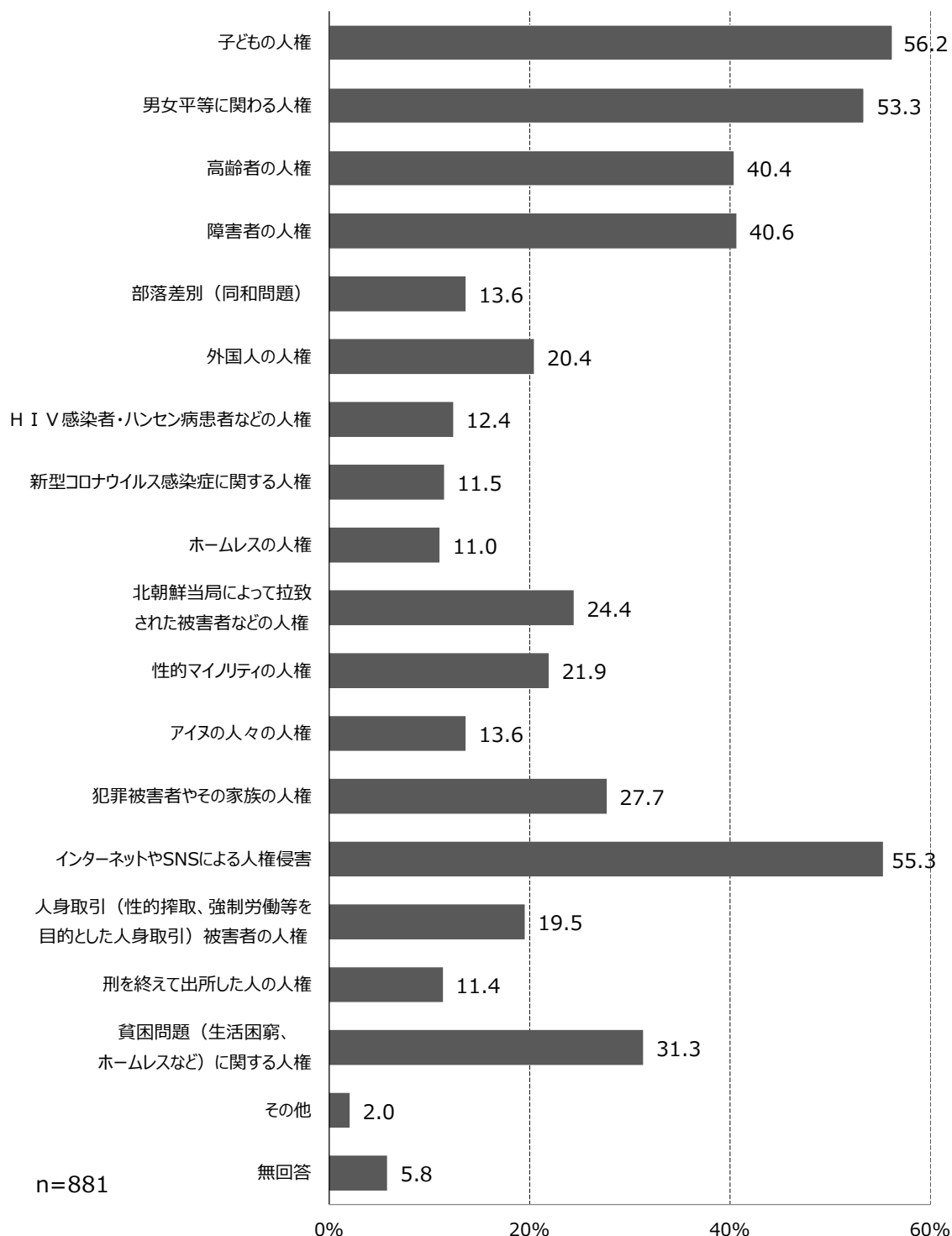
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「ある」「どちらかといえばある」の割合が高い傾向がみられる。「ある」でみると、「男性 30～39 歳」「男性 80 歳以上」の割合が高い。



問 11 あなたが関心のある人権課題についてお答えください。(〇はいくつでも)

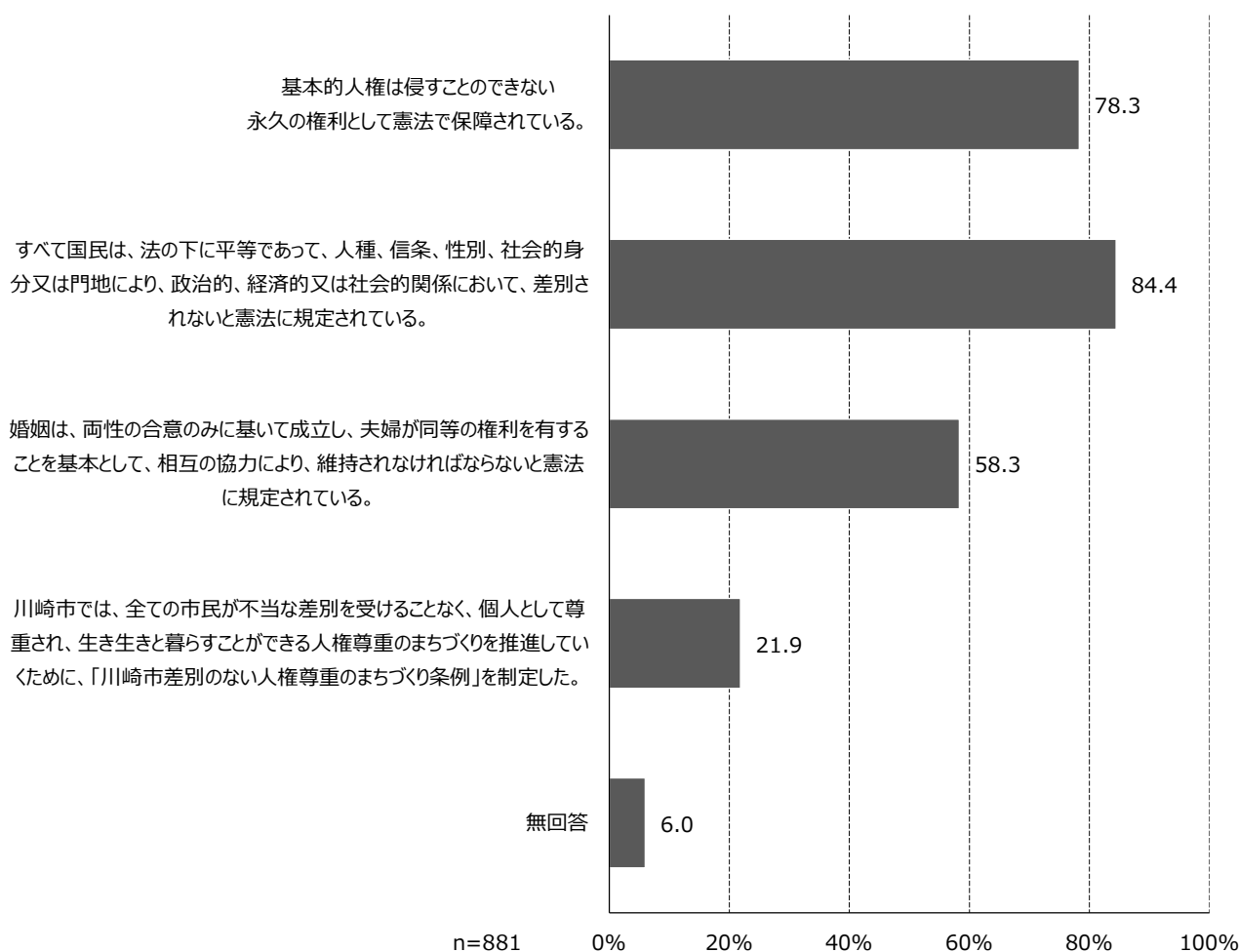
「子どもの人権」が56.2%と割合が最も高く、次いで「インターネットやSNSによる人権侵害」が55.3%、「男女平等に関わる人権」が53.3%となっている。



3 人権についての知識・相談窓口の認知について

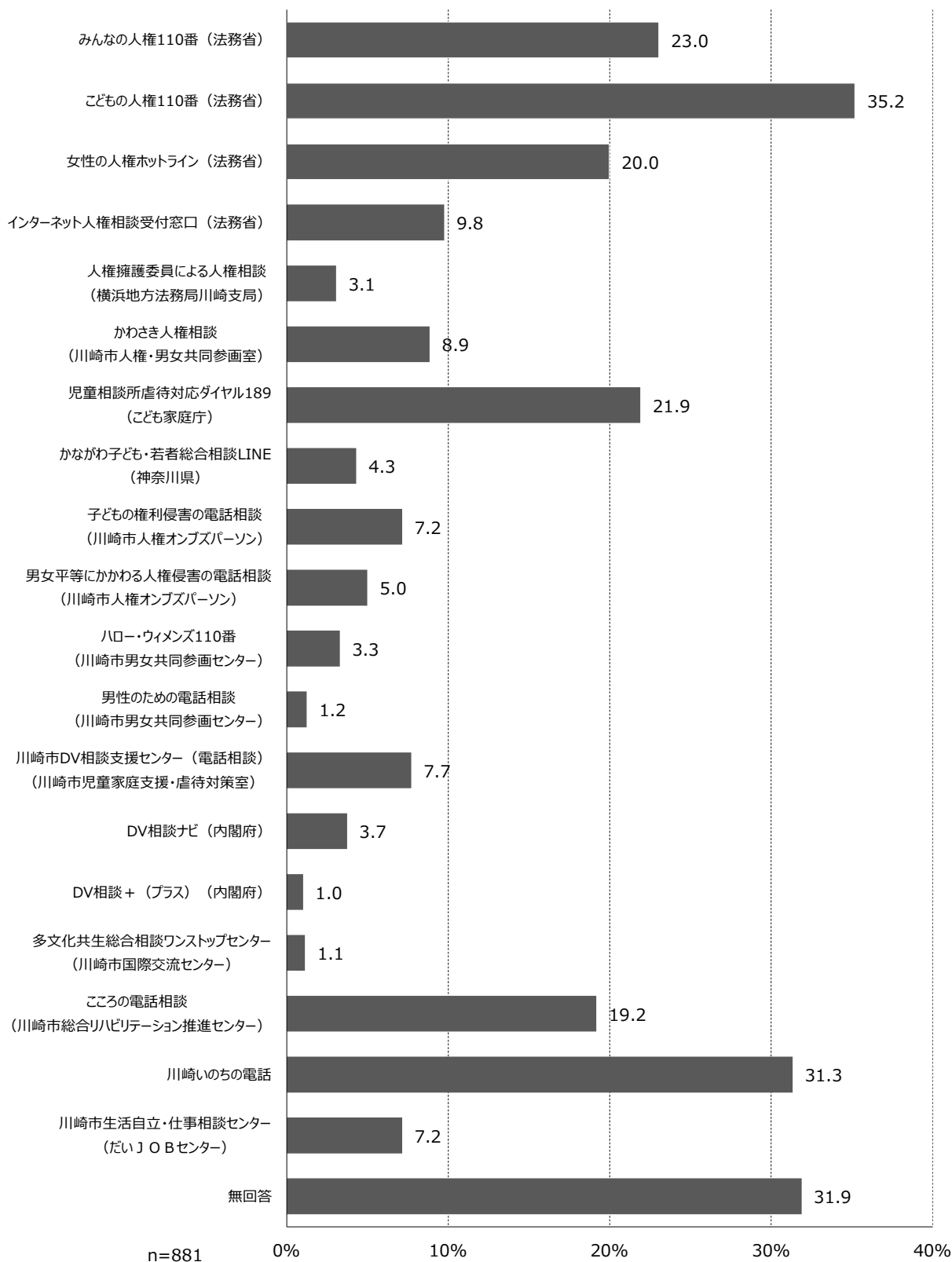
問 12 人権について、あなたが知っていることをお答えください。(〇はいくつでも)

「すべての国民は、法の下に平等であって、人権、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」と憲法に規定されている」が84.4%と割合が最も高く、次いで「基本的人権は侵すことのできない永久の権利として憲法で保障されている」は78.3%、「婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない」と憲法に規定されている」は58.3%となっている。



問 13 国や市の機関のさまざまな人権相談窓口について、あなたが知っているものをお答えください。(〇はいくつでも)

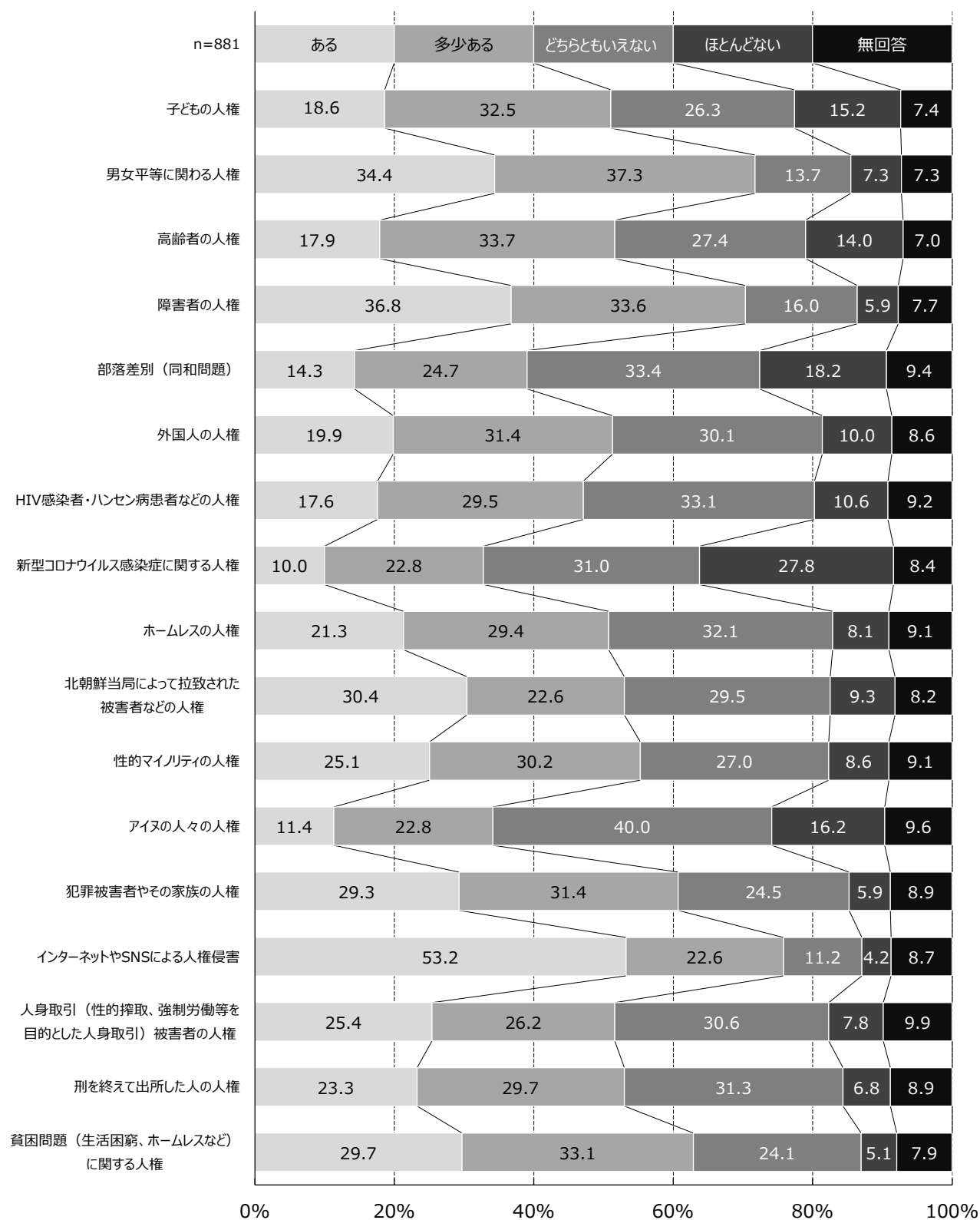
「こどもの人権110番(法務省)」が35.2%と割合が最も高く、次いで「川崎いのちの電話」が31.3%、「みんなの人権110番(法務省)」が23.0%となっている。※「無回答」は除く



4 それぞれの人権課題について

問 14 あなたは、次のそれぞれの人権課題について、現在、差別があると思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

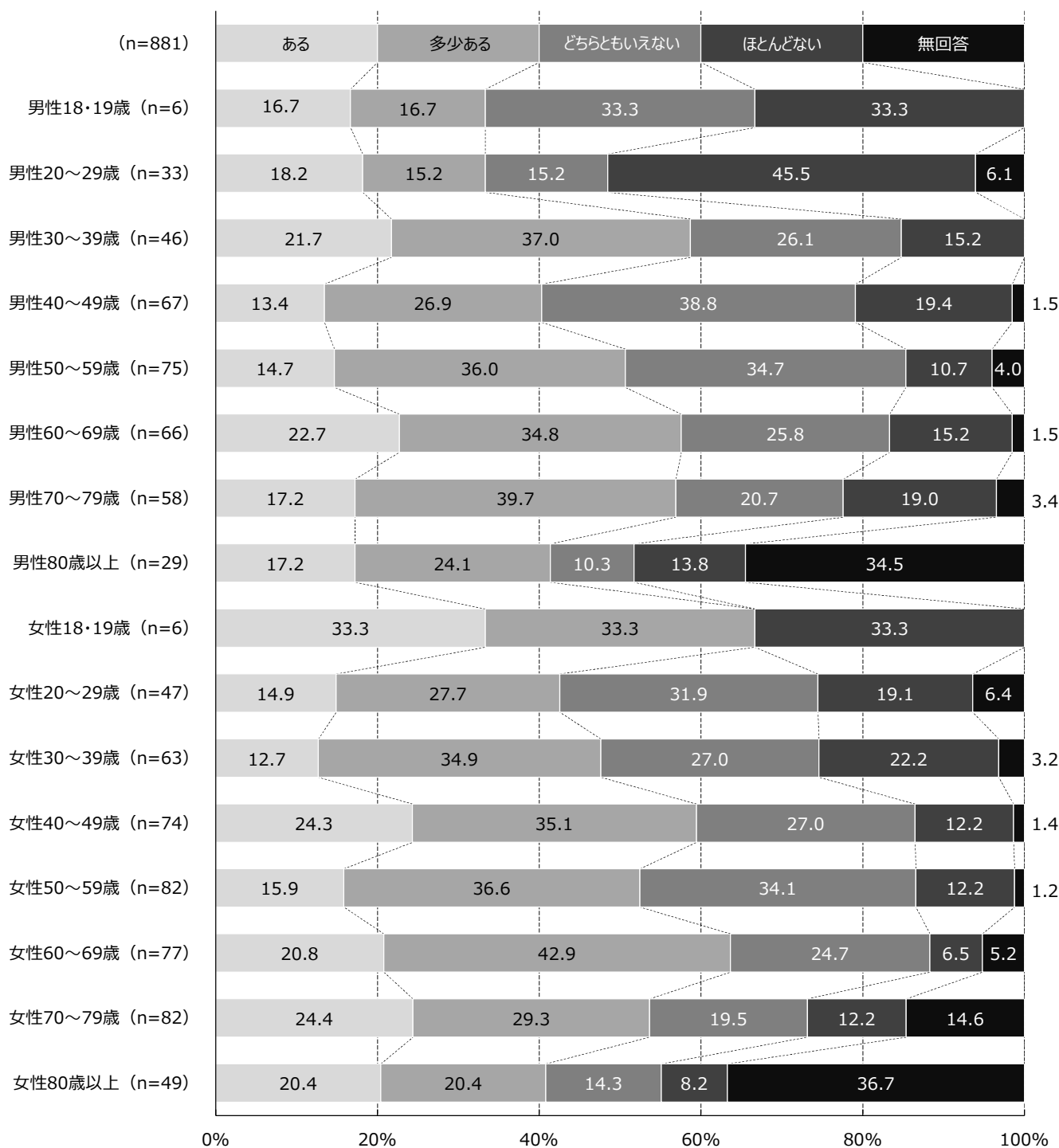
「ある」「多少ある」でみると、「男女平等に関わる人権」合計 71.7%、「障害者の人権」合計 70.4%、「インターネットや SNS による人権侵害」合計 75.8%と割合が高く、「ある」でみると、「インターネットや SNS による人権侵害」が 53.2%と割合が高い。



(1) 子どもの人権

【性・年齢別】

「ある」「多少ある」でみると、「男性 30～39 歳」「男性 60～69 歳」「男性 70～79 歳」「女性 40～49 歳」「女性 60～69 歳」の割合が高い。

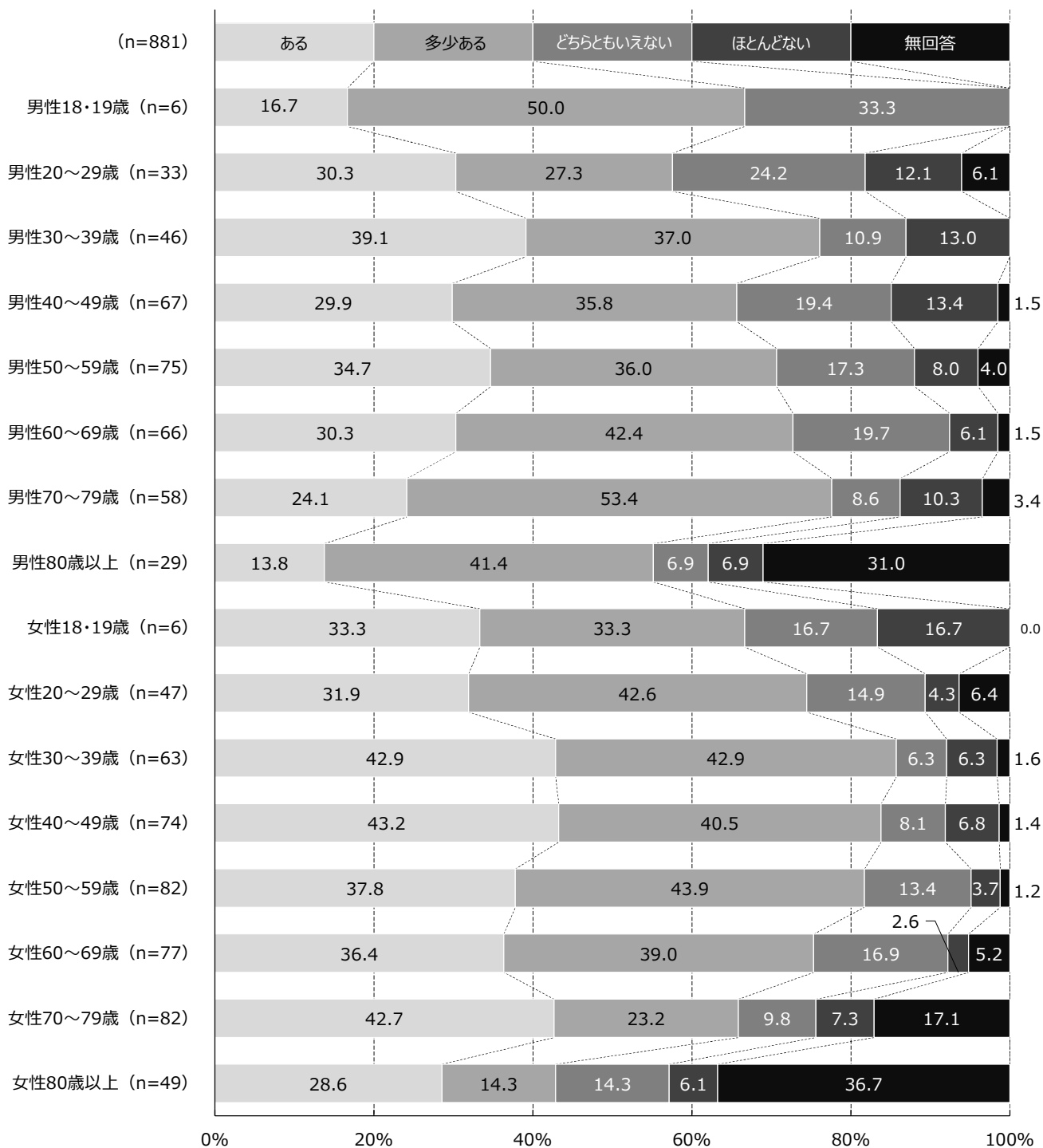


※ (1) ～ (17) の全ての人権課題において、「男性 80 歳以上」「女性 80 歳以上」の無回答率が高いため、「無回答」以外の選択肢の割合が、他の年齢層に比べて低くなる傾向がある。

(2) 男女平等に関わる人権

【性・年齢別】

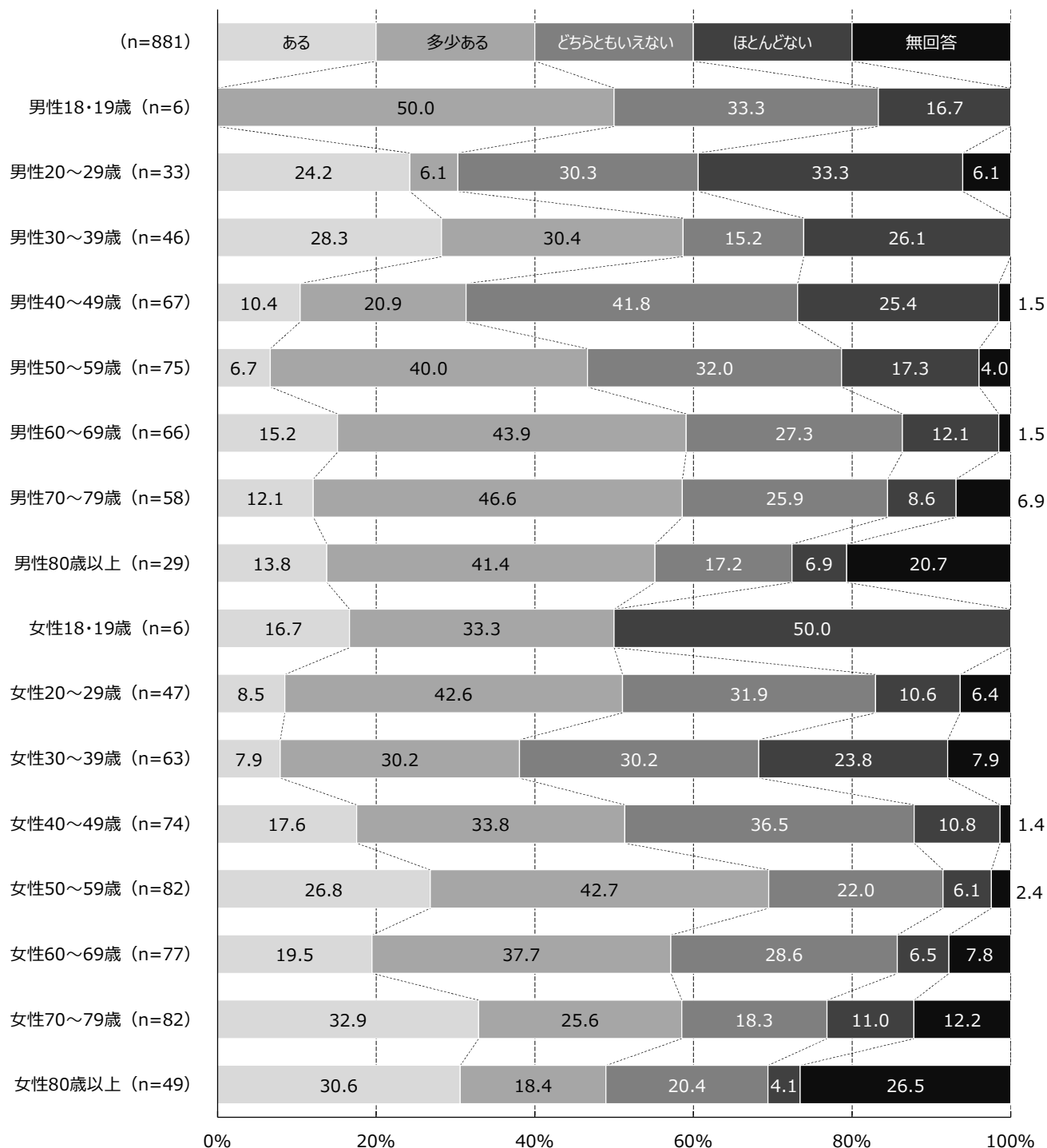
「ある」「多少ある」でみると、全体的に「男性」よりも「女性」の方が割合が高く、「男性 20～29 歳」「男性 80 歳以上」「女性 80 歳以上」の割合が低い。



(3) 高齢者の人権

【性・年齢別】

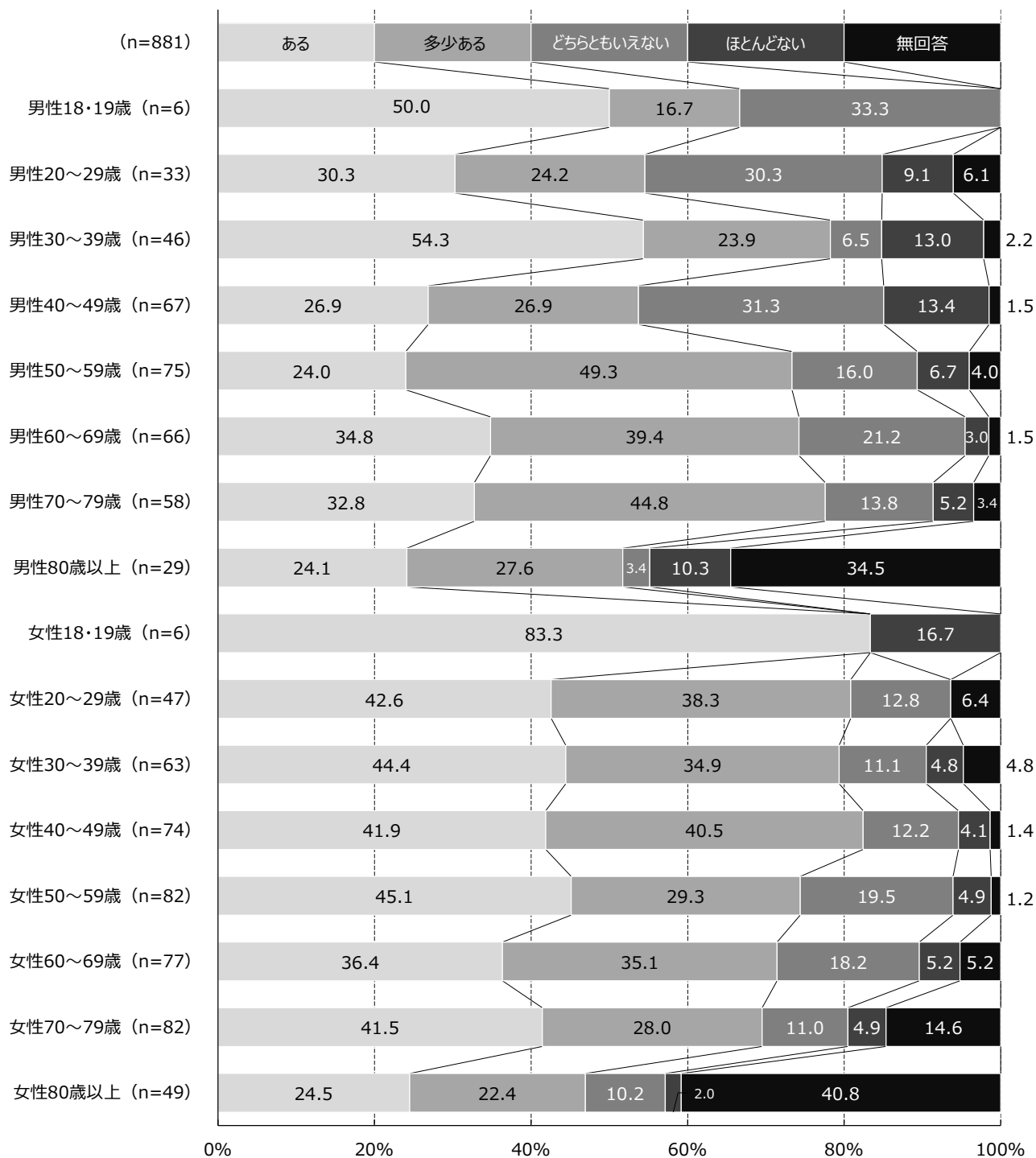
「ある」「多少ある」でみると、「女性 50～59 歳」の割合が高い。



(4) 障害者の人権

【性・年齢別】

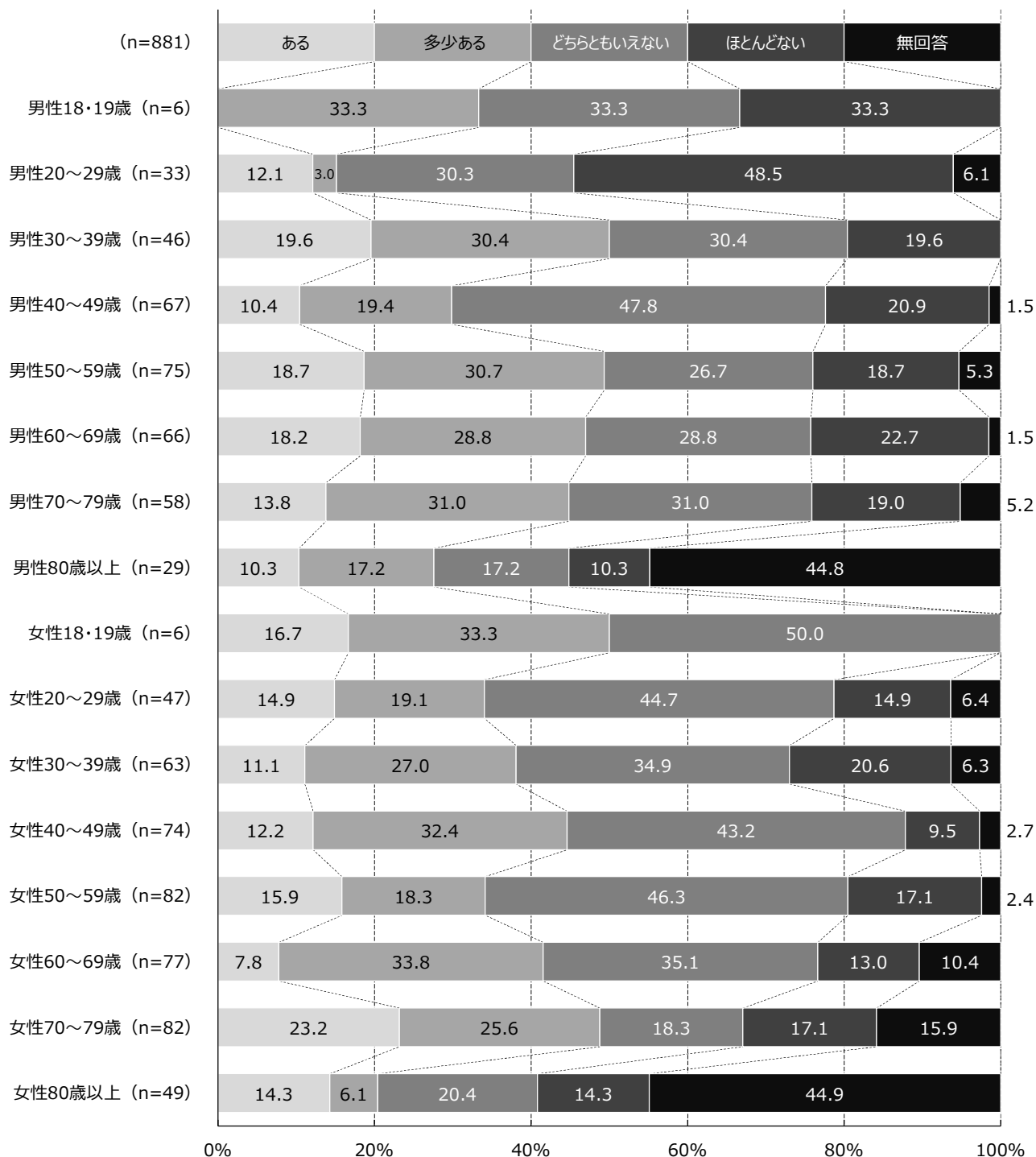
「ある」「多少ある」でみると、「男性 20～29 歳」「男性 40～49 歳」「男性 80 歳以上」「女性 80 歳以上」の割合が低い。



(5) 部落差別（同和問題）

【性・年齢別】

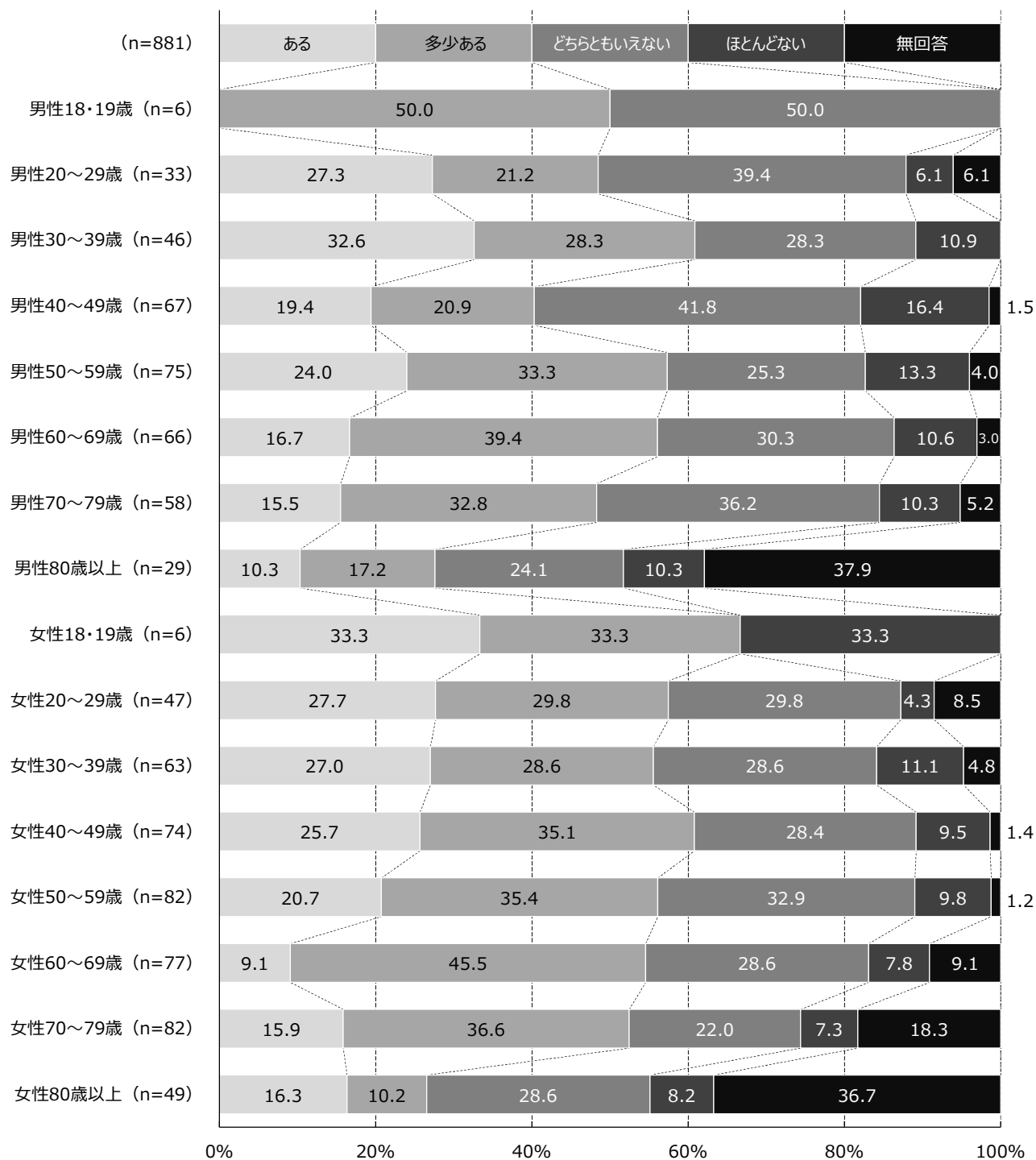
「ある」「多少ある」でみると、「男性 20～29 歳」「女性 80 歳以上」の割合が低い。



(6) 外国人の人権

【性・年齢別】

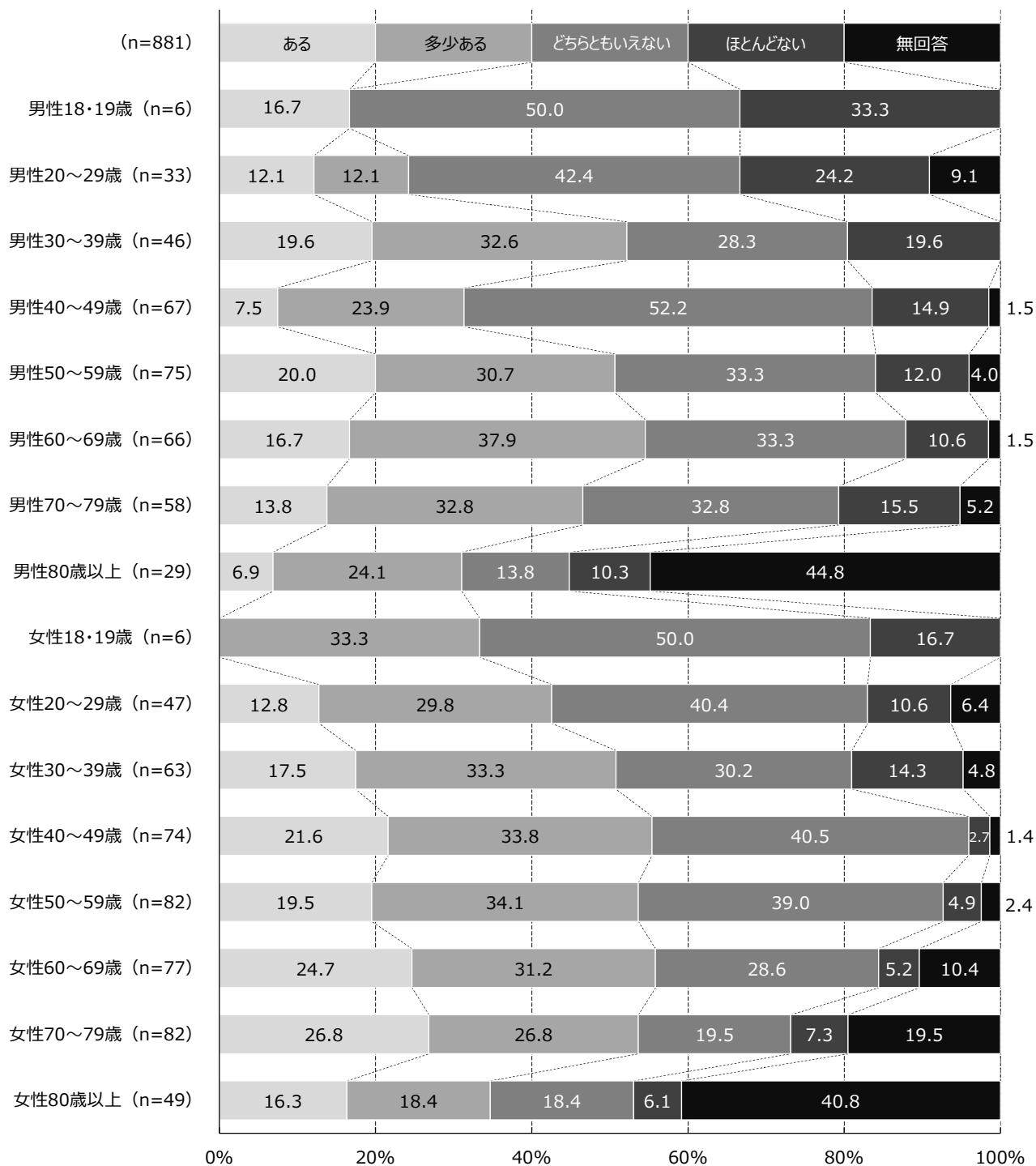
「ある」「多少ある」でみると、「男性 40～49 歳」「男性 80 歳以上」「女性 80 歳以上」の割合が低い。



(7) HIV 感染者・ハンセン病患者などの人権

【性・年齢別】

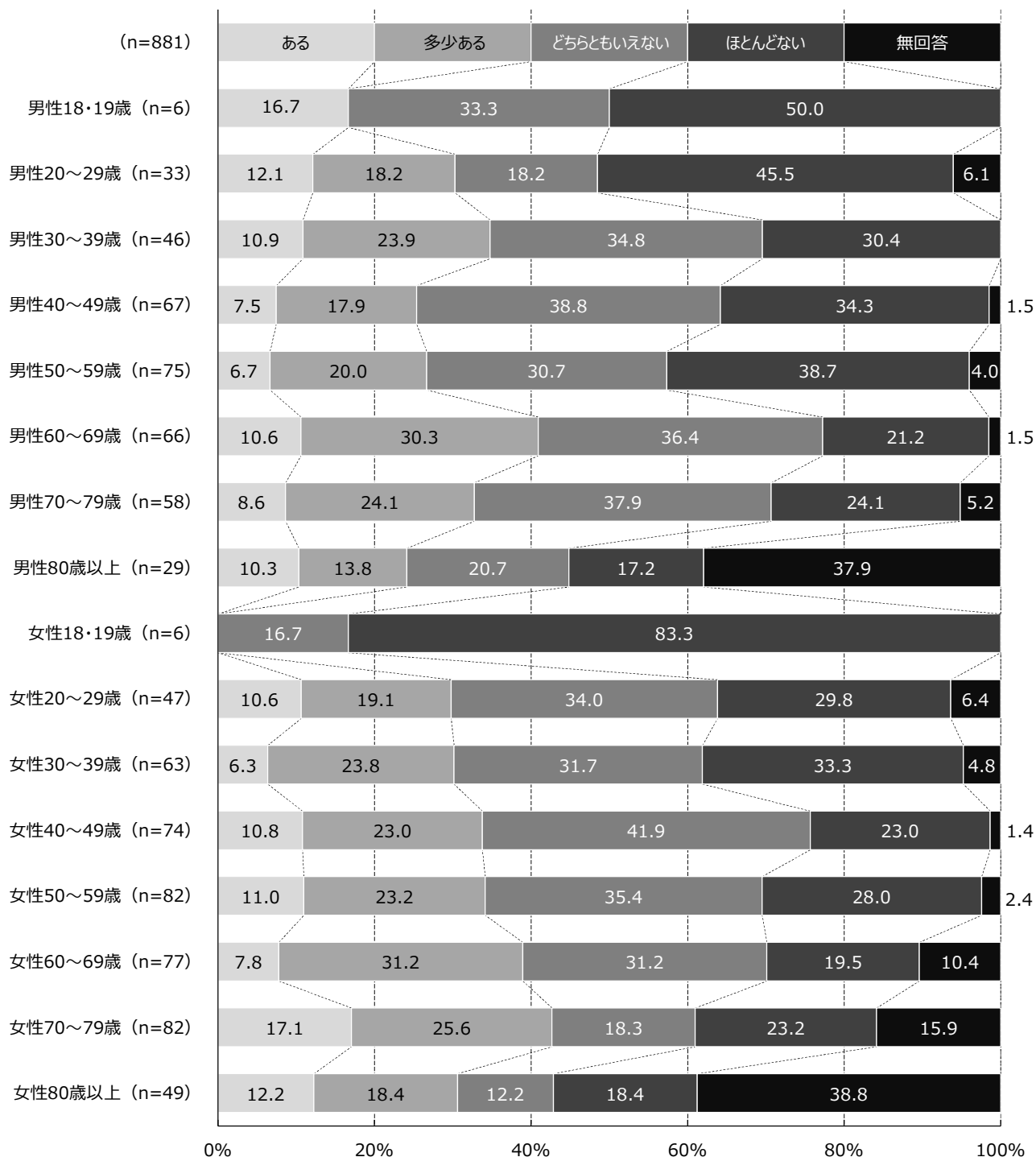
「ある」「多少ある」でみると、「男性 20～29 歳」「男性 40～49 歳」「男性 80 歳以上」「女性 80 歳以上」の割合が低い。



(8) 新型コロナウイルス感染症に関する人権

【性・年齢別】

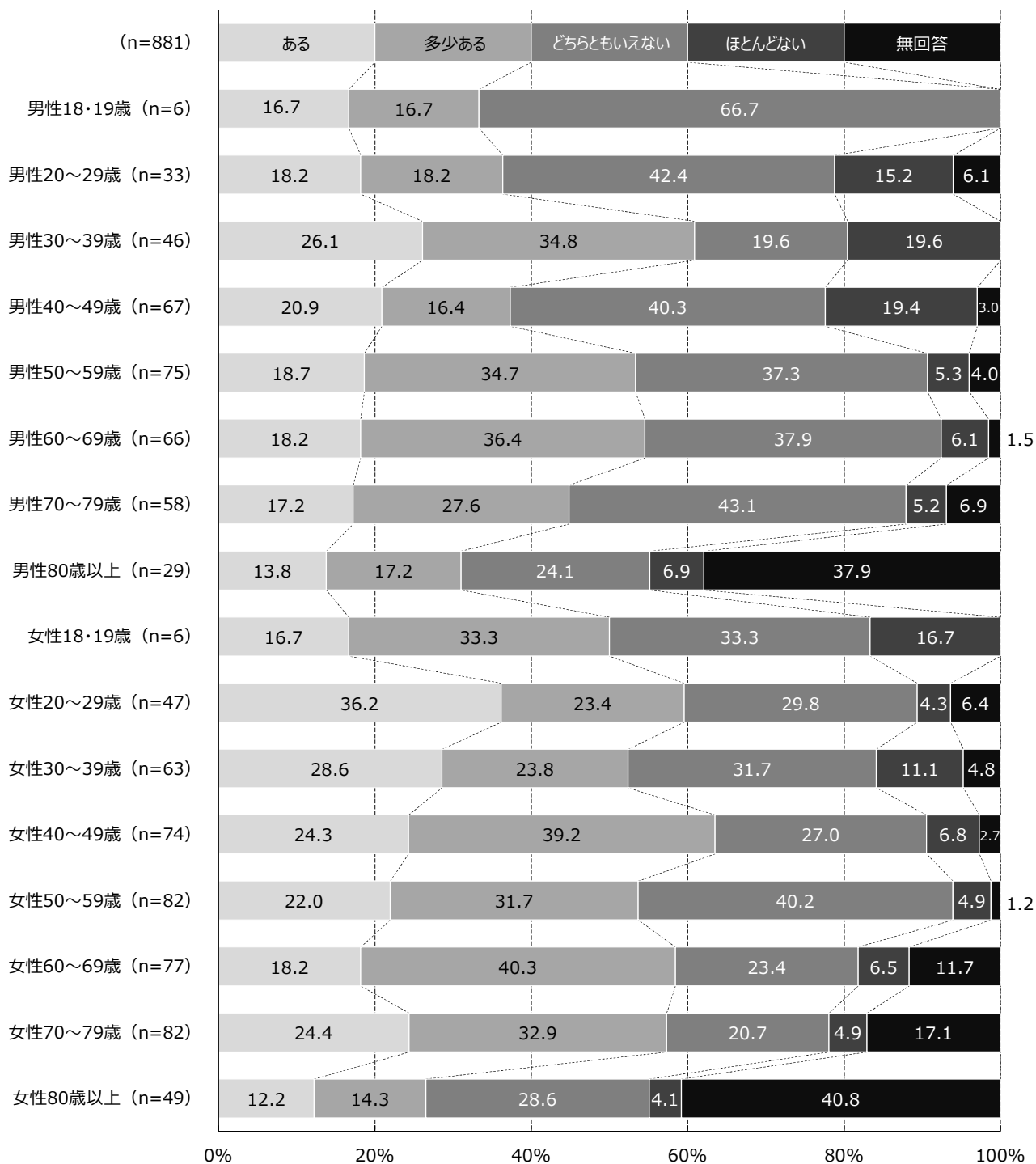
「ある」「多少ある」でみると、全体的に割合が低い。



(9) ホームレスの人権

【性・年齢別】

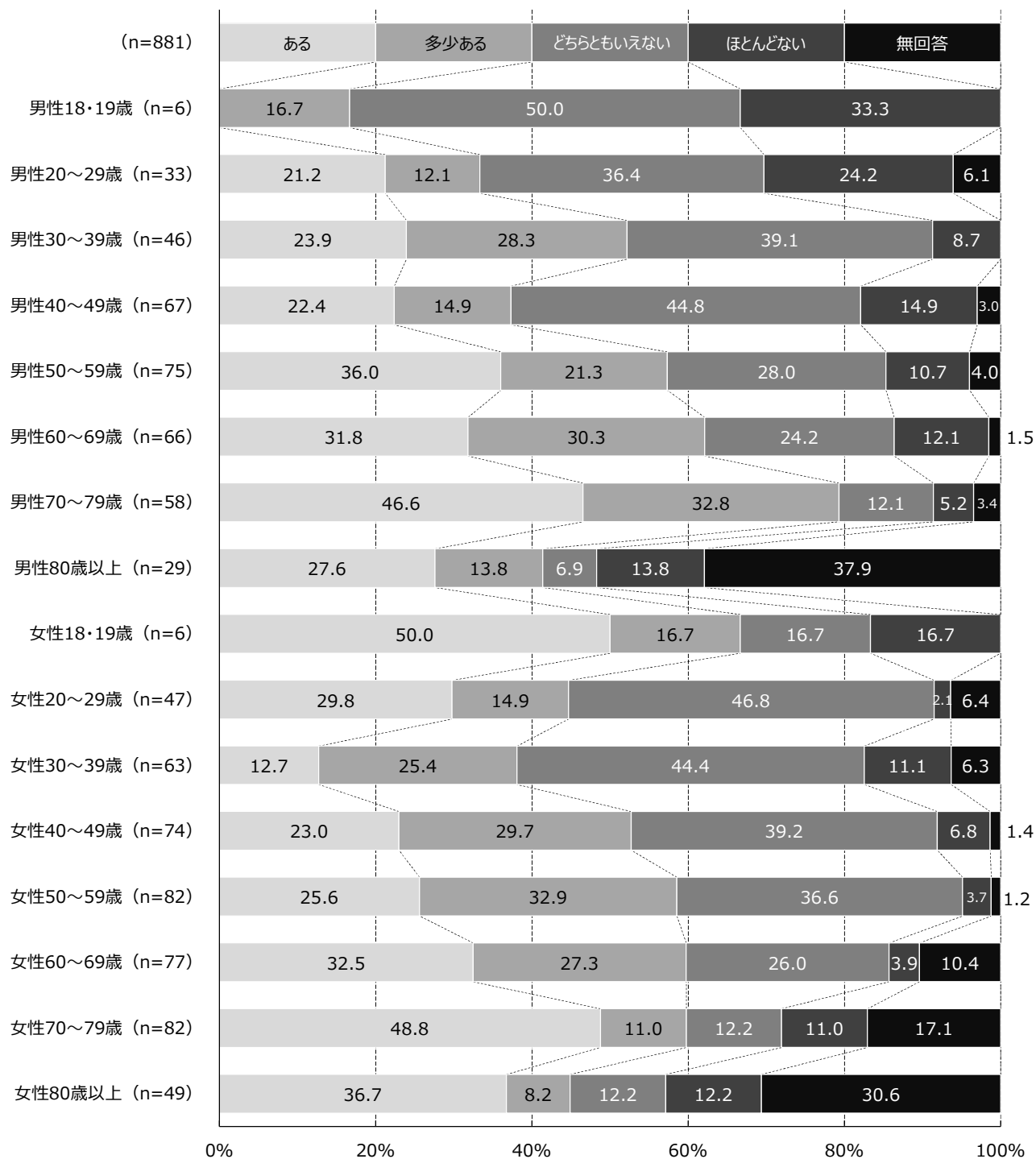
「ある」「多少ある」でみると、「男性 20～29 歳」「男性 40～49 歳」「男性 80 歳以上」「女性 80 歳以上」の割合が低い。



(10) 北朝鮮当局によって拉致された被害者などの人権

【性・年齢別】

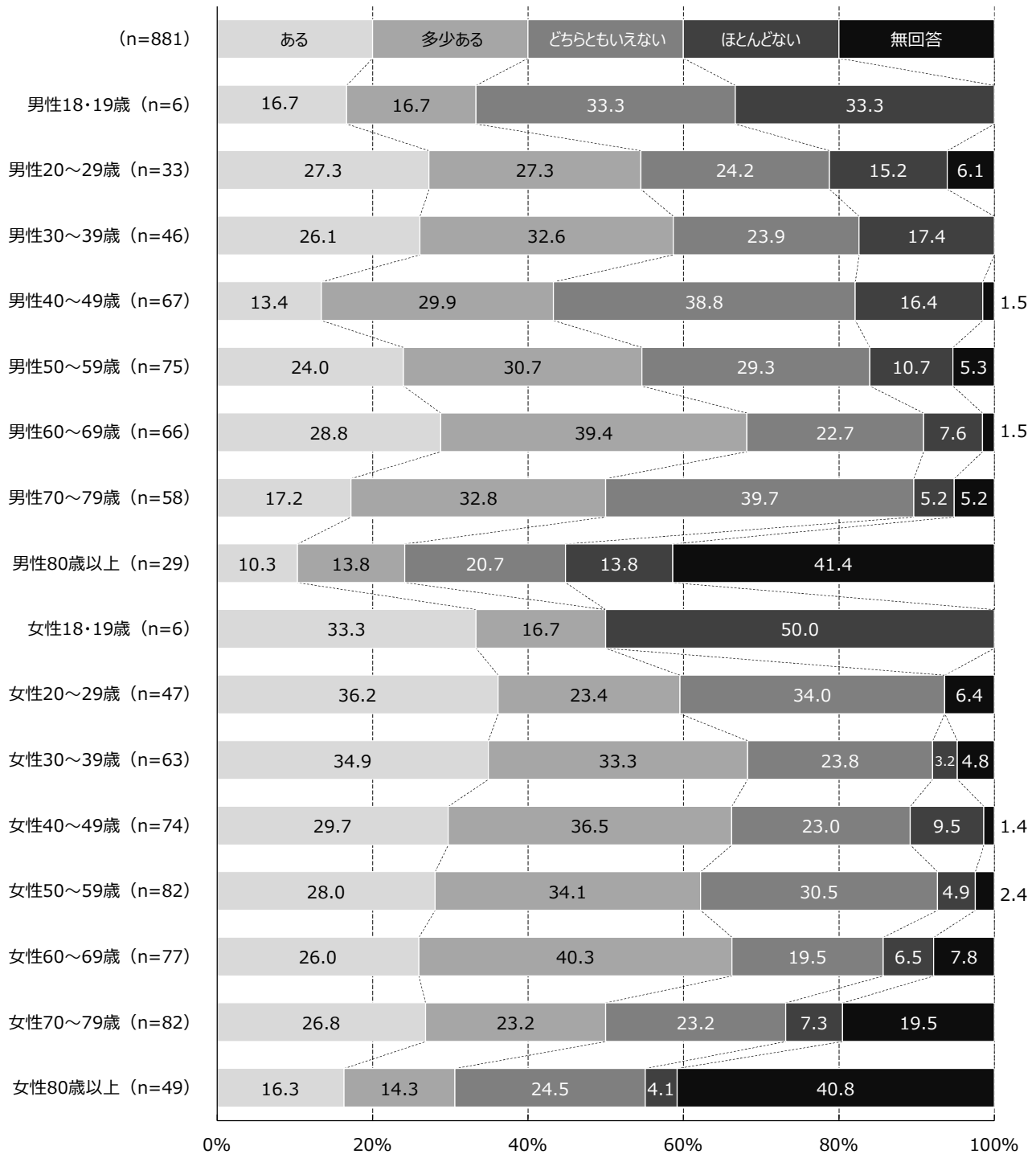
「ある」「多少ある」でみると、「男性 20～29 歳」「男性 40～49 歳」「男性 80 歳以上」「女性 20～29 歳」「女性 30～39 歳」「女性 80 歳以上」の割合が低い。



(11) 性的マイノリティの人権

【性・年齢別】

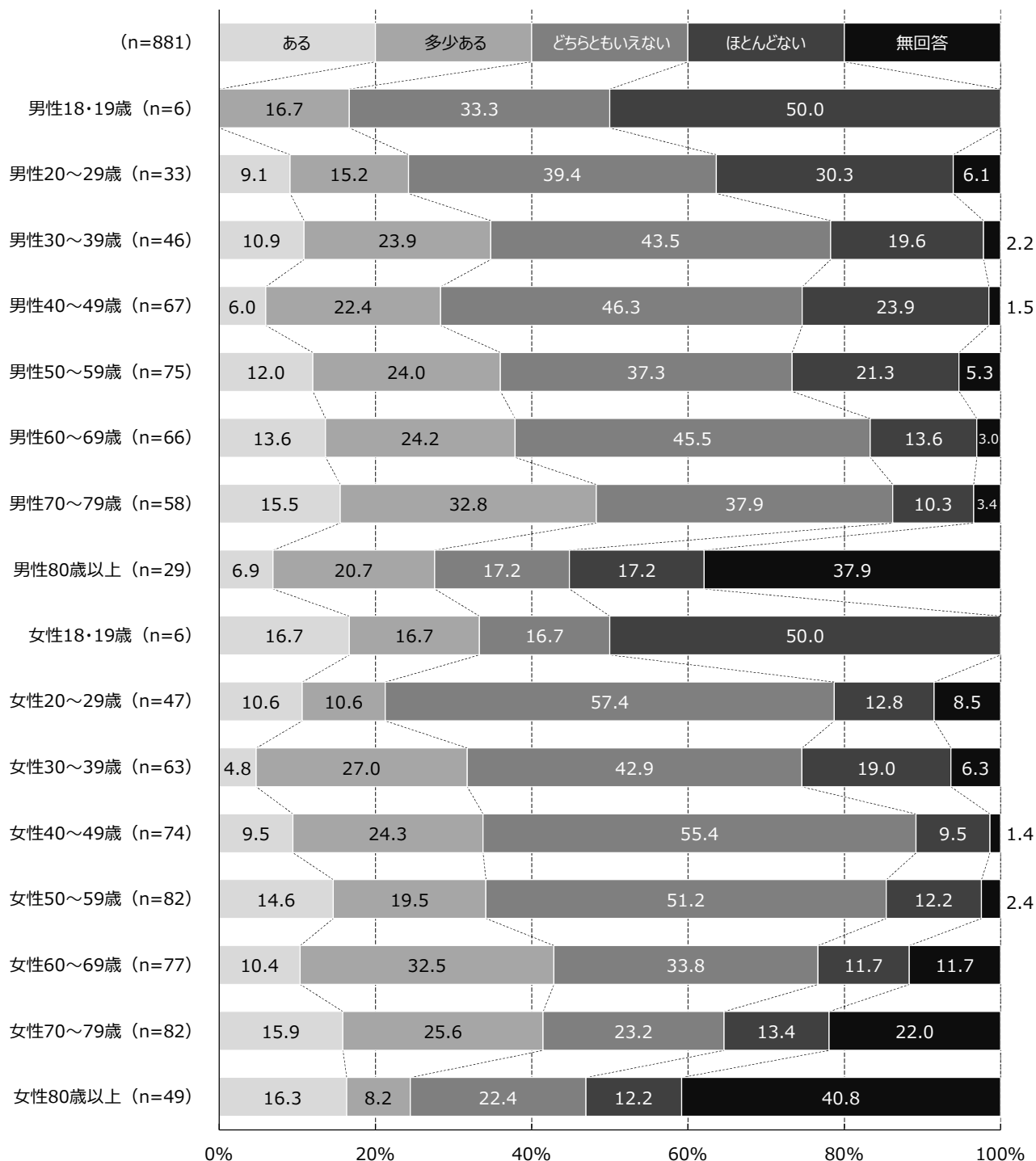
「ある」「多少ある」でみると、「男性 80 歳以上」「女性 80 歳以上」の割合が低い。



(12) アイヌの人々の人権

【性・年齢別】

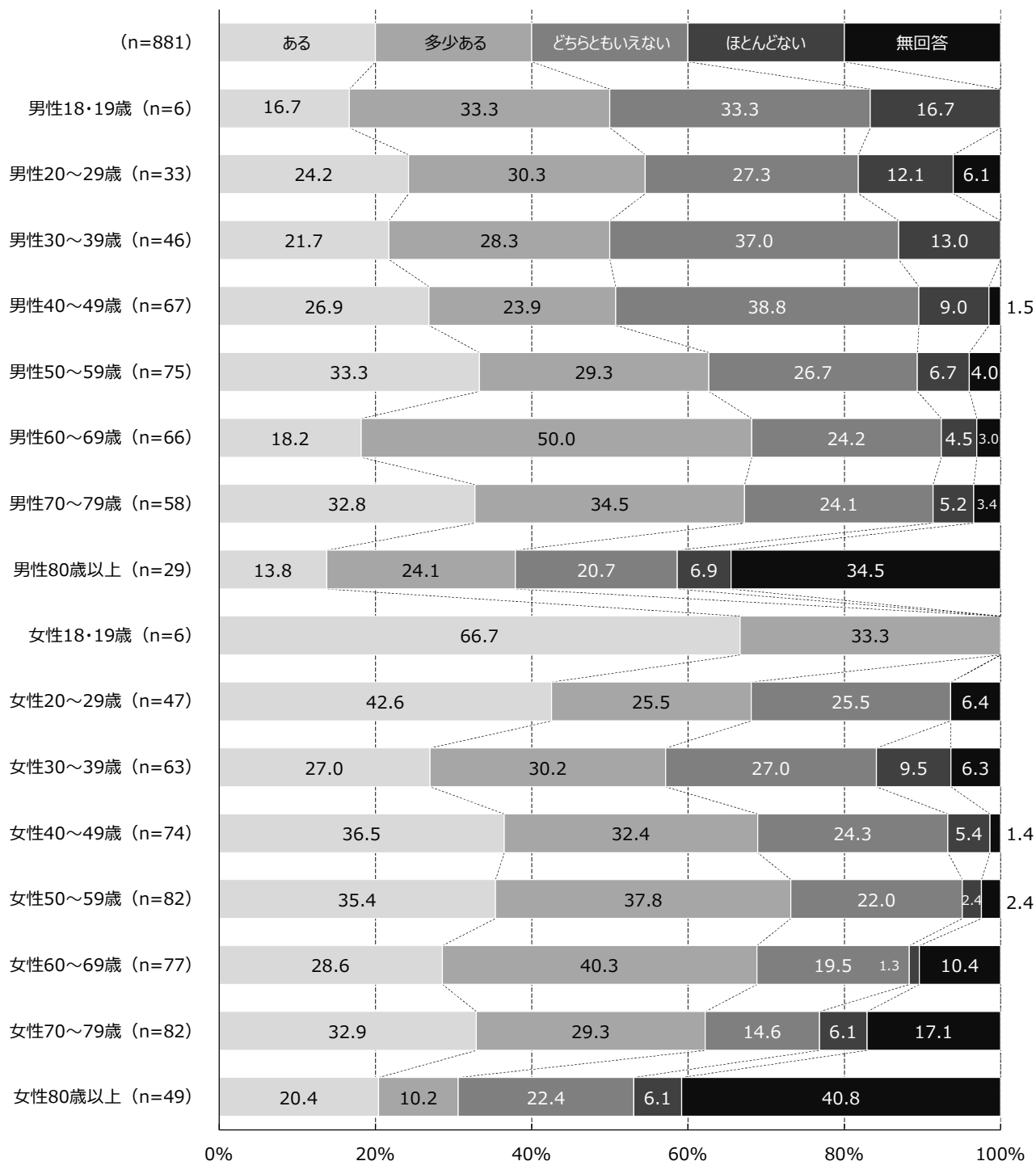
「ある」「多少ある」でみると、全体的に割合が低い。



(13) 犯罪被害者やその家族の人権

【性・年齢別】

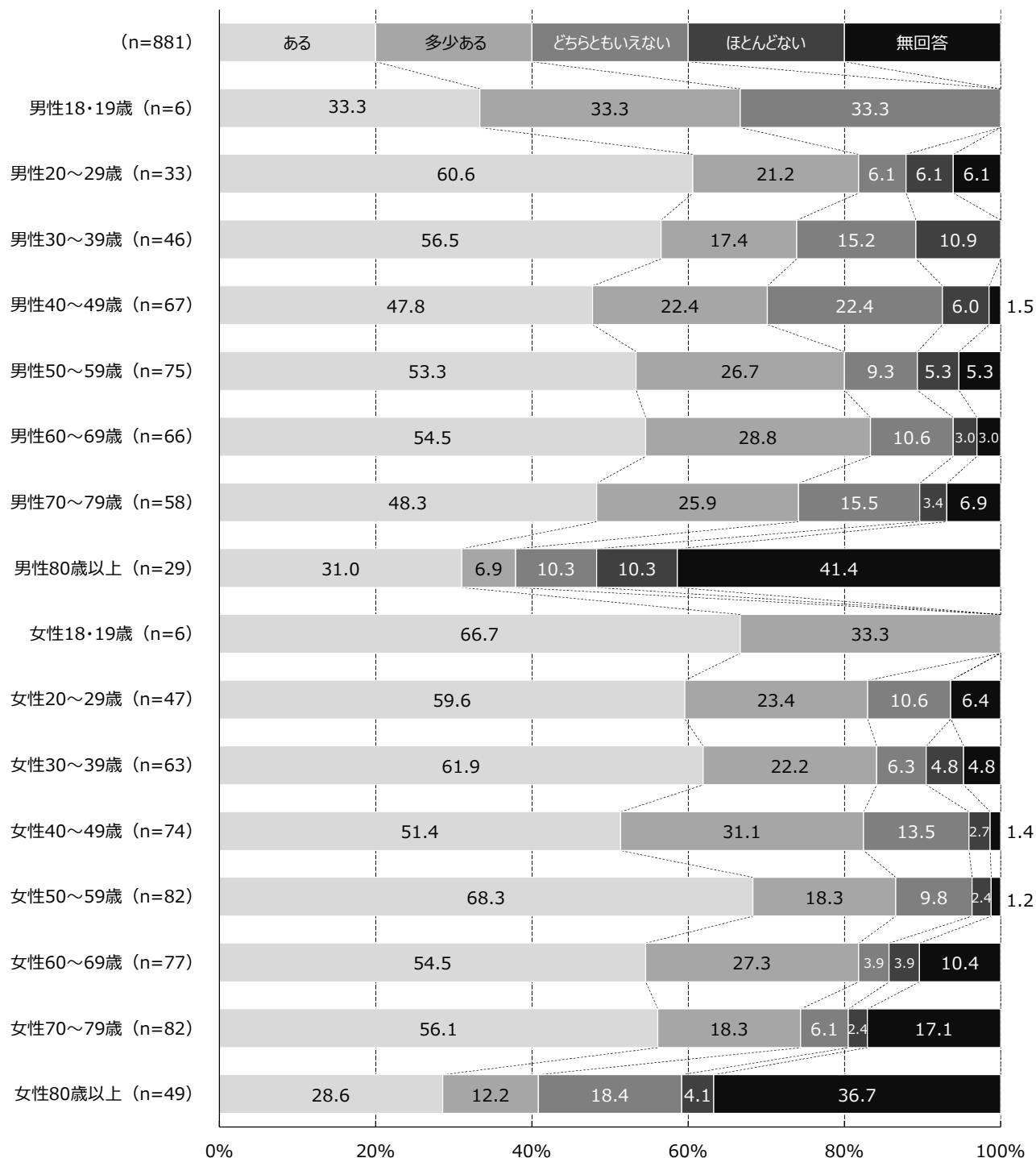
「ある」「多少ある」でみると、「男性 80 歳以上」「女性 80 歳以上」の割合が低い。



(14) インターネットや SNS による人権侵害

【性・年齢別】

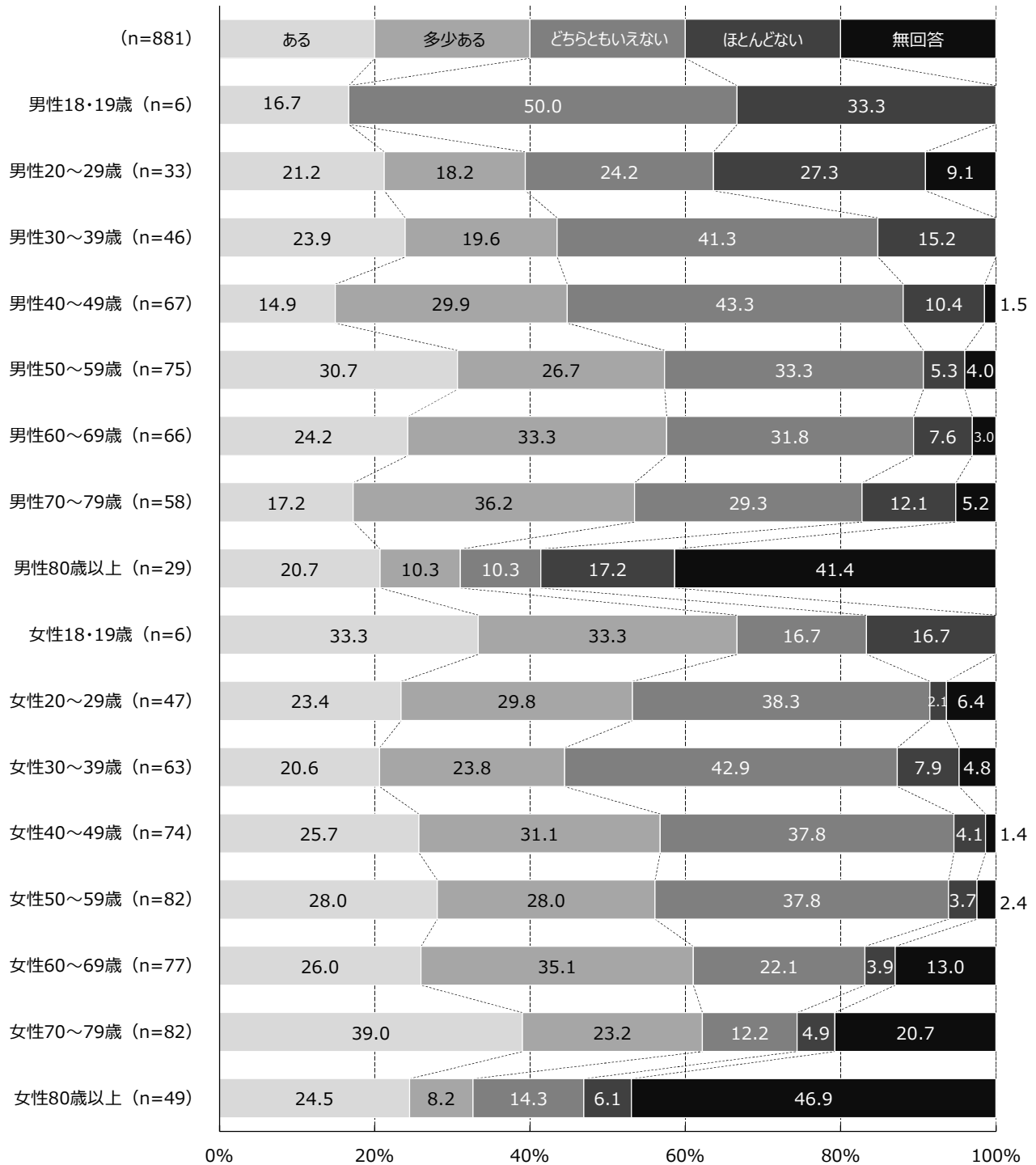
「ある」「多少ある」でみると、「男性 80 歳以上」「女性 80 歳以上」の割合が低い。



（１５）人身取引（性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引）被害者の人権

【性・年齢別】

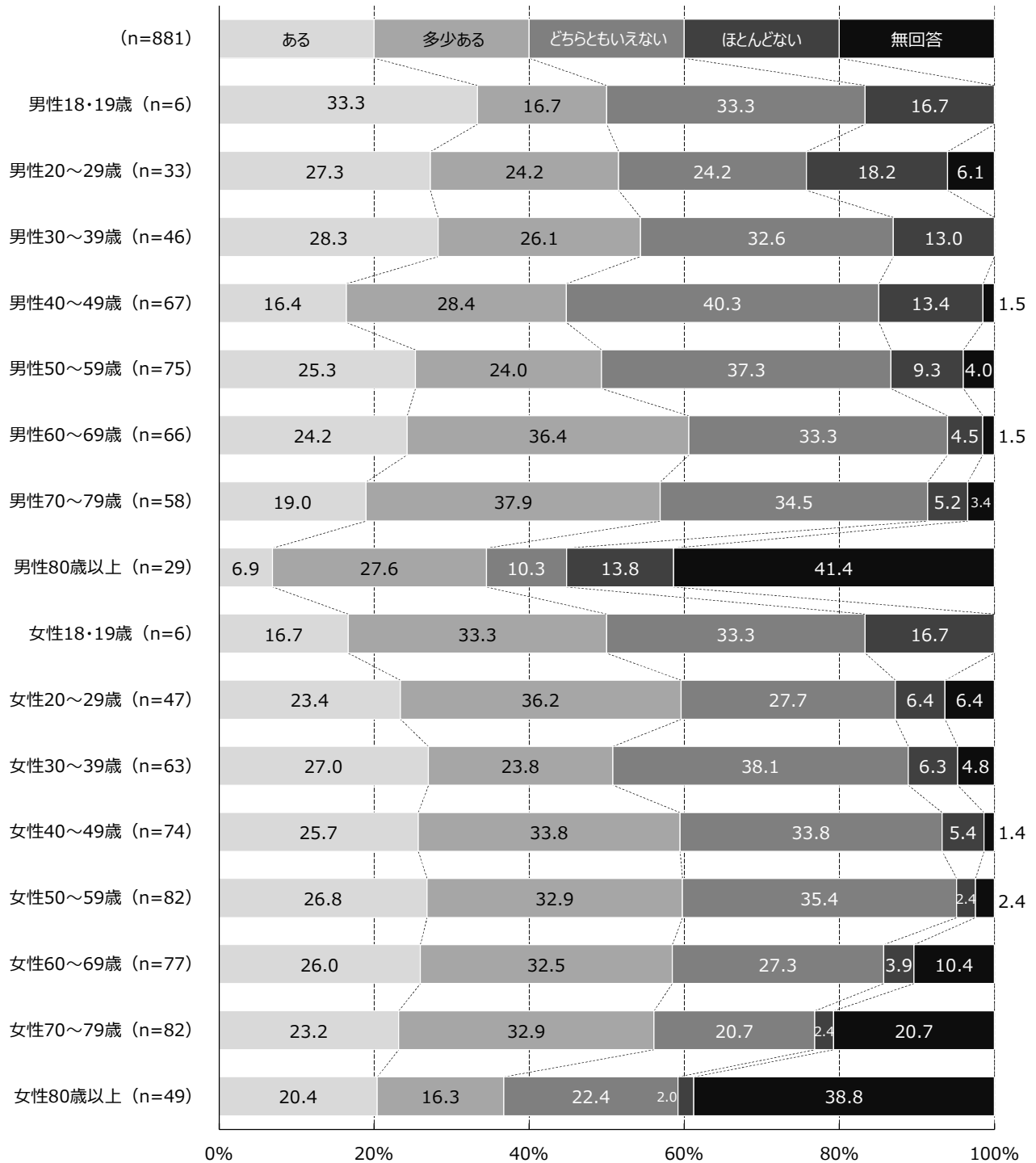
「ある」「多少ある」でみると、「男性 80 歳以上」「女性 80 歳以上」の割合が低い。



（１６）刑を終えて出所した人の人権

【性・年齢別】

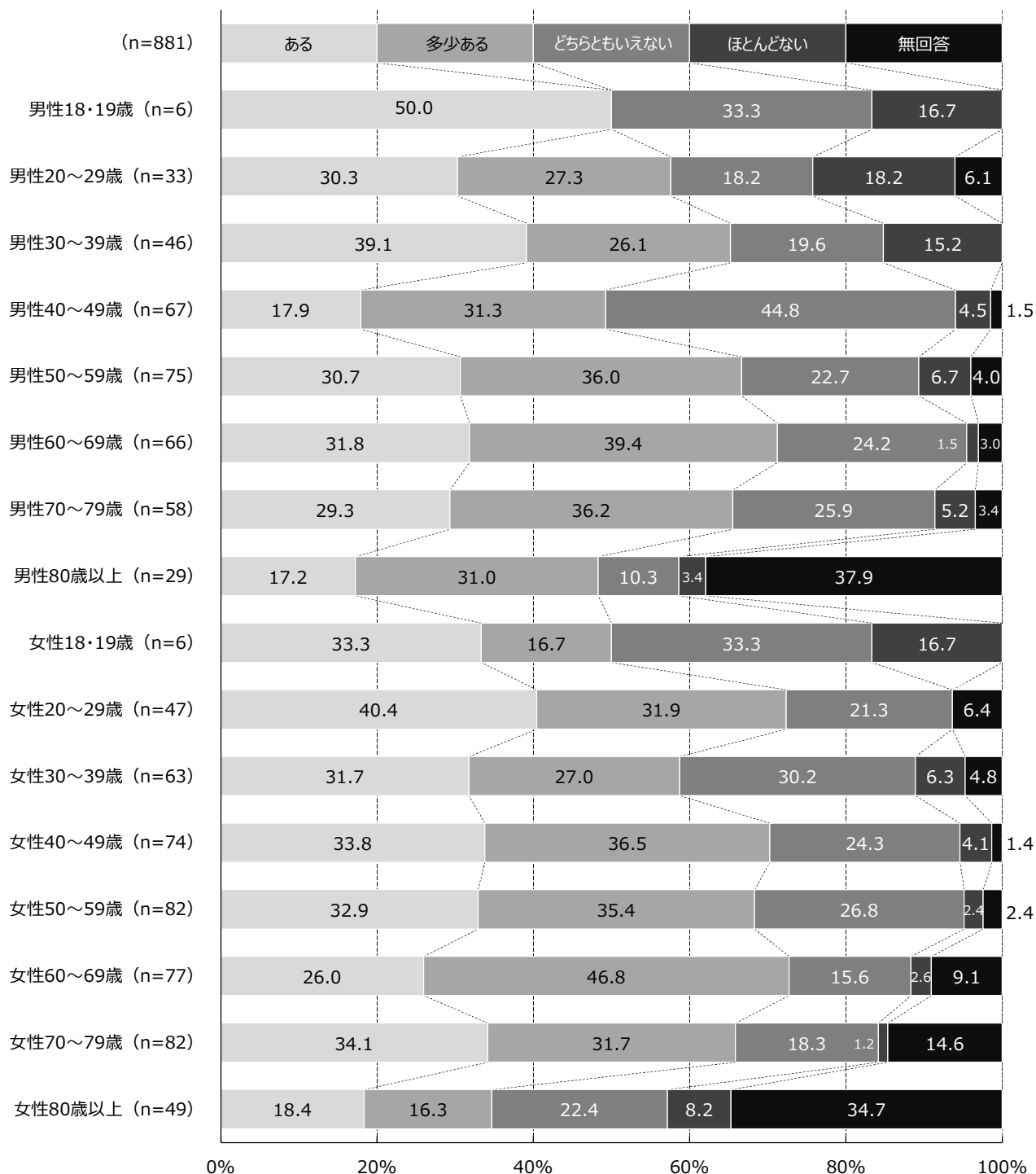
「ある」「多少ある」でみると、「男性 80 歳以上」「女性 80 歳以上」の割合が低い。



(17) 貧困問題（生活困窮、ホームレスなど）に関する人権

【性・年齢別】

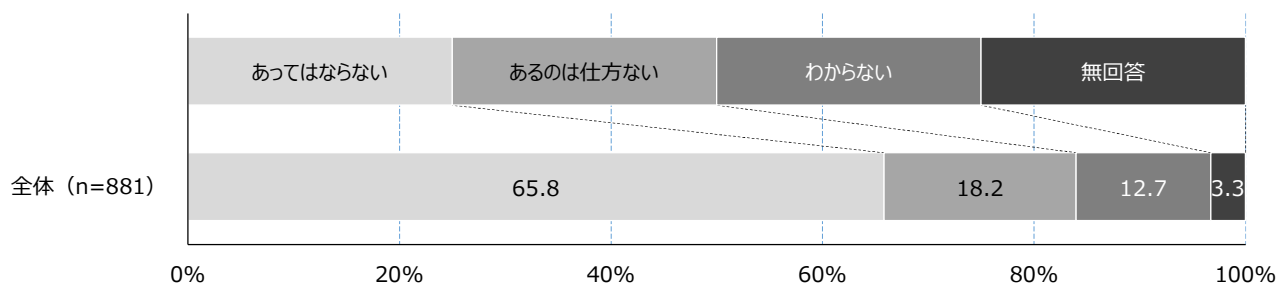
「ある」「多少ある」でみると、「女性 80 歳以上」の割合が低い。



5 人権侵害についての考え・人権侵害を受けた経験や対応について

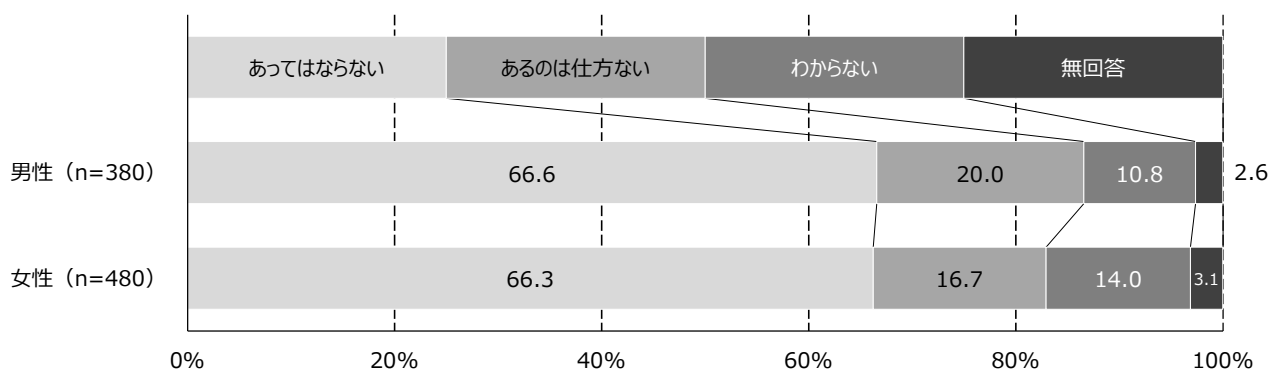
問 15 「人権侵害」について、あなたの考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

「あってはならない」が65.8%と割合が最も高く、次いで「あるのは仕方ない」が18.2%、「わからない」が12.7%となっている。



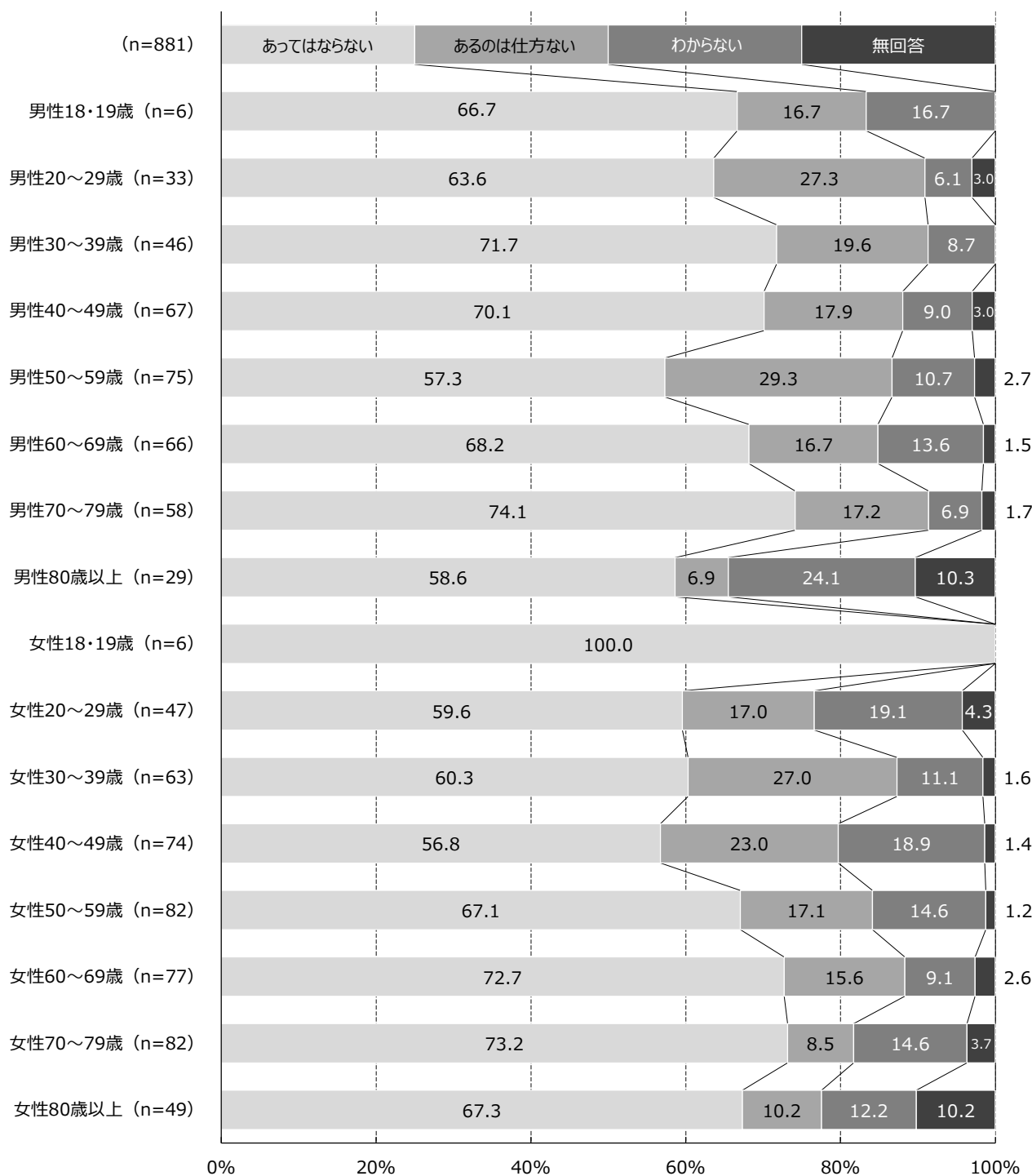
【性別】

性別でみると、性別間で割合に大きな差は見られず、「あってはならない」が約66%と高い割合となっている。



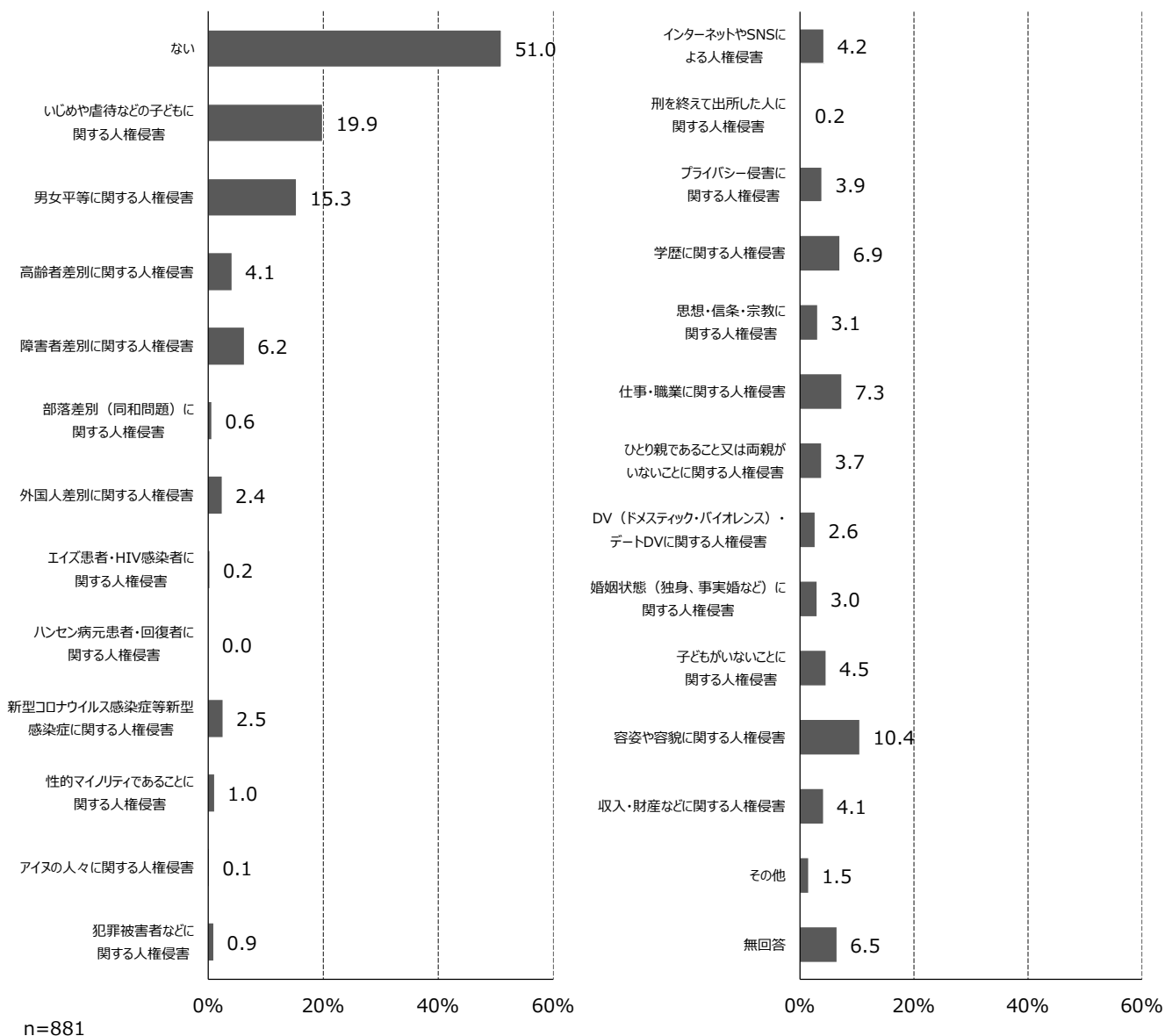
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、「あてはまらない」の割合が全体的に高い。



問 16 今までに、あなた自身やご家族が次のような「人権侵害」を受けたことがありますか。
(○はいいくつでも)

「ない」が 51.0%と割合が最も高く、次いで「いじめや虐待などの子どもに関する人権侵害」が 19.9%、「男女平等に関わる人権」が 15.3%となっている。



【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「ない」の割合が最も高く、男性は女性よりも7.6ポイント高い。

単位：％

区分	有効回答数（件）	ない	いじめや虐待などの子供に関する人権侵害	男女平等に関する人権侵害	高齢者差別に関する人権侵害	障害者差別に関する人権侵害	部落差別（同和問題）に関する人権侵害	外国人差別に関する人権侵害	エイズ患者・HIV感染者に関する人権侵害	ハンセン病患者・回復者に関する人権侵害	新型コロナウイルス感染症等新型感染症に関する人権侵害	性的マイノリティであることに関する人権侵害	アイヌの人々に関する人権侵害	犯罪被害者などに関する人権侵害
男性	380	55.5	19.2	10.0	3.4	5.8	0.3	2.9	0.3	0.0	2.1	0.5	0.0	0.8
女性	480	47.9	20.8	19.4	4.6	6.7	0.6	1.9	0.0	0.0	2.9	1.5	0.2	1.0

区分	インターネットやSNSによる人権侵害	刑を終えて出所した人に関する人権侵害	プライバシー侵害に関する人権侵害	学歴に関する人権侵害	思想・信条・宗教に関する人権侵害	仕事・職業に関する人権侵害	ひとり親であること又は両親がいないことに関する人権侵害	DV（ドメスティック・バイオレンス）・デートDVに関する人権侵害	婚姻状態（独身、事実婚など）に関する人権侵害	子どもがいないことに関する人権侵害	容姿や容貌に関する人権侵害	収入・財産などに関する人権侵害	その他	無回答
男性	4.7	0.0	5.3	7.9	2.4	6.6	1.8	1.1	2.6	4.5	11.1	4.5	0.8	7.1
女性	4.0	0.4	2.7	6.0	3.3	7.7	5.2	3.8	3.1	4.4	9.8	3.5	2.1	5.2

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「ない」の割合が高い傾向がみられるが、「男性 30～39 歳」では「子どもに関する人権侵害」が 39.1%と割合が最も高く、次いで「容姿や容貌に関する人権侵害」が 34.8%となっている。

単位：％

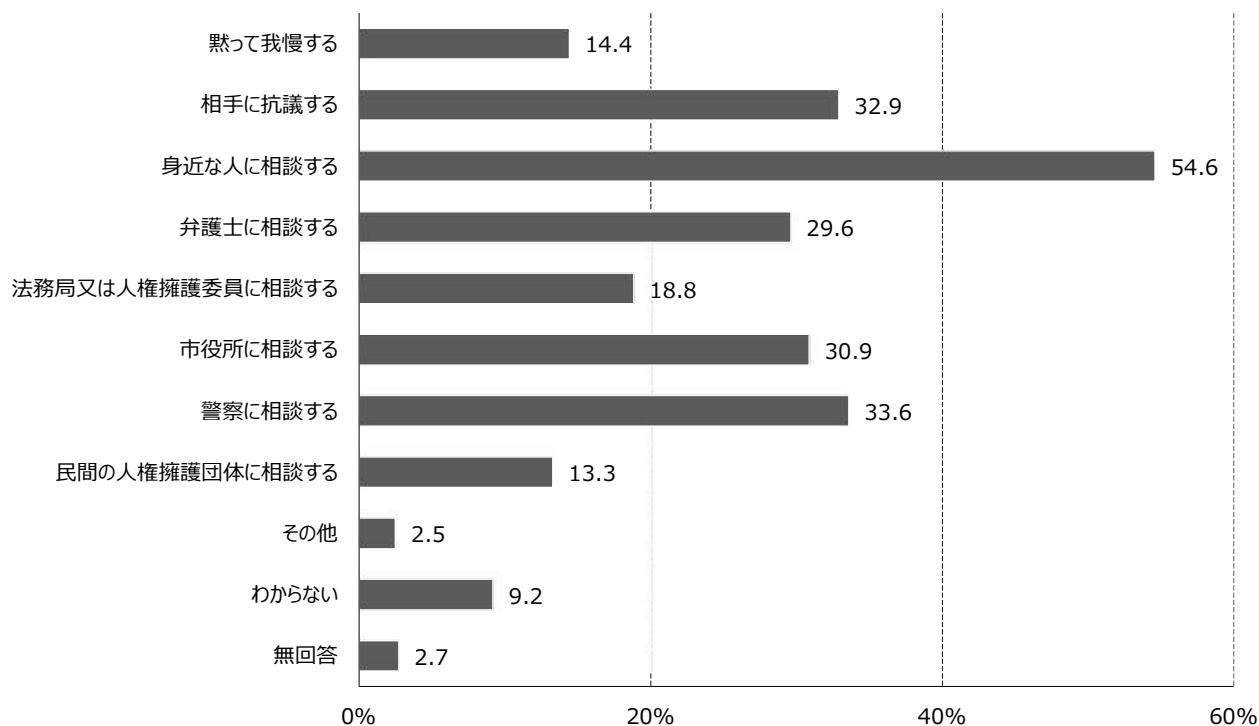
区分	有効回答数（件）	ない	いじめや虐待などの子供に関する人権侵害	男女平等に関する人権侵害	高齢者差別に関する人権侵害	障害者差別に関する人権侵害	部落差別（同和問題）に関する人権侵害	外国人差別に関する人権侵害	エイズ患者・HIV感染者に関する人権侵害	ハンセン病患者・回復者に関する人権侵害	新型コロナウイルス感染症等新型感染症に関する人権侵害	性的マイノリティであることに関する人権侵害	アイヌの人々に関する人権侵害	犯罪被害者などに関する人権侵害
男性 18・19 歳	6	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	33	54.5	24.2	12.1	3.0	6.1	0.0	9.1	0.0	0.0	6.1	0.0	0.0	0.0
30～39 歳	46	30.4	39.1	17.4	2.2	6.5	0.0	4.3	0.0	0.0	4.3	2.2	0.0	4.3
40～49 歳	67	44.8	29.9	20.9	1.5	7.5	0.0	7.5	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
50～59 歳	75	57.3	13.3	4.0	2.7	10.7	1.3	0.0	1.3	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0
60～69 歳	66	59.1	12.1	6.1	3.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	1.5
70～79 歳	58	77.6	8.6	3.4	5.2	5.2	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80 歳以上	29	65.5	6.9	6.9	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性 18・19 歳	6	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	47	48.9	23.4	14.9	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	2.1
30～39 歳	63	39.7	20.6	22.2	1.6	7.9	0.0	4.8	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	1.6
40～49 歳	74	40.5	32.4	28.4	2.7	9.5	2.7	4.1	0.0	0.0	4.1	1.4	0.0	0.0
50～59 歳	82	46.3	23.2	23.2	6.1	8.5	1.2	2.4	0.0	0.0	2.4	1.2	1.2	2.4
60～69 歳	77	44.2	20.8	26.0	7.8	6.5	0.0	1.3	0.0	0.0	5.2	2.6	0.0	1.3
70～79 歳	82	56.1	15.9	11.0	7.3	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80 歳以上	49	61.2	4.1	6.1	4.1	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

区分	インターネットやSNSによる人権侵害	刑を終えて出所した人に関する人権侵害	プライバシー侵害に関する人権侵害	学歴に関する人権侵害	思想・信条・宗教に関する人権侵害	仕事・職業に関する人権侵害	ひとり親であること又は両親がいないことに関する人権侵害	DV（ドメスティック・バイオレンス）・デートDVに関する人権侵害	婚姻状態（独身、事実婚など）に関する人権侵害	子どもがいないことに関する人権侵害	容姿や容貌に関する人権侵害	収入・財産などに関する人権侵害	その他	無回答
男性 18・19 歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	3.0	0.0	3.0	12.1	0.0	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	12.1	0.0	0.0	6.1
30～39 歳	13.0	0.0	13.0	17.4	6.5	15.2	4.3	4.3	2.2	8.7	34.8	10.9	2.2	2.2
40～49 歳	4.5	0.0	1.5	11.9	1.5	6.0	1.5	0.0	4.5	9.0	13.4	6.0	0.0	6.0
50～59 歳	5.3	0.0	8.0	6.7	2.7	8.0	1.3	1.3	4.0	5.3	13.3	4.0	1.3	12.0
60～69 歳	4.5	0.0	6.1	6.1	3.0	6.1	4.5	0.0	4.5	4.5	3.0	6.1	0.0	7.6
70～79 歳	1.7	0.0	3.4	1.7	1.7	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	1.7	0.0	3.4
80 歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	13.8
女性 18・19 歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	10.6	0.0	4.3	8.5	6.4	8.5	2.1	0.0	2.1	2.1	14.9	2.1	0.0	10.6
30～39 歳	6.3	0.0	3.2	3.2	3.2	9.5	7.9	12.7	7.9	6.3	11.1	1.6	0.0	4.8
40～49 歳	4.1	0.0	4.1	8.1	2.7	9.5	4.1	2.7	5.4	8.1	14.9	6.8	1.4	2.7
50～59 歳	4.9	2.4	2.4	9.8	3.7	7.3	3.7	3.7	3.7	7.3	9.8	6.1	1.2	3.7
60～69 歳	2.6	0.0	2.6	6.5	3.9	7.8	3.9	3.9	1.3	2.6	5.2	2.6	3.9	2.6
70～79 歳	1.2	0.0	2.4	2.4	1.2	7.3	7.3	0.0	0.0	1.2	8.5	2.4	3.7	6.1
80 歳以上	0.0	0.0	0.0	4.1	4.1	4.1	8.2	4.1	2.0	2.0	2.0	2.0	4.1	10.2

問 17 もし、あなた自身やご家族の人権が侵害された場合、あなたは、どのように対応しますか。(○はいくつでも)

「身近な人に相談する」が 54.6%と割合が最も高く、次いで「警察に相談する」が 33.6%、「相手に抗議する」が 32.9%となっている。



【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「身近な人に相談する」の割合が最も高く、女性は男性よりも 14.2 ポイント高い。

(単位：%)

区分	有効回答数(件)	黙って我慢する	相手に抗議する	身近な人に相談する	弁護士に相談する	法務局又は人権擁護委員に相談する	市役所に相談する	警察に相談する	民間の人権擁護団体に相談する	その他	わからない	無回答
男性	380	12.6	42.9	46.8	33.2	22.9	33.2	40.3	15.5	2.4	8.2	2.1
女性	480	16.5	25.8	61.0	26.9	15.8	30.0	29.2	11.9	2.7	9.8	2.5

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「身近な人に相談する」の割合が高い傾向がみられるが、「男性 40～49 歳」では「相手に抗議する」、「男性 60～69 歳」では「警察に相談する」、「男性 80 歳以上」では「市役所に相談する」の割合が最も高い。

(単位：%)

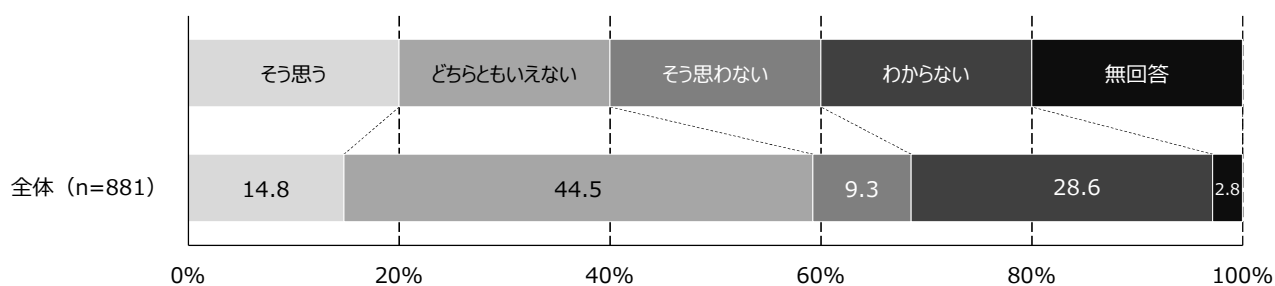
区分	有効回答数 (件)	黙って我慢する	相手に抗議する	身近な人に相談する	弁護士に相談する	法務局又は人権擁護委員に相談する	市役所に相談する	警察に相談する	民間の人権擁護団体に相談する	その他	わからない	無回答
男性 18・19 歳	6	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0
20～29 歳	33	30.3	39.4	57.6	27.3	21.2	21.2	33.3	6.1	3.0	6.1	3.0
30～39 歳	46	10.9	56.5	58.7	28.3	6.5	10.9	30.4	4.3	2.2	8.7	2.2
40～49 歳	67	20.9	47.8	46.3	35.8	14.9	26.9	31.3	14.9	0.0	7.5	3.0
50～59 歳	75	17.3	48.0	49.3	33.3	29.3	45.3	46.7	29.3	1.3	8.0	1.3
60～69 歳	66	3.0	40.9	39.4	42.4	31.8	40.9	50.0	21.2	7.6	6.1	1.5
70～79 歳	58	3.4	36.2	41.4	31.0	32.8	31.0	37.9	6.9	0.0	8.6	3.4
80 歳以上	29	3.4	24.1	41.4	27.6	13.8	55.2	51.7	17.2	3.4	13.8	0.0
女性 18・19 歳	6	16.7	50.0	50.0	50.0	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	47	21.3	29.8	63.8	19.1	8.5	10.6	19.1	6.4	4.3	8.5	4.3
30～39 歳	63	20.6	36.5	65.1	25.4	12.7	22.2	31.7	9.5	4.8	9.5	1.6
40～49 歳	74	20.3	41.9	67.6	24.3	13.5	27.0	31.1	5.4	2.7	5.4	1.4
50～59 歳	82	15.9	20.7	62.2	30.5	18.3	32.9	30.5	19.5	3.7	14.6	1.2
60～69 歳	77	20.8	18.2	66.2	28.6	19.5	29.9	31.2	11.7	2.6	11.7	1.3
70～79 歳	82	11.0	20.7	50.0	25.6	22.0	37.8	31.7	14.6	1.2	9.8	2.4
80 歳以上	49	4.1	10.2	53.1	30.6	10.2	44.9	22.4	12.2	0.0	8.2	8.2

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

6 川崎市での人権尊重・共存共栄について

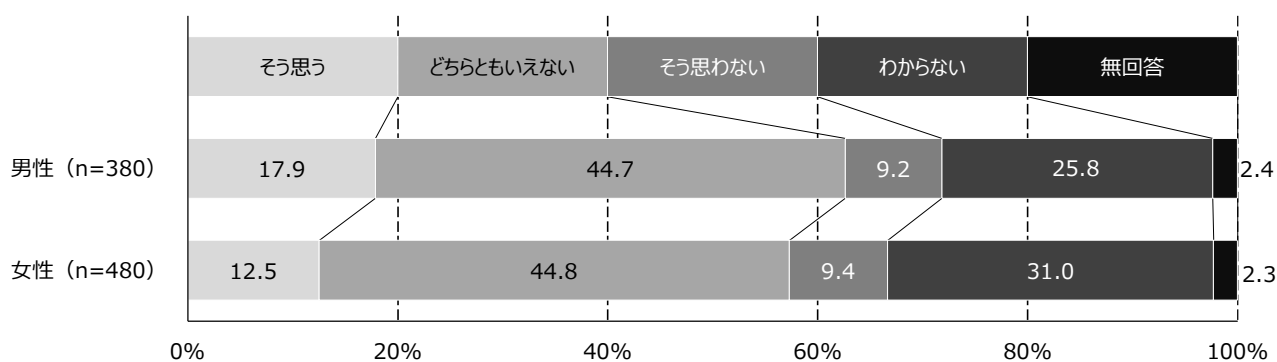
問 18 あなたは、川崎市では、一人ひとりの人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)

「どちらともいえない」が44.5%と割合が最も高く、次いで「わからない」が28.6%、「そう思う」が14.8%となっている。



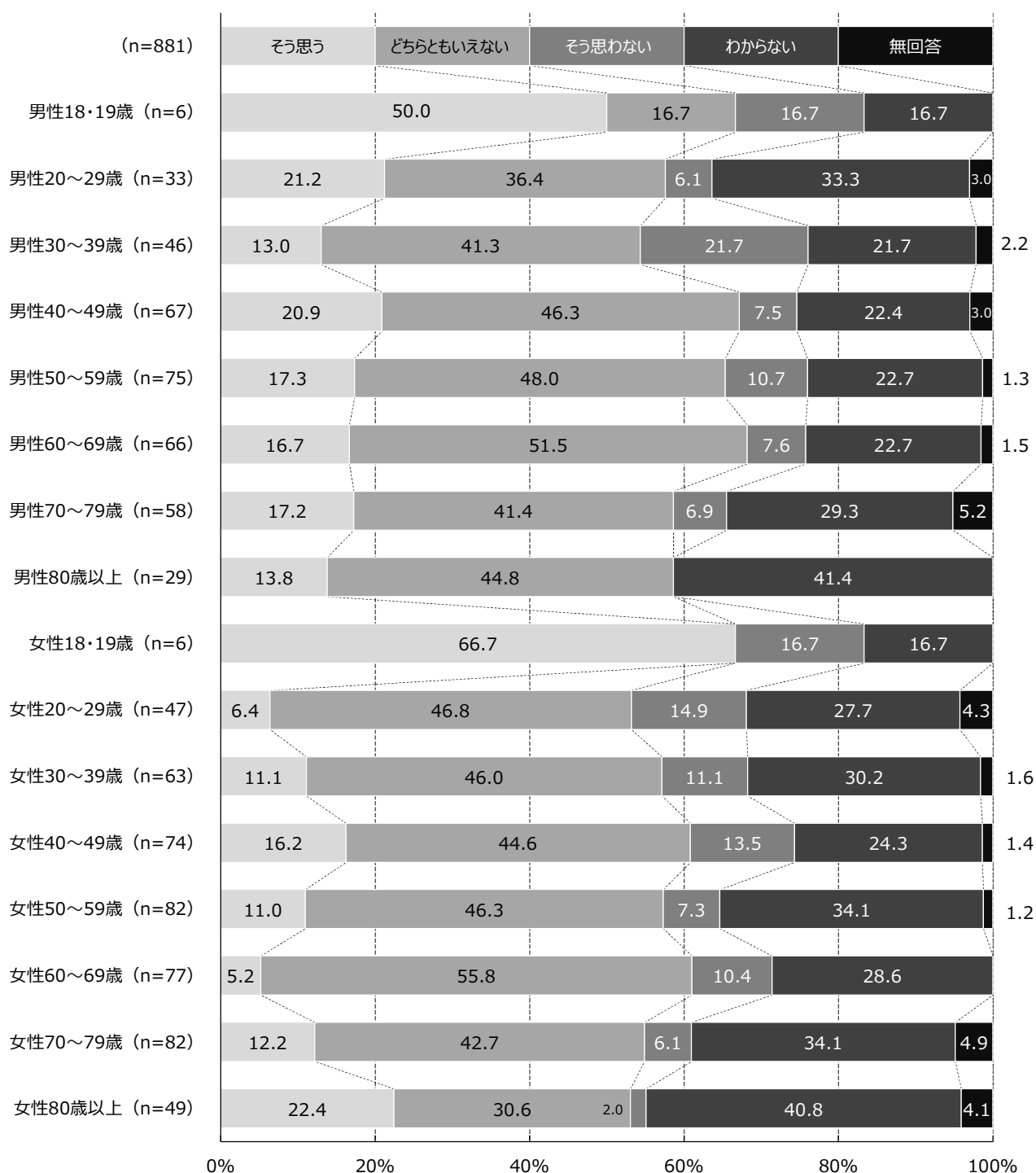
【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「どちらともいえない」の割合が最も高く、「そう思う」では、男性が女性よりも5.4ポイント高い。



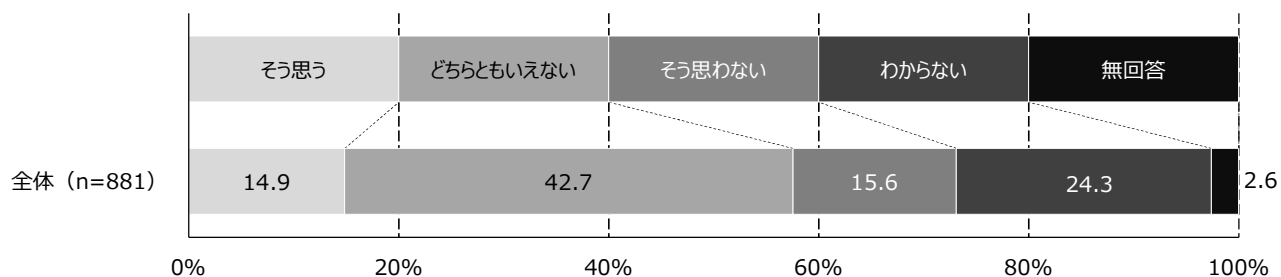
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「どちらともいえない」と「わからない」の割合が高い傾向がみられる。



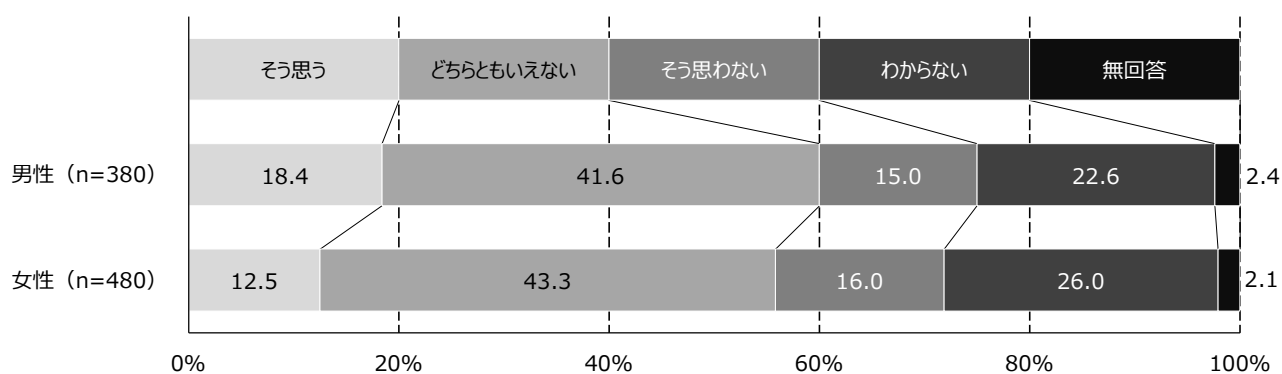
問 19 あなたは、川崎市では、一人ひとりがお互いに違いを認め合い、共に暮らしていける社会になっていると思いますか。(○は1つ)

「どちらともいえない」が42.7%と割合が最も高く、次いで「わからない」が24.3%、「そう思わない」が15.6%となっている。



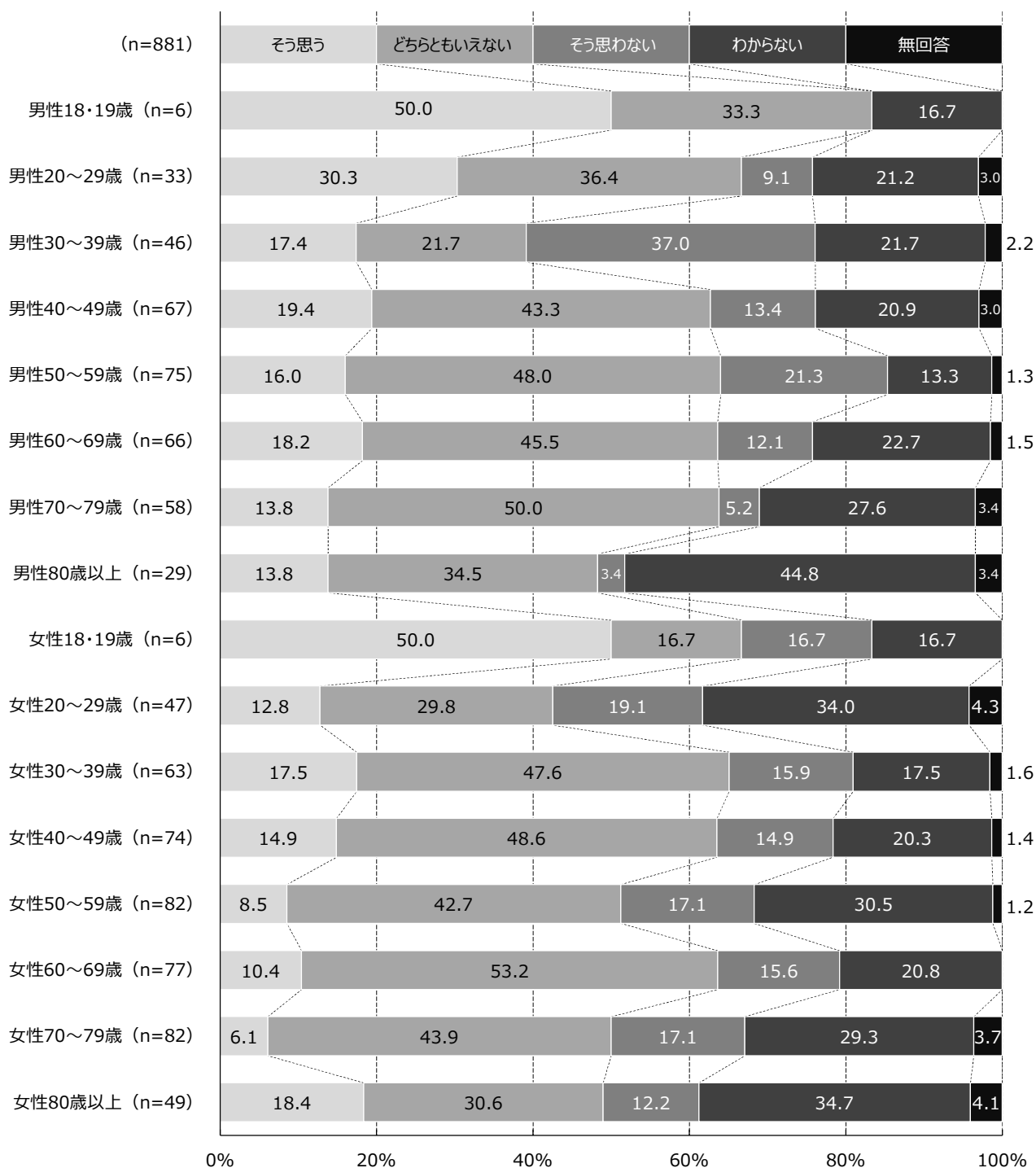
【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「どちらともいえない」の割合が最も高く、「そう思う」では、男性が女性より5.9ポイント高い。



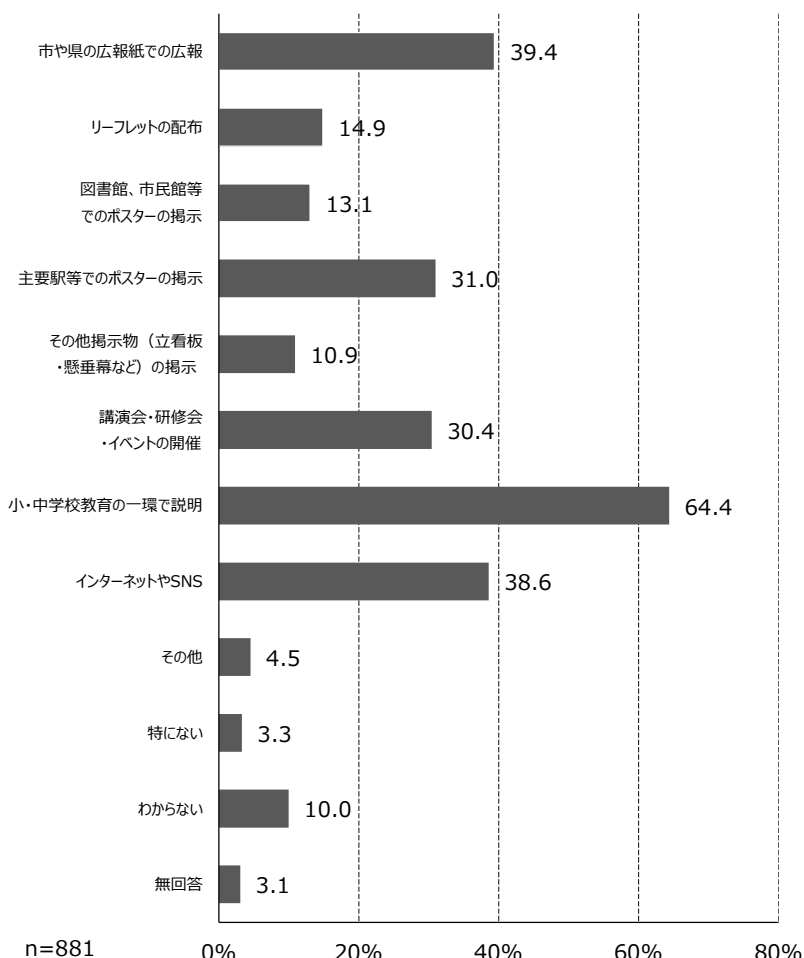
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「どちらともいえない」の割合が高い傾向がみられる。「わからない」でみると、「男性 80 歳以上」「女性 20～29 歳」「女性 80 歳以上」の割合が高い。



問 20 あなたは、不当な差別を解消し、人権尊重のまちづくりを推進する上で、市民の理解を深めるためには、どのような取組が効果があると思いますか。（〇はいくつでも）

「小・中学校教育の一環で説明」が 64.4%と割合が最も高く、次いで「市や県の広報紙での広報」が 39.4%、「インターネットや SNS」が 38.6%となっている。



【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「小・中学校教育の一環で説明」の割合が最も高く、女性は男性よりも 11.6 ポイント高い。

(単位：%)

区分	有効回答数(件)	市や県の広報紙での広報	リーフレットの配布	図書館、市民館等でのポスターの掲示	主要駅等でのポスターの掲示	その他掲示物（立看板・懸垂幕など）の掲示	講演会・研修会・イベントの開催	小・中学校教育の一環で説明	インターネットやSNS	その他	特にない	わからない	無回答
男性	380	37.6	15.5	12.1	30.0	11.1	30.0	58.4	42.9	4.7	3.7	10.8	2.6
女性	480	41.0	14.6	13.8	32.7	10.6	31.9	70.0	35.6	4.4	2.7	8.8	2.7

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「小・中学校教育の一環で説明」の割合が高い傾向がみられるが、男性では、「男性 20～29 歳」「男性 30～39 歳」で「インターネットや SNS」の割合が高く、「男性 70～79 歳」「男性 80 歳以上」で「市や県の広報紙での広報」の割合が高い。

(単位：%)

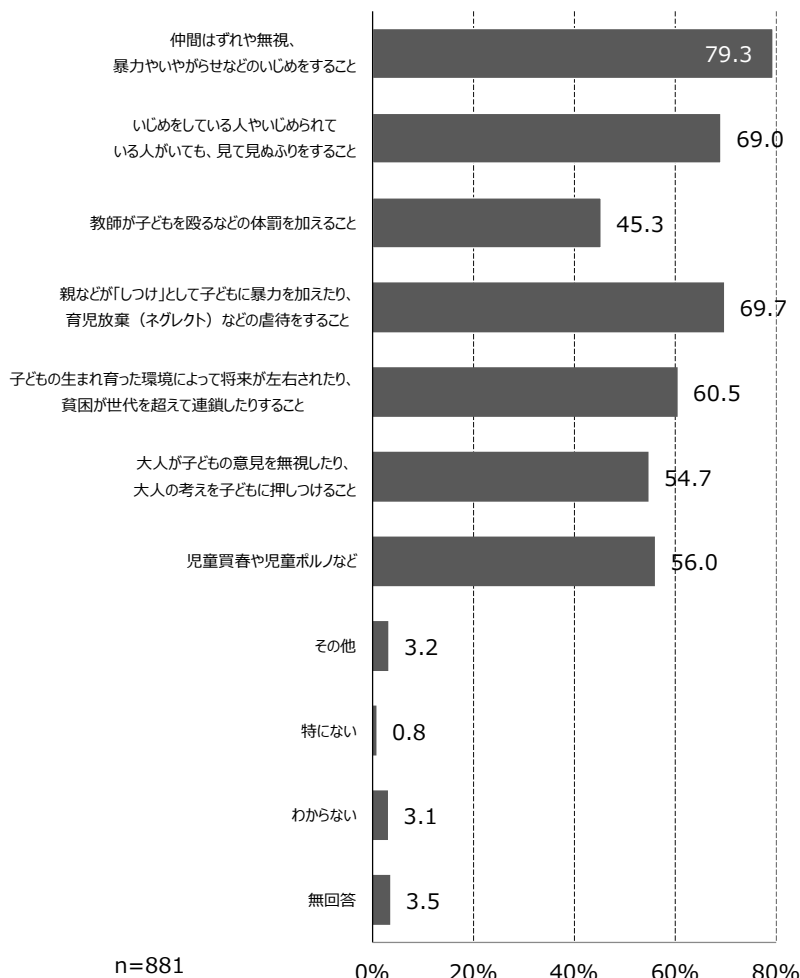
区分	有効回答数 (件)	市や県の広報紙での広報	リーフレットの配布	図書館、市民館等でのポスターの掲示	主要駅等でのポスターの掲示	その他掲示物 (立看板・懸垂幕など)の 掲示	講演会・研修会・イベントの開催	小・中学校教育の一環で説明	インターネットや SNS	その他	特にな い	わからない	無回答
男性 18・19 歳	6	33.3	0.0	16.7	50.0	16.7	0.0	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0
20～29 歳	33	24.2	3.0	15.2	27.3	15.2	27.3	45.5	48.5	6.1	3.0	12.1	3.0
30～39 歳	46	26.1	13.0	19.6	41.3	10.9	30.4	56.5	56.5	4.3	2.2	8.7	4.3
40～49 歳	67	22.4	16.4	6.0	29.9	11.9	34.3	53.7	47.8	6.0	6.0	9.0	3.0
50～59 歳	75	32.0	16.0	12.0	30.7	6.7	26.7	66.7	53.3	8.0	2.7	8.0	1.3
60～69 歳	66	42.4	19.7	16.7	33.3	13.6	31.8	69.7	36.4	4.5	3.0	10.6	1.5
70～79 歳	58	58.6	20.7	3.4	20.7	6.9	34.5	55.2	31.0	1.7	5.2	13.8	3.4
80 歳以上	29	69.0	13.8	17.2	20.7	17.2	24.1	48.3	17.2	0.0	0.0	20.7	3.4
女性 18・19 歳	6	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	66.7	50.0	0.0	33.3	0.0	0.0
20～29 歳	47	17.0	6.4	12.8	53.2	12.8	25.5	61.7	48.9	4.3	2.1	6.4	8.5
30～39 歳	63	25.4	14.3	12.7	46.0	7.9	22.2	77.8	65.1	4.8	1.6	1.6	1.6
40～49 歳	74	31.1	9.5	14.9	32.4	10.8	18.9	75.7	45.9	5.4	2.7	9.5	1.4
50～59 歳	82	37.8	17.1	8.5	30.5	8.5	35.4	74.4	40.2	6.1	2.4	13.4	1.2
60～69 歳	77	50.6	19.5	16.9	27.3	13.0	44.2	66.2	33.8	3.9	3.9	10.4	1.3
70～79 歳	82	61.0	14.6	15.9	24.4	13.4	36.6	68.3	4.9	2.4	0.0	9.8	3.7
80 歳以上	49	59.2	16.3	14.3	22.4	6.1	38.8	61.2	14.3	4.1	4.1	8.2	4.1

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

7 子どもの人権について

問 21 子どもの人権について、課題や問題だと思うのは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

「仲間はずれや無視、暴力やいやがらせなどのいじめをすること」が 79.3%と割合が最も高く、次いで「親などが「しつけ」として子どもに暴力を加えたり、育児放棄（ネグレクト）などの虐待をすること」が 69.7%、「いじめをしている人やいじめられている人がいても、見て見ぬふりをする」ことが 69.0%となっている。



【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「仲間はずれや無視、暴力やいやがらせなどのいじめをすること」の割合が最も高い。

(単位：%)

区分	合計	仲間はずれや無視、暴力やいやがらせなどのいじめをすること	いじめをしている人やいじめられている人がいても、見て見ぬふりをする	教師が子どもを殴るなどの体罰を加えること	親などが「しつけ」として子どもに暴力を加えたり、育児放棄（ネグレクト）などの虐待をすること	子どもの生まれ育った環境によって将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること	大人が子どもの意見を無視したり、大人の考えを子どもに押しつけること	児童買春や児童ポルノなど	その他	特にない	わからない	無回答
男性	380	78.9	68.9	41.6	62.6	57.6	51.3	50.5	3.4	1.6	2.9	2.9
女性	480	80.8	70.2	48.5	75.6	62.5	57.9	60.8	3.1	0.2	3.1	3.1

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「仲間はずれや無視、暴力やいやがらせなどのいじめをすること」の割合が高い傾向がみられるが、「女性 50～59 歳」では「親などが「しつけ」として子どもに暴力を加えたり、育児放棄（ネグレクト）などの虐待をすること」の割合が最も高い。

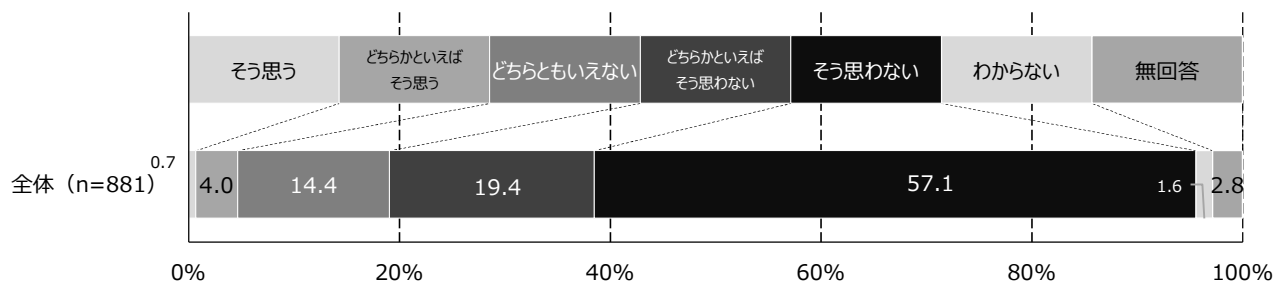
(単位：%)

区分	有効回答数(件)	仲間はずれや無視、暴力やいやがらせなどのいじめをすること	いじめをしている人やいじめられている人がいても、見て見ぬふりをすること	教師が子どもを殴るなどの体罰を加えること	親などが「しつけ」として子どもに暴力を加えたり、育児放棄（ネグレクト）などの虐待をすること	子どもが生まれ育った環境によって将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること	大人の考えを子どもに押しつけること	児童買春や児童ポルノなど	その他	特になし	わからない	無回答
男性 18・19 歳	6	100.0	100.0	66.7	100.0	50.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	33	84.8	60.6	51.5	72.7	60.6	54.5	48.5	3.0	6.1	3.0	3.0
30～39 歳	46	84.8	71.7	56.5	73.9	71.7	73.9	65.2	2.2	0.0	0.0	4.3
40～49 歳	67	73.1	65.7	38.8	59.7	49.3	43.3	44.8	6.0	0.0	3.0	3.0
50～59 歳	75	86.7	76.0	29.3	61.3	56.0	44.0	52.0	1.3	1.3	1.3	1.3
60～69 歳	66	78.8	75.8	34.8	62.1	71.2	50.0	60.6	6.1	0.0	4.5	1.5
70～79 歳	58	72.4	62.1	46.6	58.6	44.8	51.7	37.9	1.7	3.4	0.0	3.4
80 歳以上	29	65.5	55.2	44.8	44.8	51.7	51.7	48.3	3.4	3.4	13.8	6.9
女性 18・19 歳	6	83.3	50.0	50.0	66.7	66.7	83.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	47	83.0	70.2	51.1	72.3	61.7	55.3	55.3	2.1	2.1	2.1	6.4
30～39 歳	63	88.9	73.0	61.9	79.4	68.3	74.6	71.4	4.8	0.0	0.0	1.6
40～49 歳	74	81.1	71.6	48.6	77.0	68.9	56.8	66.2	6.8	0.0	2.7	2.7
50～59 歳	82	73.2	67.1	39.0	81.7	65.9	54.9	59.8	3.7	0.0	3.7	1.2
60～69 歳	77	83.1	76.6	49.4	76.6	66.2	53.2	61.0	0.0	0.0	5.2	0.0
70～79 歳	82	81.7	73.2	45.1	70.7	57.3	56.1	53.7	1.2	0.0	3.7	3.7
80 歳以上	49	75.5	57.1	49.0	69.4	42.9	53.1	57.1	4.1	0.0	4.1	10.2

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

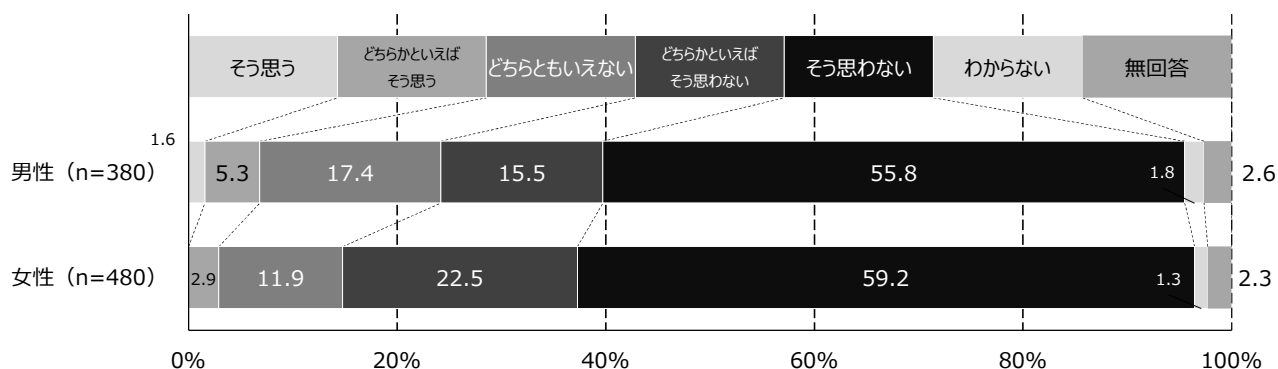
問 22 あなたは、「子どもは、黙って大人の言うことを聞いていけばよい」と思いますか。
(○は1つ)

「そう思わない」が 57.1%と割合が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 19.4%、「どちらともいえない」が 14.4%となっている。



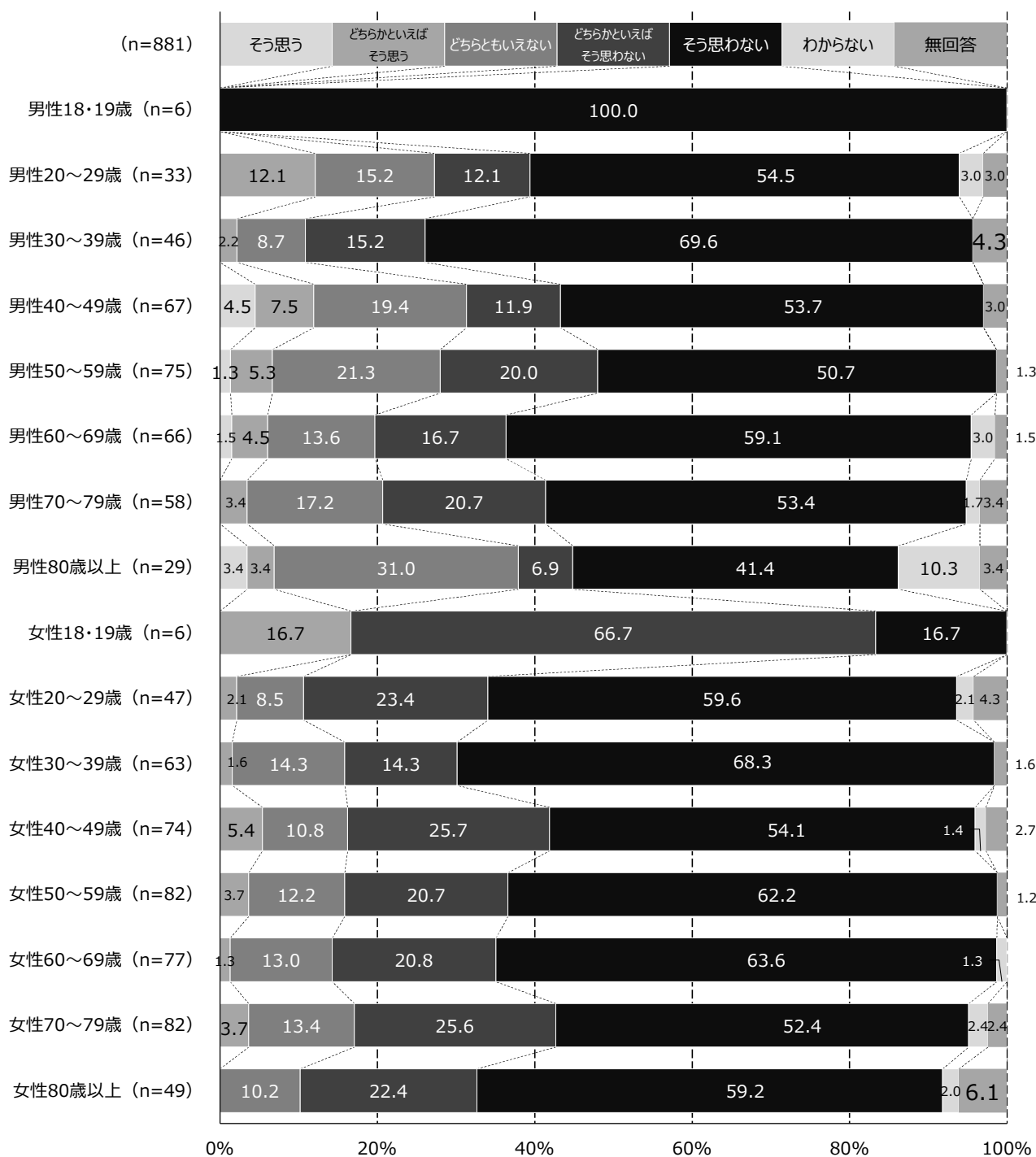
【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「そう思わない」の割合が最も高い。



【性・年齢別】

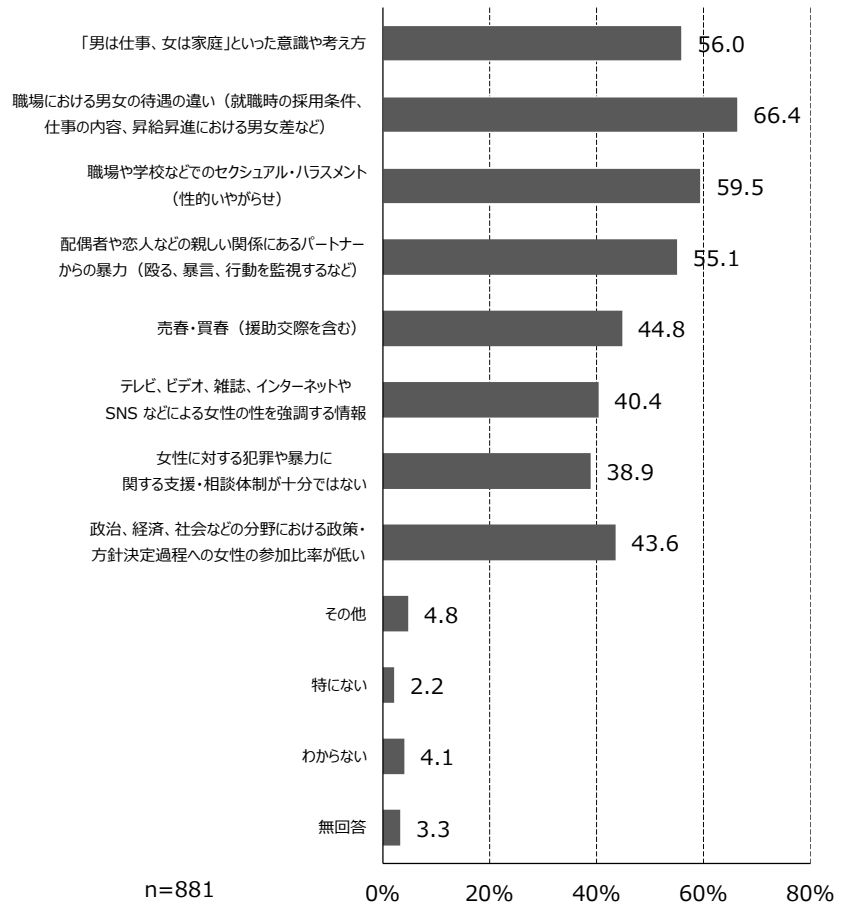
性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「そう思わない」の割合が最も高い。



8 男女平等に関する人権について

問 23 男女平等に関わる人権について、課題や問題だと思うのは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

「職場における男女の待遇の違い（就職時の採用条件、仕事の内容、昇給昇進における男女差など）」が 66.4%と割合が最も高く、次いで「職場や学校などでのセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」が 59.5%、『男は仕事、女は家庭』といった意識や考え方が 56.0%となっている。



【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「職場における男女の待遇の違い（就職時の採用条件、仕事の内容、昇給昇進における男女差など）」の割合が最も高く、女性は男性よりも 9.9 ポイント高い。

(単位：%)

区分	合計	「男は仕事、女は家庭」といった意識や考え方	職場における男女の待遇の違い（就職時の採用条件、仕事の内容、昇給昇進における男女差など）	職場や学校などでのセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）	配偶者や恋人などの親しい関係にあるパートナーからの暴力（殴る、暴言、行動を監視するなど）	売春・買春（援助交際を含む）	テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットやSNS などによる女性の性を強調する情報	女性に対する犯罪や暴力に関する支援・相談体制が十分ではない	政治、経済、社会などの分野における政策・方針決定過程への女性の参加比率が低い	その他	特になし	わからない	無回答
男性	380	50.8	61.6	57.4	51.1	41.8	31.8	33.7	36.6	6.1	3.4	4.7	2.6
女性	480	60.8	71.5	61.5	59.2	47.7	47.7	44.0	49.4	3.8	1.3	3.5	2.7

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、いずれの性別においても「職場における男女の待遇の違い（就職時の採用条件、仕事の内容、昇給昇進における男女差など）」の割合が高い傾向がみられるが、「男性 30～39 歳」「男性 60～69 歳」では「職場や学校などでのセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」、「男性 60～69 歳」では「男は仕事、女は家庭」といった意識や考え方の割合が高い。

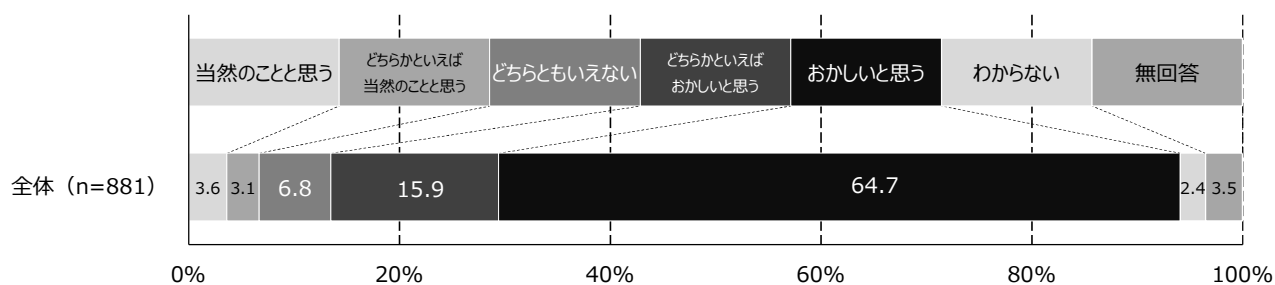
(単位：%)

区分	有効回答数(件)	「男は仕事、女は家庭」といった意識や考え方	職場における男女の待遇の違い（就職時の採用条件、仕事の内容、昇給昇進における男女差など）	職場や学校などでのセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）	配偶者や恋人などの親しい関係にあるパートナーからの暴力（殴る、暴言、行動を監視するなど）	売春・買春（援助交際を含む）	テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットや SNS などによる女性の性を強調する情報	女性に対する犯罪や暴力に関する支援・相談体制が十分ではない	政治・経済、社会などの分野における政策・方針決定過程への女性の参加率が低い	その他	特になし	わからない	無回答
男性 18・19 歳	6	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
20～29 歳	33	57.6	63.6	54.5	54.5	48.5	33.3	30.3	30.3	9.1	3.0	6.1	3.0
30～39 歳	46	58.7	69.6	69.6	60.9	47.8	37.0	37.0	32.6	10.9	2.2	0.0	4.3
40～49 歳	67	47.8	56.7	49.3	49.3	34.3	28.4	22.4	26.9	11.9	6.0	1.5	1.5
50～59 歳	75	41.3	64.0	62.7	54.7	38.7	24.0	33.3	30.7	4.0	2.7	4.0	1.3
60～69 歳	66	63.6	62.1	63.6	57.6	45.5	30.3	36.4	48.5	4.5	1.5	3.0	1.5
70～79 歳	58	44.8	55.2	46.6	36.2	37.9	36.2	44.8	46.6	1.7	3.4	6.9	5.2
80 歳以上	29	44.8	65.5	55.2	41.4	48.3	44.8	34.5	44.8	0.0	6.9	17.2	3.4
女性 18・19 歳	6	66.7	66.7	66.7	83.3	83.3	50.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	47	61.7	70.2	72.3	61.7	53.2	44.7	51.1	48.9	4.3	0.0	2.1	4.3
30～39 歳	63	66.7	76.2	66.7	57.1	50.8	55.6	57.1	66.7	4.8	0.0	0.0	1.6
40～49 歳	74	62.2	70.3	60.8	67.6	48.6	52.7	39.2	47.3	9.5	2.7	0.0	2.7
50～59 歳	82	51.2	67.1	54.9	53.7	41.5	42.7	35.4	41.5	3.7	1.2	4.9	1.2
60～69 歳	77	63.6	81.8	71.4	66.2	48.1	50.6	45.5	49.4	1.3	1.3	0.0	0.0
70～79 歳	82	61.0	68.3	54.9	53.7	46.3	46.3	47.6	46.3	2.4	1.2	6.1	3.7
80 歳以上	49	61.2	65.3	51.0	51.0	44.9	38.8	34.7	46.9	0.0	2.0	14.3	8.2

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

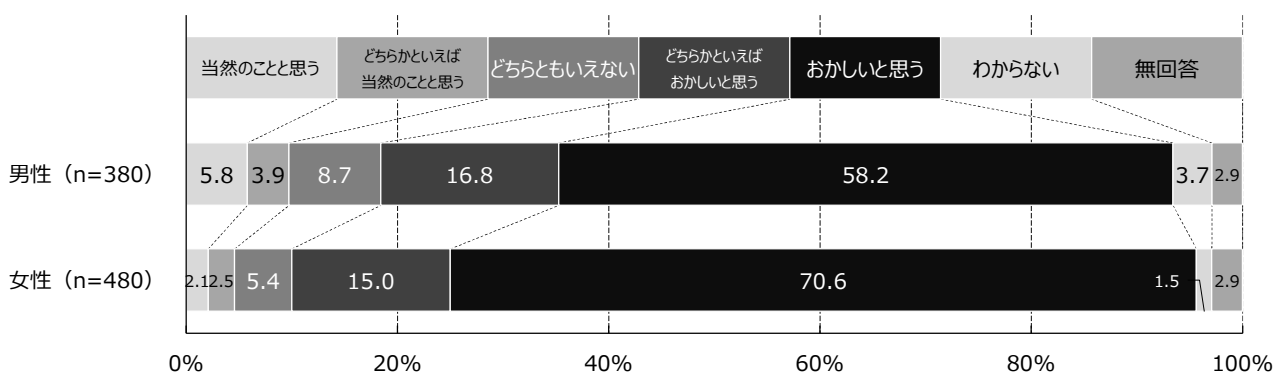
問 24 あなたは、子どもが成長したことなどにより再就職を希望する女性に対して、その配偶者又はパートナーが「男は仕事、女は家庭」と反対することについて、どう思いますか。
(○は1つ)

「おかしいと思う」が 64.7%と割合が最も高く、次いで「どちらかといえばおかしいと思う」が 15.9%、「どちらともいえない」が 6.8%となっている。



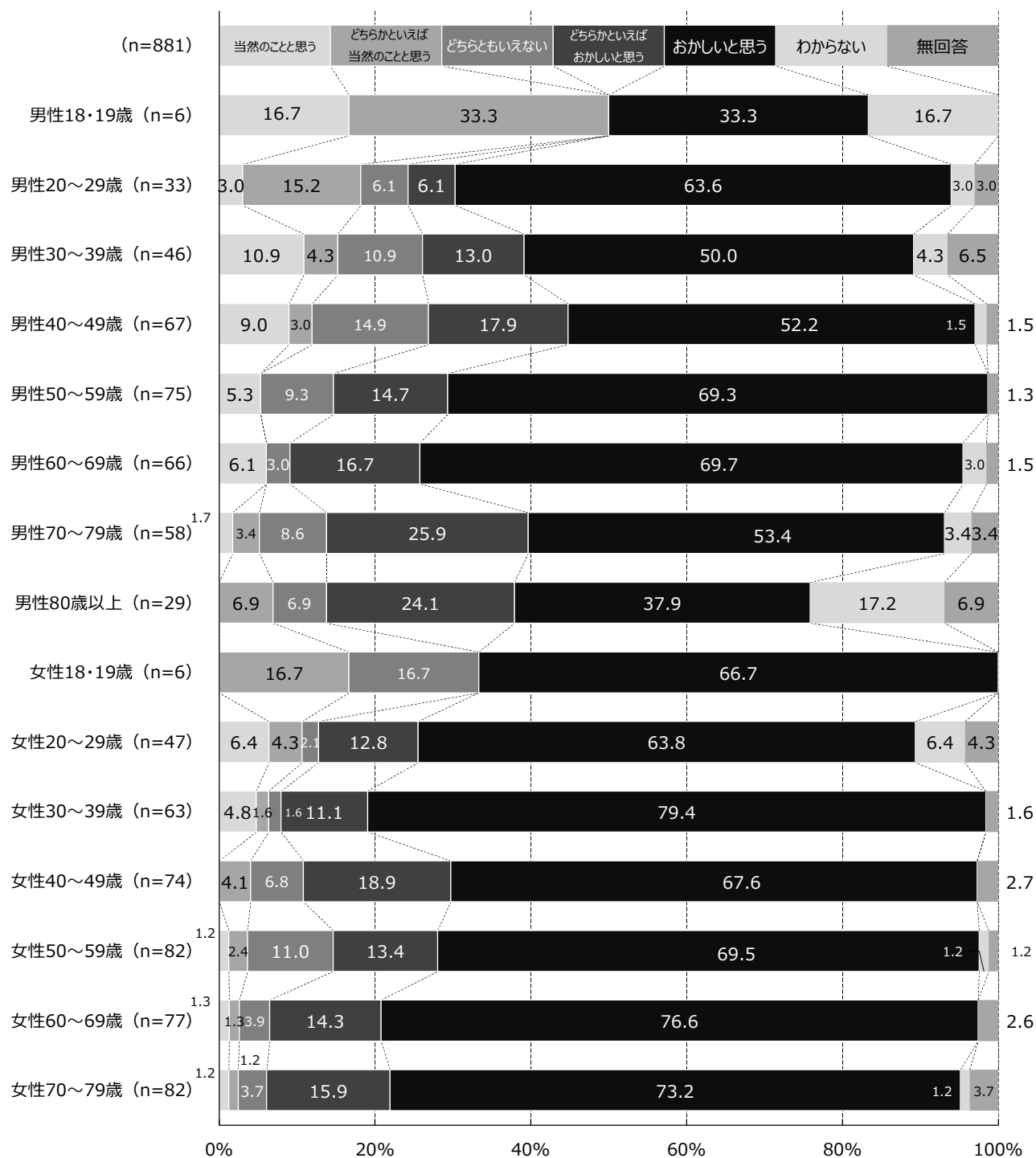
【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「おかしいと思う」の割合が最も高く、女性は男性よりも 12.4 ポイント高い。



【性・年齢別】

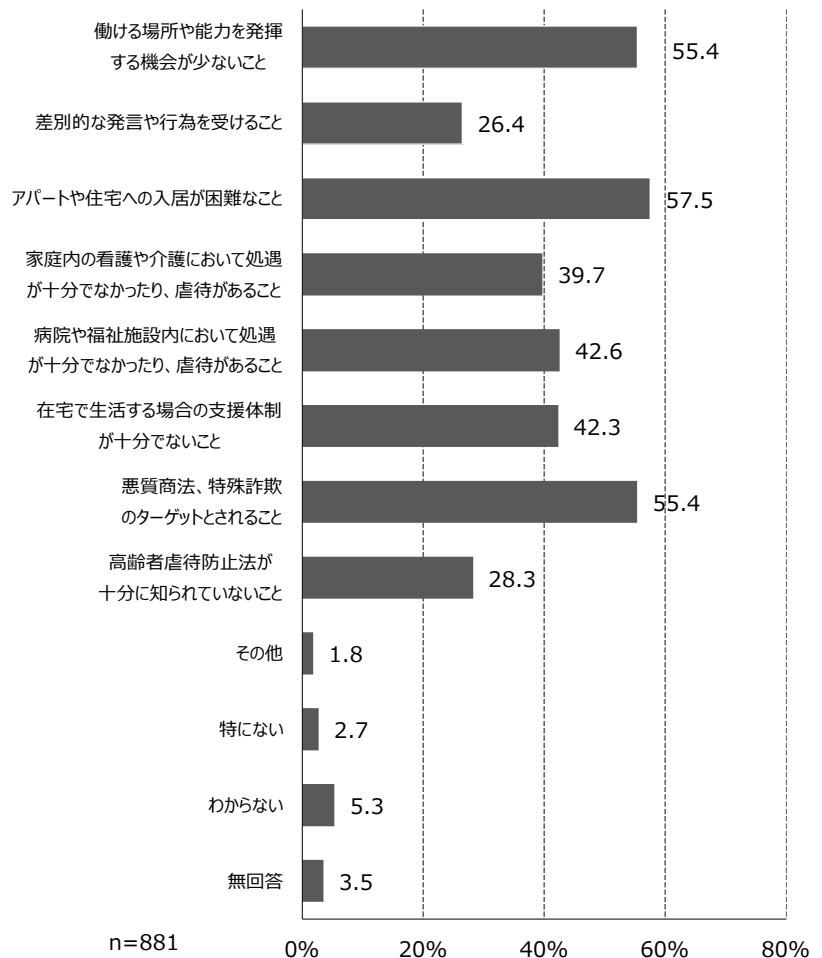
性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「おかしいと思う」の割合が高い。



9 高齢者の人権について

問 25 高齢者の人権について、課題や問題だと思うのは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

「アパートや住宅への入居が困難なこと」が57.5%と割合が最も高く、次いで「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」「悪質商法、特殊詐欺のターゲットにされること」が55.4%となっている。



【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「アパートや住宅への入居が困難なこと」の割合が最も高く、女性は男性よりも7.1ポイント高い。

(単位：%)

区分	合計	働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと	差別的な発言や行為を受けること	アパートや住宅への入居が困難なこと	家庭内の看護や介護において処遇が十分でなかったり、虐待があること	病院や福祉施設内において処遇が十分でなかったり、虐待があること	在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	悪質商法、特殊詐欺のターゲットとされること	高齢者虐待防止法が十分に知られていないこと	その他	特になし	わからない	無回答
男性	380	53.4	24.7	53.9	34.5	33.7	37.1	51.1	27.1	2.6	3.2	8.4	2.6
女性	480	57.9	28.3	61.0	44.6	50.6	46.3	59.6	29.6	1.3	2.1	2.9	3.1

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、いずれの性別においても「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」「アパートや住宅への入居が困難なこと」「悪質商法・特殊詐欺のターゲットとされること」の割合が高い傾向がみられるが、「女性 20～29 歳」では「家庭内の看護や介護において処遇が十分でなかったり、虐待があること」の割合が最も高い。

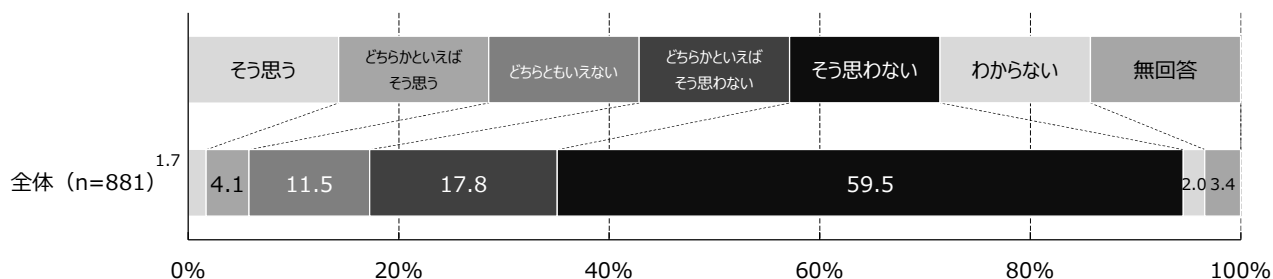
(単位：%)

区分	有効回答数 (件)	働ける場所や能力を発揮する機会が 少ないこと	差別的な発言や行為を受けること	アパートや住宅への入居が困難なこと	家庭内の看護や介護において処遇が 十分でなかったり、虐待があること	病院や福祉施設内において処遇が十 分でなかったり、虐待があること	在宅で生活する場合の支援体制が十 分でないこと	悪質商法、特殊詐欺のターゲットと されること	高齢者虐待防止法が十分に知られて いないこと	その他	特にな い	わから ない	無回 答
男性 18・19 歳	6	66.7	16.7	33.3	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0
20～29 歳	33	39.4	39.4	63.6	45.5	45.5	36.4	54.5	33.3	6.1	6.1	3.0	3.0
30～39 歳	46	43.5	23.9	52.2	45.7	43.5	41.3	52.2	30.4	4.3	4.3	8.7	4.3
40～49 歳	67	55.2	19.4	55.2	38.8	31.3	34.3	50.7	19.4	3.0	0.0	11.9	1.5
50～59 歳	75	58.7	28.0	53.3	36.0	34.7	38.7	61.3	30.7	1.3	1.3	5.3	1.3
60～69 歳	66	65.2	25.8	62.1	28.8	28.8	33.3	51.5	24.2	4.5	1.5	4.5	3.0
70～79 歳	58	48.3	20.7	48.3	20.7	29.3	41.4	39.7	22.4	0.0	6.9	10.3	3.4
80 歳以上	29	48.3	20.7	41.4	27.6	24.1	31.0	41.4	34.5	0.0	6.9	17.2	3.4
女性 18・19 歳	6	83.3	33.3	33.3	50.0	50.0	50.0	83.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	47	38.3	29.8	42.6	53.2	51.1	40.4	46.8	25.5	2.1	4.3	4.3	6.4
30～39 歳	63	46.0	27.0	47.6	44.4	52.4	42.9	69.8	28.6	0.0	1.6	1.6	1.6
40～49 歳	74	59.5	27.0	63.5	58.1	60.8	51.4	56.8	28.4	0.0	1.4	1.4	2.7
50～59 歳	82	64.6	23.2	70.7	40.2	51.2	47.6	63.4	26.8	3.7	1.2	1.2	1.2
60～69 歳	77	64.9	40.3	76.6	44.2	55.8	54.5	64.9	35.1	2.6	0.0	2.6	0.0
70～79 歳	82	59.8	22.0	57.3	40.2	40.2	41.5	50.0	28.0	0.0	2.4	4.9	4.9
80 歳以上	49	61.2	30.6	61.2	30.6	40.8	40.8	61.2	34.7	0.0	6.1	6.1	8.2

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

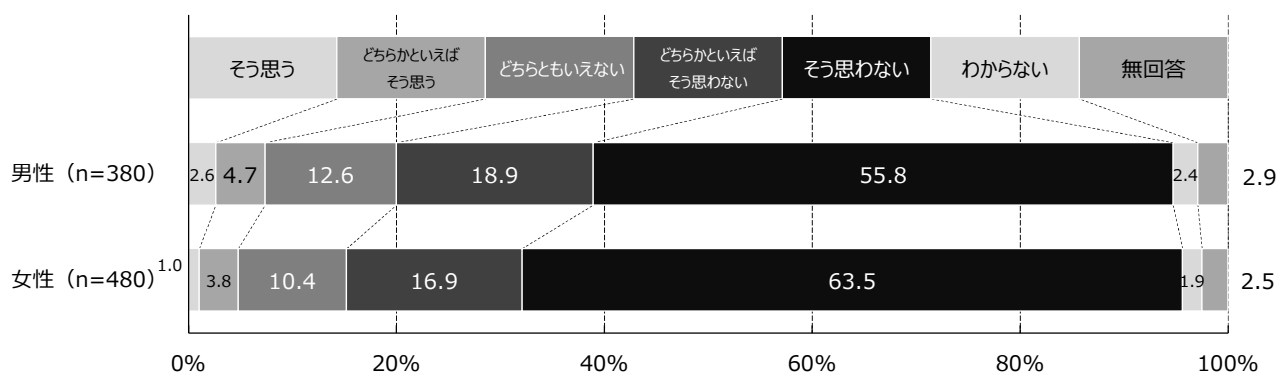
問 26 あなたは、「高齢者は情報や考え方が古いので、高齢者の意見は尊重されなくてもよい」と
 思いますか。(○は1つ)

「そう思わない」が 59.5%と割合が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 17.8%、
 「どちらともいえない」が 11.5%となっている。



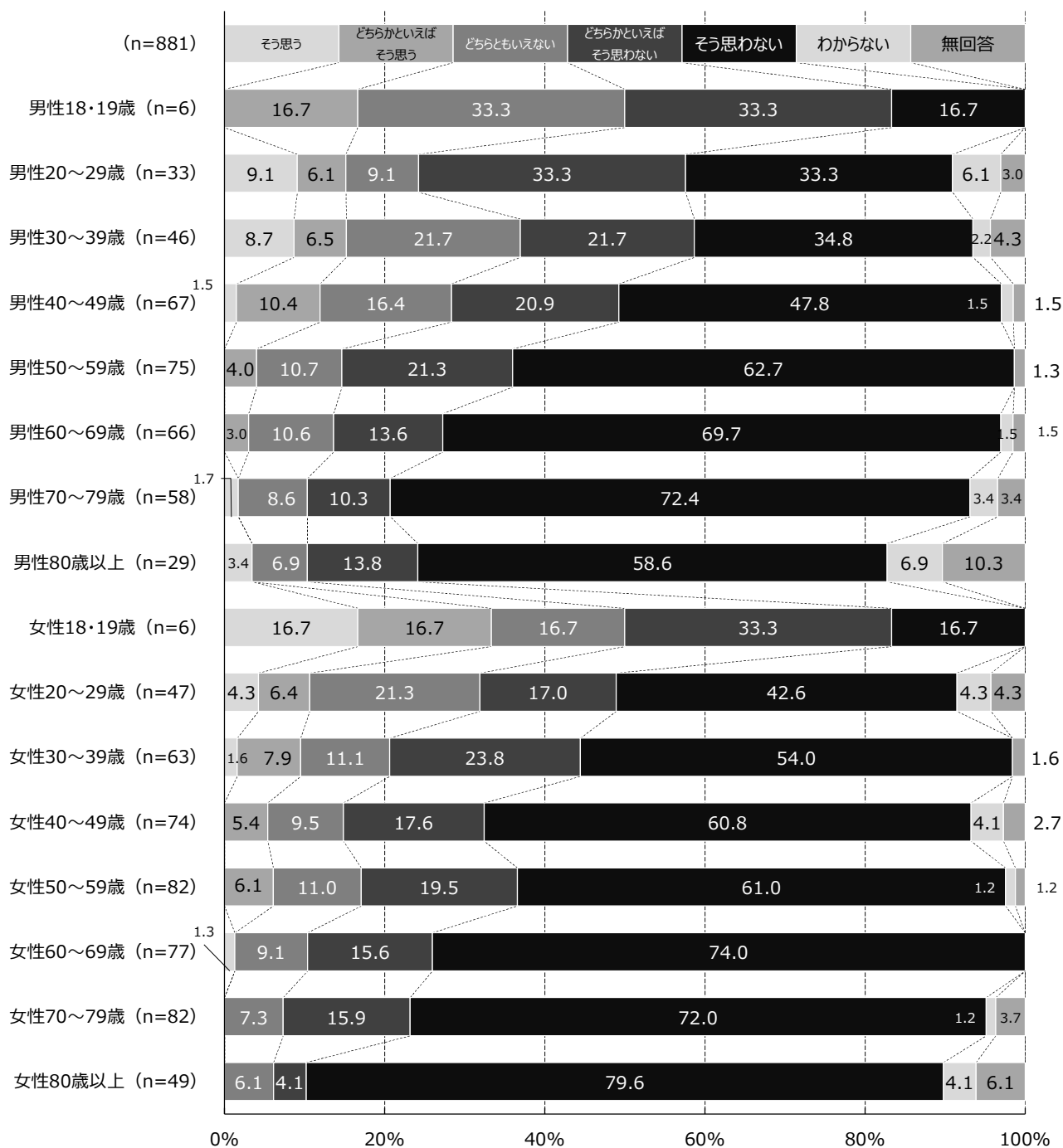
【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「そう思わない」の割合が最も高く、女性は男性よりも 7.7
 ポイント高い。



【性・年齢別】

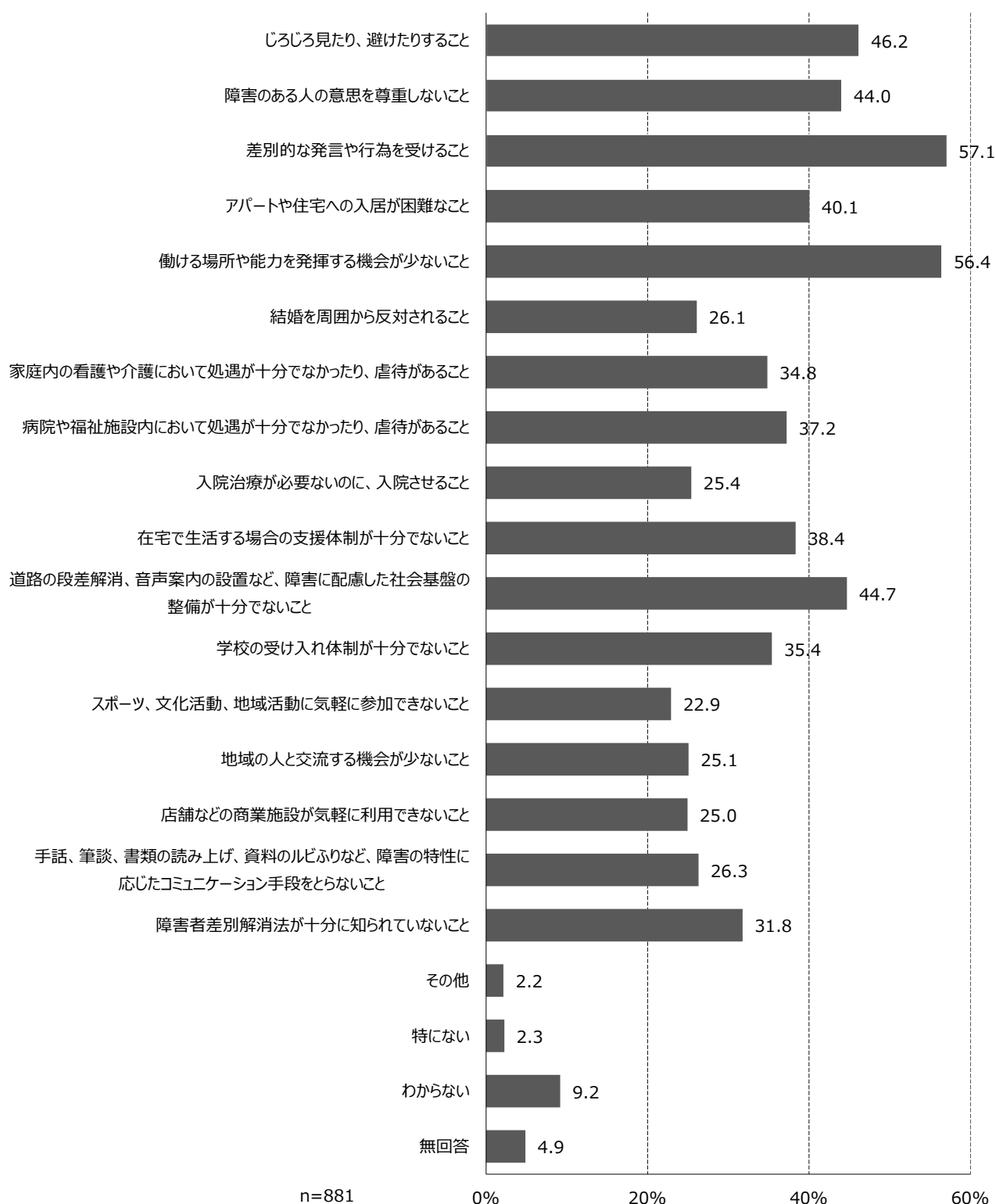
性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「そう思わない」の割合が高い傾向がみられる。



10 障害者の人権について

問 27 障害者の人権について、課題や問題だと思うのは次のうちどれですか。（○はいくつでも）

「差別的な発言や行為を受けること」が 57.1%と割合が最も高く、次いで「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」が 56.4%、「じろじろ見たり、避けたりすること」が 46.2%となっている。



【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「差別的な発言や行為を受けること」の割合が最も高い。

(単位：%)

区分	合計	じろじろ見たり、避けたりすること	障害のある人の意思を尊重しないこと	差別的な発言や行為を受けること	アパートや住宅への入居が困難なこと	働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと	結婚を周囲から反対されること	家庭内の看護や介護において処遇が十分でなかったり、虐待があること	病院や福祉施設内において処遇が十分でなかったり、虐待があること	入院治療が必要なのに、入院させること	在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	道路の段差解消、音声案内の設置など、障害に配慮した社会基盤の整備が十分でないこと
男性	380	43.4	42.4	56.8	38.2	55.0	24.5	30.0	29.5	25.0	32.1	39.5
女性	480	49.2	46.7	58.3	41.9	58.1	27.9	39.0	43.5	26.3	43.8	49.0

		学校の受け入れ体制が十分でないこと	スポーツ、文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと	地域の人と交流する機会が少ないこと	店舗などの商業施設が気軽に利用できないこと	手話、筆談、書類の読み上げ、資料のルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとらないこと	障害者差別解消法が十分に知られていないこと	その他	特にない	わからない	無回答
男性	380	32.6	21.6	23.4	21.8	22.9	27.4	2.1	2.6	11.3	3.7
女性	480	37.9	23.8	26.9	27.5	29.2	35.6	2.3	2.1	7.1	4.8

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、いずれの性別においても「差別的な発言や行為を受けること」「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」の割合が高い傾向がみられるが、「男性 80 歳以上」では「在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと」、「女性 70～79 歳」では「じろじろ見たり、避けたりすること」の割合が最も高い。

(単位：%)

区分	有効回答数 (件)	じろじろ見たり、 避けたりすること	障害のある人の意 思を尊重しないこ と	差別的な発言や行 為を受けること	アパートや住宅へ の入居が困難なこ と	働ける場所や能 力を発揮する機 会が少ないこと	結婚を周囲から 反対されること	家庭内の看護や 介護において処 遇が十分でなかつ たり、虐待がある こと	病院や福祉施設 内において処遇が 十分でなかつたり 、虐待があること	入院治療が必要 なのに、入院させ ること	在宅で生活する 場合の支援体制が 十分でないこと	道路の段差解消、 音声案内の設置な ど、障害に配慮し た社会基盤の整備 が十分でないこと
男性 18・19 歳	6	33.3	66.7	66.7	16.7	50.0	33.3	50.0	83.3	16.7	0.0	16.7
20～29 歳	33	45.5	51.5	72.7	51.5	48.5	39.4	51.5	39.4	33.3	36.4	33.3
30～39 歳	46	50.0	43.5	58.7	54.3	54.3	28.3	39.1	37.0	34.8	21.7	37.0
40～49 歳	67	32.8	37.3	58.2	28.4	52.2	23.9	29.9	28.4	19.4	23.9	25.4
50～59 歳	75	49.3	49.3	62.7	38.7	58.7	25.3	32.0	30.7	26.7	37.3	46.7
60～69 歳	66	48.5	33.3	54.5	43.9	62.1	27.3	19.7	21.2	21.2	27.3	45.5
70～79 歳	58	36.2	41.4	50.0	31.0	58.6	13.8	20.7	27.6	19.0	41.4	50.0
80 歳以上	29	44.8	41.4	34.5	24.1	37.9	13.8	24.1	17.2	31.0	48.3	34.5
女性 18・19 歳	6	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	50.0
20～29 歳	47	38.3	53.2	70.2	38.3	44.7	25.5	42.6	44.7	29.8	42.6	40.4
30～39 歳	63	39.7	50.8	60.3	34.9	58.7	30.2	39.7	44.4	22.2	41.3	42.9
40～49 歳	74	48.6	40.5	64.9	45.9	58.1	27.0	48.6	56.8	27.0	60.8	52.7
50～59 歳	82	51.2	37.8	53.7	46.3	63.4	24.4	34.1	41.5	28.0	40.2	56.1
60～69 歳	77	51.9	57.1	62.3	46.8	67.5	36.4	42.9	42.9	28.6	48.1	49.4
70～79 歳	82	54.9	40.2	52.4	32.9	50.0	20.7	30.5	35.4	22.0	36.6	43.9
80 歳以上	49	53.1	51.0	44.9	44.9	59.2	28.6	32.7	36.7	26.5	34.7	55.1

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

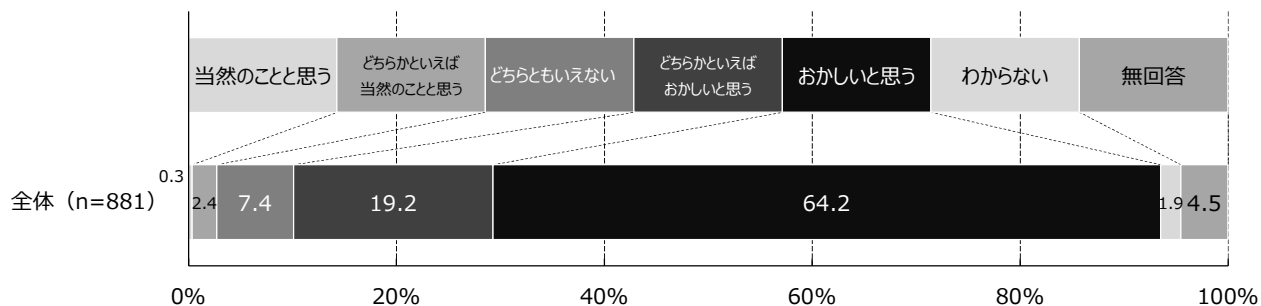
(単位：％)

区分	有効回答数(件)	学校の受け入れ体制が十分でないこと	スポーツ、文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと	地域の人と交流する機会が少ないこと	店舗などの商業施設が気軽に利用できないこと	手話、筆談、書類の読み上げ、資料のルビなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとらないこと	障害者差別解消法が十分に知られていないこと	その他	特にない	わからない	無回答
男性 18・19 歳	6	66.7	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
20～29 歳	33	54.5	39.4	18.2	33.3	39.4	39.4	3.0	3.0	12.1	3.0
30～39 歳	46	30.4	21.7	21.7	23.9	30.4	26.1	2.2	0.0	8.7	4.3
40～49 歳	67	23.9	14.9	19.4	22.4	17.9	14.9	3.0	4.5	10.4	1.5
50～59 歳	75	37.3	20.0	21.3	20.0	17.3	30.7	2.7	2.7	6.7	4.0
60～69 歳	66	34.8	21.2	22.7	24.2	24.2	25.8	1.5	0.0	12.1	3.0
70～79 歳	58	24.1	19.0	31.0	15.5	22.4	29.3	1.7	3.4	12.1	3.4
80 歳以上	29	24.1	24.1	34.5	17.2	20.7	41.4	0.0	6.9	27.6	6.9
女性 18・19 歳	6	66.7	66.7	33.3	50.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	47	36.2	23.4	19.1	27.7	25.5	34.0	0.0	0.0	2.1	8.5
30～39 歳	63	42.9	28.6	25.4	31.7	27.0	31.7	3.2	4.8	3.2	3.2
40～49 歳	74	31.1	27.0	28.4	27.0	25.7	35.1	2.7	1.4	4.1	4.1
50～59 歳	82	37.8	14.6	28.0	24.4	30.5	28.0	2.4	2.4	7.3	1.2
60～69 歳	77	46.8	26.0	27.3	33.8	35.1	41.6	3.9	2.6	6.5	3.9
70～79 歳	82	31.7	15.9	22.0	23.2	28.0	32.9	1.2	1.2	13.4	8.5
80 歳以上	49	36.7	32.7	38.8	22.4	30.6	51.0	2.0	2.0	12.2	6.1

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

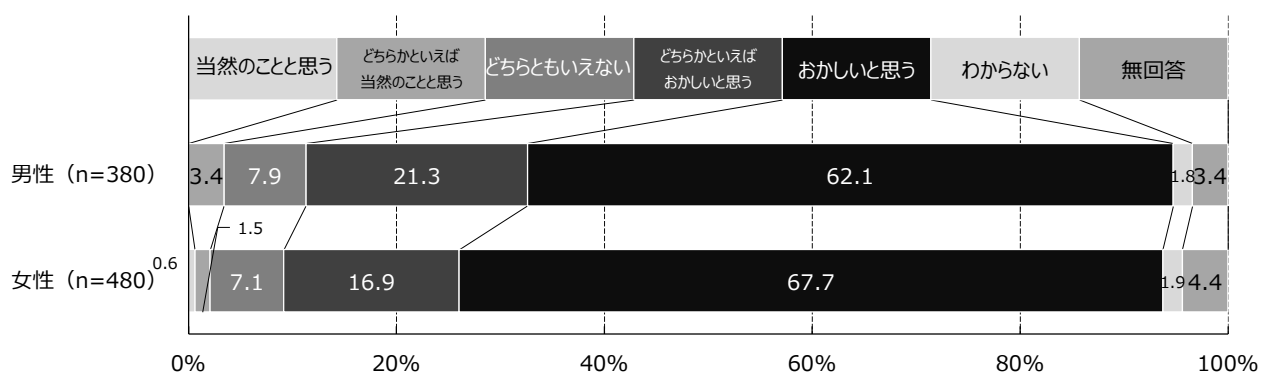
問 28 あなたは、車いすの人、盲導犬や介助犬などを連れた人が、正当な理由なく店舗への入店を断られることがあることについて、どう思いますか。(○は1つ)

「おかしいと思う」が64.2%と割合が最も高く、次いで、「どちらかといえばおかしいと思う」が19.2%となっている。



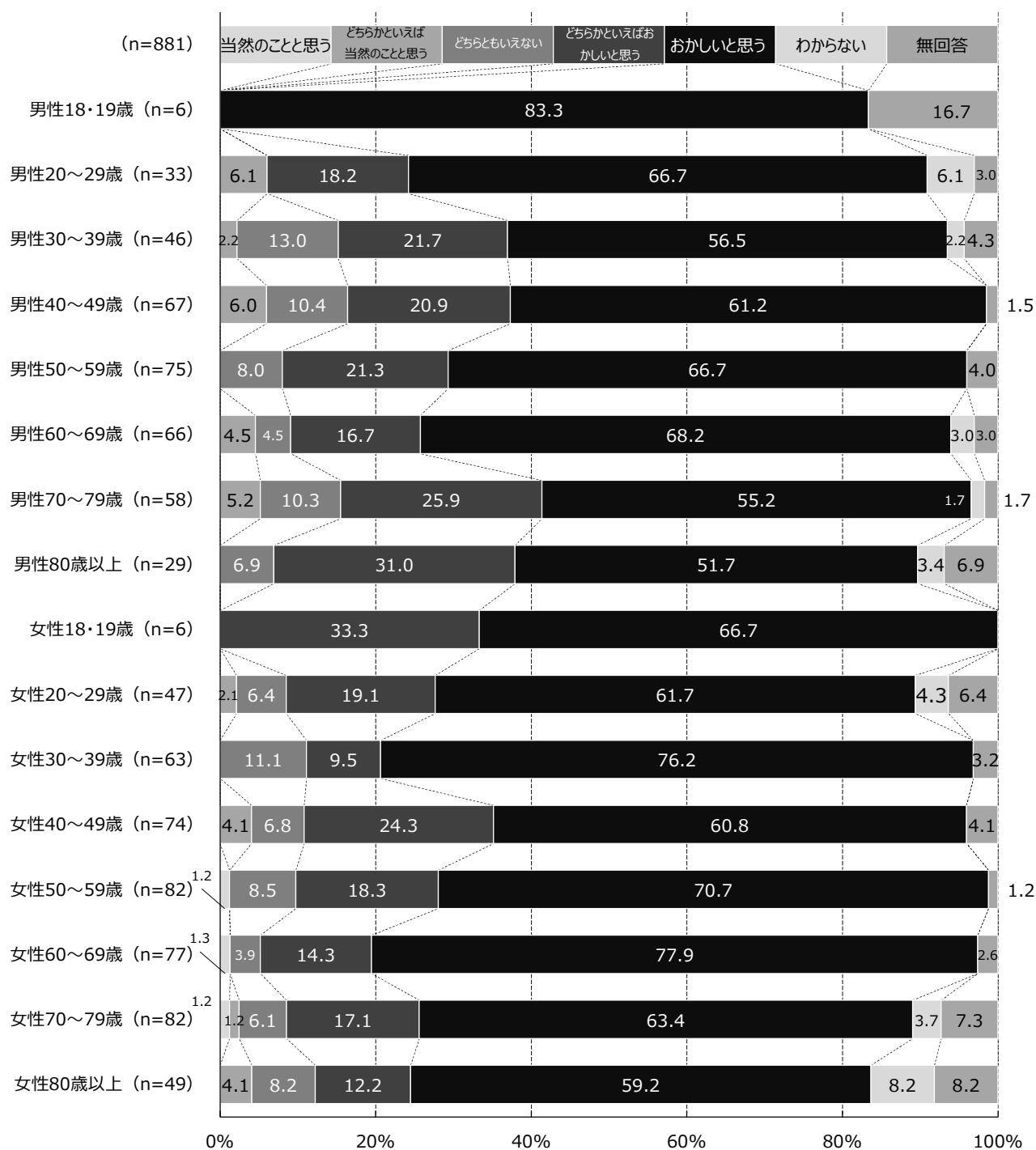
【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「おかしいと思う」の割合が最も高い。



【性・年齢別】

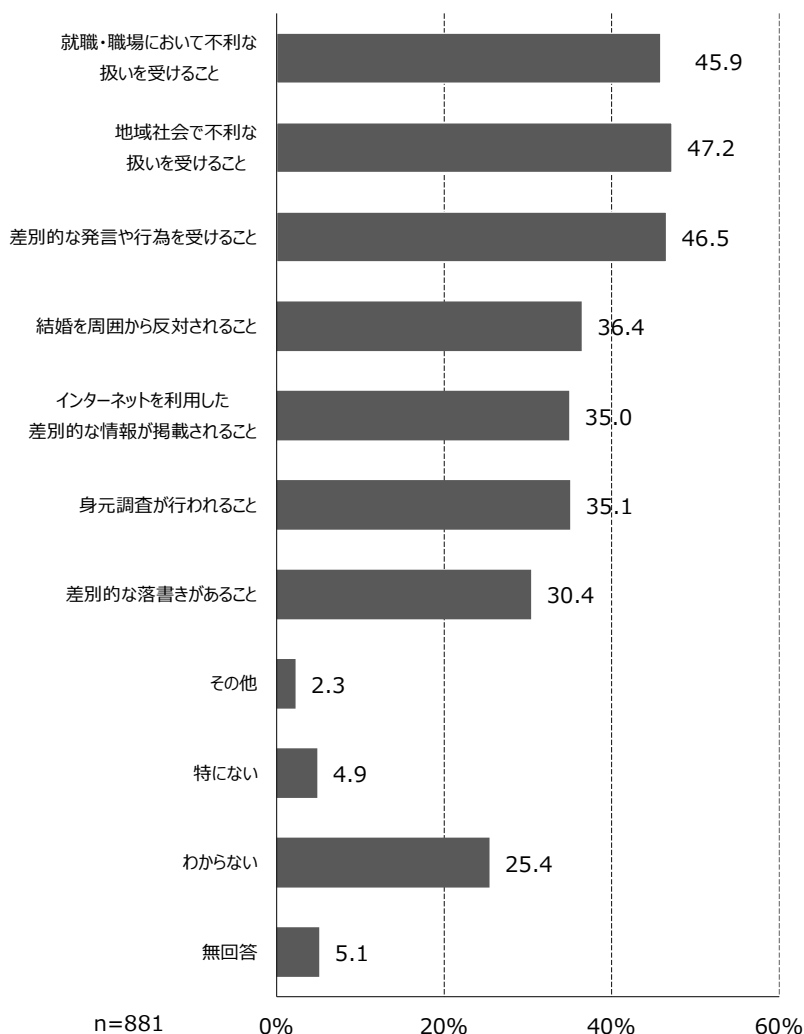
性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「おかしいと思う」の割合が最も高い。



1.1 同和問題について

問 29 部落差別（同和問題）の人権について、課題や問題だと思うのは次のうちどれですか。
（〇はいくつでも）

「地域社会で不利な扱いを受けること」が 47.2%と割合が最も高く、次いで「差別的な発言や行為を受けること」が 46.5%、「就職・職場において不利な扱いを受けること」が 45.9%となっている。



【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「地域社会で不利な扱いを受けること」の割合が最も高い。

(単位：%)

区分	合計	就職・職場において不利な扱いを受けること	地域社会で不利な扱いを受けること	差別的な発言や行為を受けること	結婚を周囲から反対されること	インターネットを利用した差別的な情報が掲載されること	身元調査が行われること	差別的な落書きがあること	その他	特になし	わからない	無回答
男性	380	44.7	45.8	44.5	34.2	34.5	33.7	29.2	3.7	6.6	26.1	3.4
女性	480	47.7	49.4	48.8	38.8	35.8	36.7	31.7	1.0	3.5	25.0	5.4

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「地域社会で不利な扱いを受けること」「差別的な発言や行為を受けること」の割合が高い傾向がみられるが、「男性 50～59 歳」「女性 50～59 歳」では「就職・職場において不利な扱いを受けること」、「男性 70～79 歳」では「わからない」の割合が最も高い。

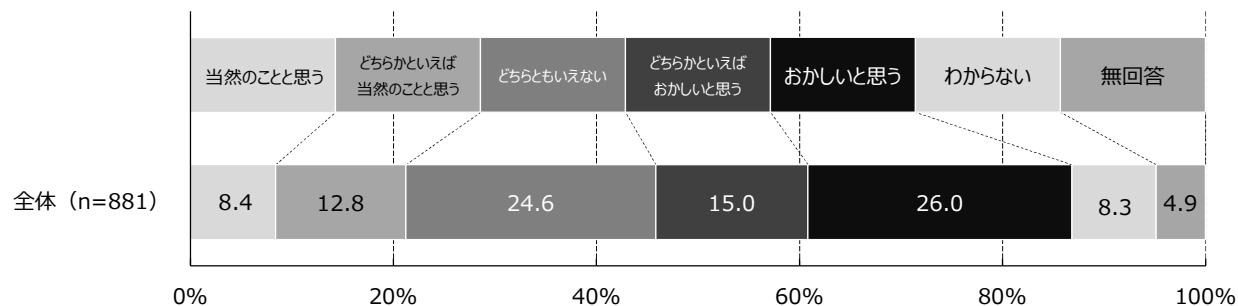
(単位：%)

区分	有効回答数 (件)	就職・職場において不利な扱いを受けること	地域社会で不利な扱いを受けること	差別的な発言や行為を受けること	結婚を周囲から反対されること	インターネットを利用した差別的な情報が掲載されること	身元調査が行われること	差別的な落書きがあること	その他	特にない	わからない	無回答
男性 18・19 歳	6	50.0	33.3	50.0	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7
20～29 歳	33	48.5	51.5	54.5	39.4	39.4	36.4	39.4	3.0	6.1	18.2	3.0
30～39 歳	46	47.8	41.3	50.0	41.3	41.3	39.1	37.0	2.2	4.3	32.6	4.3
40～49 歳	67	32.8	41.8	38.8	26.9	32.8	28.4	25.4	3.0	13.4	23.9	1.5
50～59 歳	75	54.7	52.0	49.3	44.0	41.3	46.7	36.0	8.0	5.3	14.7	4.0
60～69 歳	66	51.5	56.1	48.5	36.4	33.3	36.4	34.8	3.0	3.0	24.2	3.0
70～79 歳	58	36.2	31.0	36.2	29.3	27.6	22.4	15.5	3.4	6.9	41.4	1.7
80 歳以上	29	37.9	48.3	31.0	20.7	20.7	20.7	13.8	0.0	6.9	34.5	6.9
女性 18・19 歳	6	66.7	66.7	83.3	66.7	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	47	44.7	48.9	53.2	31.9	29.8	36.2	27.7	0.0	0.0	29.8	8.5
30～39 歳	63	50.8	52.4	49.2	44.4	41.3	39.7	33.3	0.0	4.8	19.0	3.2
40～49 歳	74	45.9	54.1	55.4	36.5	43.2	35.1	32.4	0.0	5.4	20.3	4.1
50～59 歳	82	51.2	50.0	43.9	42.7	32.9	36.6	28.0	1.2	3.7	31.7	1.2
60～69 歳	77	51.9	53.2	48.1	48.1	40.3	41.6	35.1	3.9	5.2	16.9	5.2
70～79 歳	82	41.5	40.2	42.7	26.8	25.6	30.5	28.0	0.0	1.2	32.9	11.0
80 歳以上	49	44.9	44.9	49.0	36.7	38.8	38.8	34.7	2.0	4.1	26.5	6.1

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

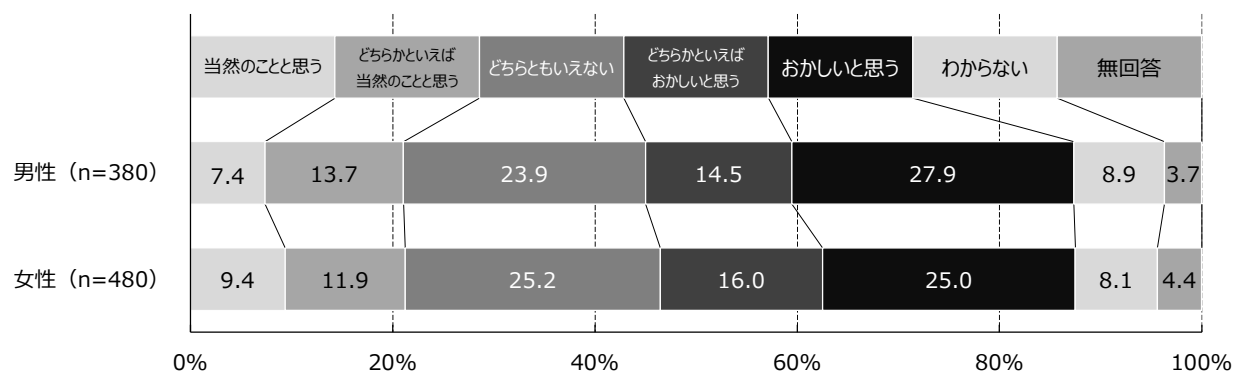
問 30 あなたは、結婚相手を決めるときに相手の出身地域を調べることにについて、どう思いますか。(○は1つ)

「おかしいと思う」が26.0%と割合が最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.6%、「どちらかといえばおかしいと思う」が15.0%となっている。



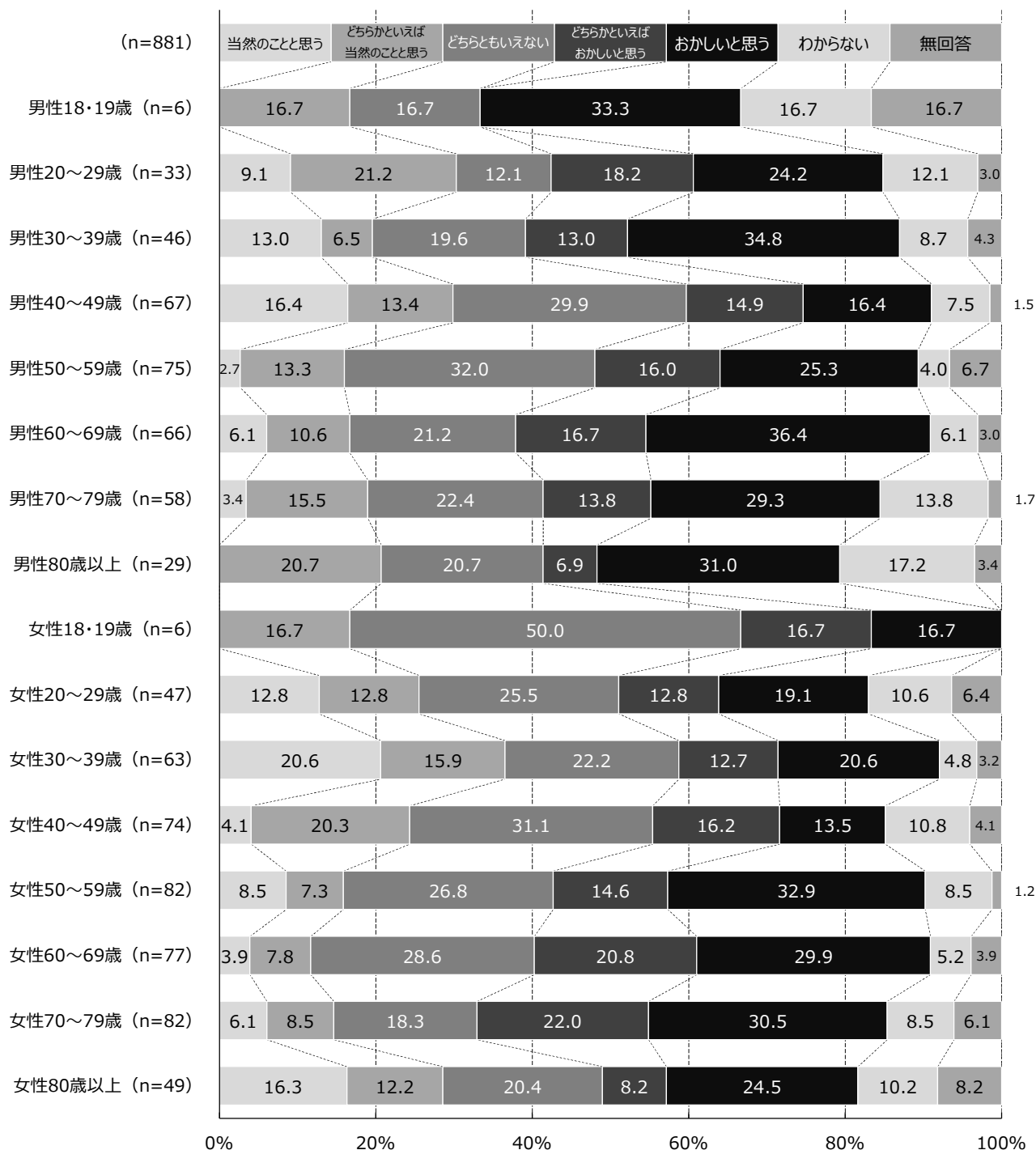
【性別】

性別でみると、男性では「おかしいと思う」が27.9%と割合が最も高く、女性では「どちらともいえない」が25.2%と割合が最も高い。



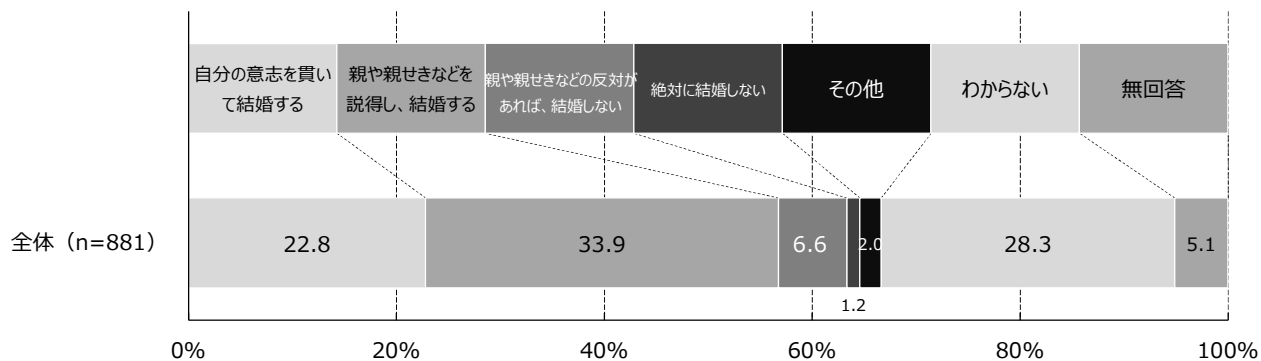
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても、「おかしいと思う」の割合が高い傾向がみられる。



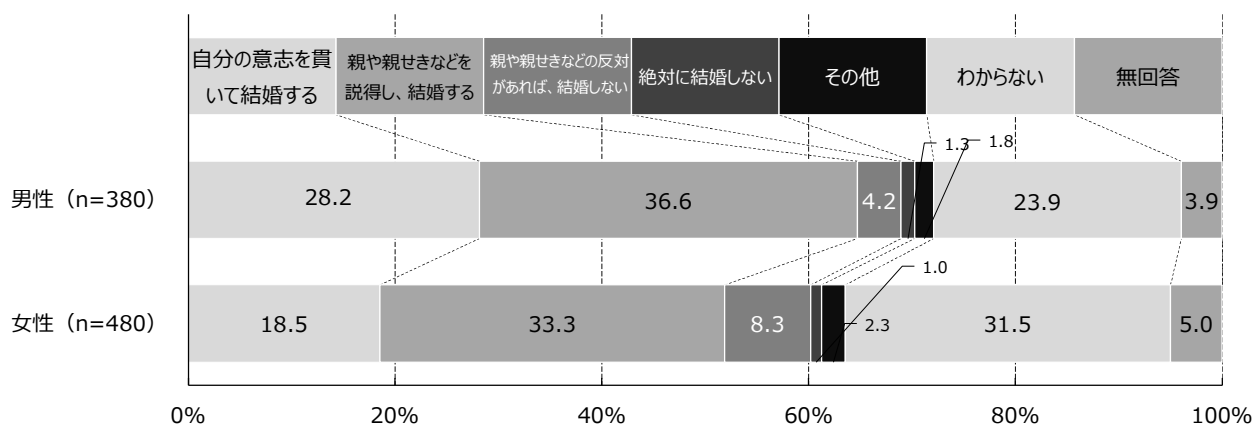
問 31 あなたは、あなたが同和地区出身の人と結婚しようとしたとき、親や親せきなどから強い反対を受けたら、どうしますか。(○は1つ)

「親や親せきなどを説得し、結婚する」が33.9%と割合が最も高く、次いで「わからない」が28.3%、「自分の意志を貫いて結婚する」が22.8%となっている。



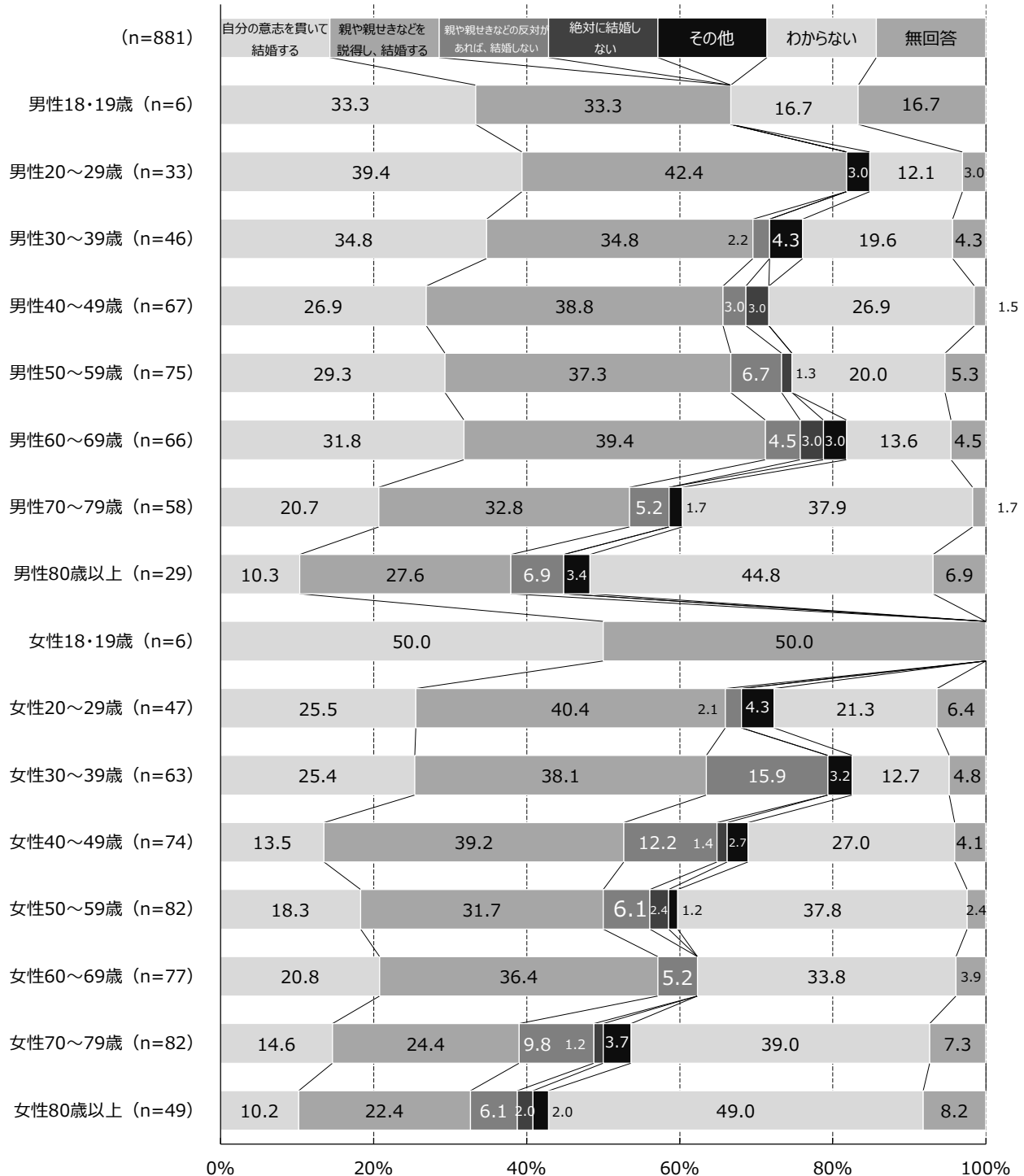
【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「親や親せきなどを説得し、結婚する」の割合が最も高く、「自分の意志を貫いて結婚する」では、男性が女性よりも9.7ポイント高い。



【性・年齢別】

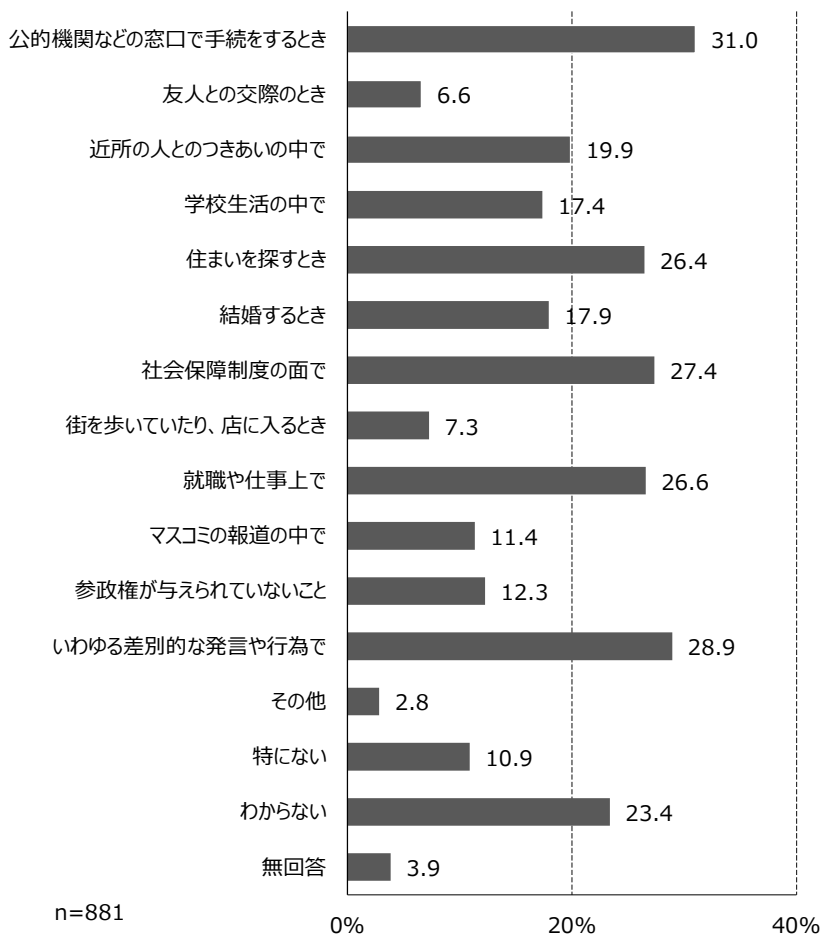
性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「親や親せきなどを説得し、結婚する」の割合が高い傾向が見られるが、「男性 70～79 歳」「男性 80 歳以上」「女性 50～59 歳」「女性 70～79 歳」「女性 80 歳以上」では、「わからない」の割合が最も高い。



1.2 外国人の人権について

問 32 外国人の人権について、どのような場面で、課題や問題があると思いますか。
(〇はいくつでも)

「公的機関などの窓口で手続きをするとき」が31.0%と割合が最も高く、次いで「いわゆる差別的な発言や行為で」が28.9%、「社会保障制度の面で」が27.4%となっている。



【性別】

性別でみると、男性では「公的機関などの窓口で手続きをするとき」が31.6%、女性では「いわゆる差別的な発言や行為で」が32.5%と割合が最も高かった。

(単位:%)

区分	合計	公的機関などの窓口で手続きをするとき	友人との交際するとき	近所の人とのつきあいの中で	学校生活の中で	住まいを探すとき	結婚するとき	社会保障制度の面で	街を歩いていた、店に入るとき	就職や仕事上で	マスコミの報道の中で	参政権が与えられていないこと	いわゆる差別的な発言や行為で	その他	特になし	わからない	無回答
男性	380	31.6	7.9	20.3	16.8	25.3	17.1	27.1	8.4	25.5	11.3	14.5	25.5	3.4	14.5	22.9	2.1
女性	480	31.5	5.8	20.2	17.9	28.1	19.2	28.1	6.5	27.9	11.5	10.8	32.5	2.5	7.3	24.0	4.2

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「公的機関などの窓口で手続きをするとき」の割合が高い傾向がみられるが、「男性 70～79 歳」「男性 80 歳以上」「女性 70～79 歳」「女性 80 歳以上」では「わからない」の割合が最も高いなどの傾向もみられる。

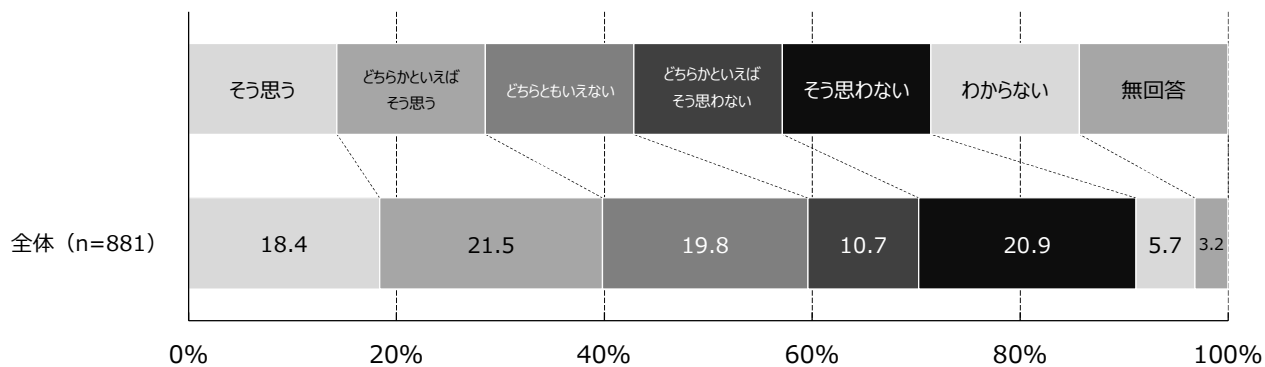
(単位：％)

区分	有効回答数(件)	公的機関などの窓口で 手続きをするとき	友人との交際のとき	近所の人とのつきあい の中で	学校生活の中で	住まいを探すとき	結婚するとき	社会保障制度の面で	街を歩いていたり、店に 入るとき	就職や仕事上で	マスコミの報道の中で	参政権が与えられてい ないこと	いわゆる差別的な発言 や行為で	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答
男性 18・19 歳	6	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7
20～29 歳	33	48.5	15.2	33.3	30.3	36.4	30.3	24.2	21.2	33.3	15.2	18.2	39.4	0.0	3.0	15.2	3.0
30～39 歳	46	45.7	10.9	21.7	28.3	32.6	28.3	34.8	17.4	26.1	21.7	23.9	39.1	6.5	13.0	13.0	2.2
40～49 歳	67	31.3	10.4	19.4	13.4	17.9	20.9	25.4	7.5	17.9	11.9	7.5	22.4	4.5	22.4	16.4	3.0
50～59 歳	75	29.3	6.7	18.7	14.7	24.0	12.0	24.0	4.0	30.7	14.7	13.3	22.7	2.7	18.7	21.3	1.3
60～69 歳	66	25.8	3.0	21.2	15.2	28.8	7.6	33.3	4.5	22.7	6.1	13.6	25.8	3.0	7.6	22.7	3.0
70～79 歳	58	27.6	5.2	17.2	15.5	25.9	10.3	27.6	6.9	27.6	6.9	17.2	19.0	3.4	12.1	36.2	0.0
80 歳以上	29	20.7	10.3	17.2	3.4	13.8	20.7	17.2	3.4	24.1	3.4	10.3	17.2	3.4	24.1	41.4	0.0
女性 18・19 歳	6	33.3	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	50.0	33.3	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	47	27.7	8.5	12.8	21.3	31.9	31.9	27.7	8.5	31.9	14.9	8.5	36.2	0.0	8.5	14.9	4.3
30～39 歳	63	36.5	7.9	25.4	17.5	30.2	20.6	27.0	11.1	30.2	12.7	12.7	42.9	4.8	11.1	17.5	3.2
40～49 歳	74	39.2	9.5	28.4	27.0	29.7	25.7	29.7	6.8	37.8	13.5	14.9	36.5	0.0	6.8	16.2	2.7
50～59 歳	82	36.6	3.7	13.4	19.5	25.6	12.2	28.0	4.9	23.2	12.2	11.0	28.0	4.9	6.1	28.0	1.2
60～69 歳	77	36.4	5.2	22.1	18.2	29.9	18.2	29.9	7.8	28.6	14.3	11.7	32.5	2.6	5.2	20.8	2.6
70～79 歳	82	19.5	2.4	22.0	8.5	26.8	14.6	25.6	2.4	22.0	3.7	4.9	26.8	2.4	6.1	35.4	4.9
80 歳以上	49	20.4	4.1	12.2	12.2	24.5	16.3	28.6	4.1	20.4	8.2	12.2	22.4	0.0	10.2	34.7	14.3

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

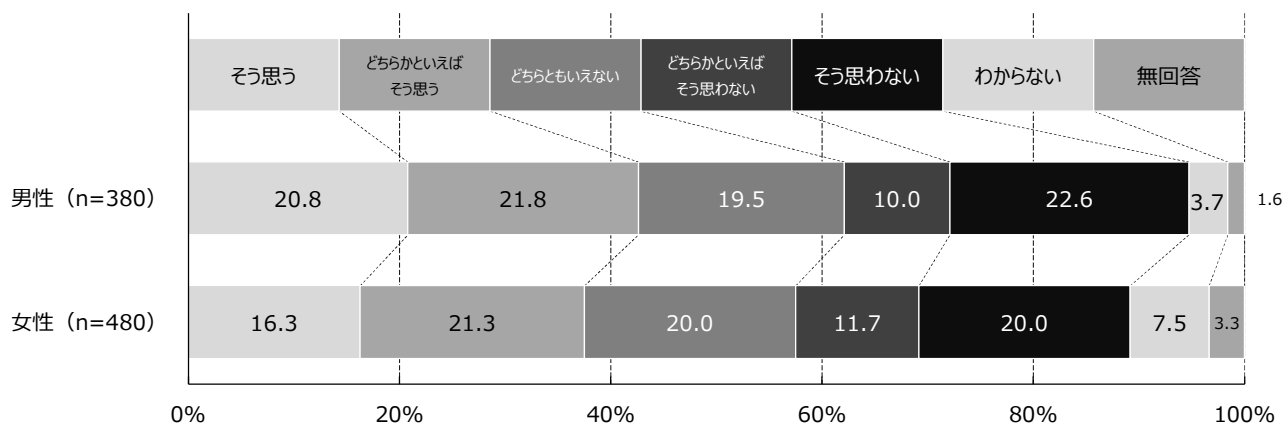
問 33 あなたは、「人権について、外国人よりも自国民の方が優先されるべきだ」と思いますか。
(○は1つ)

「どちらかといえばそう思う」が 21.5%と割合が最も高く、次いで「そう思わない」が 20.9%、
「どちらともいえない」が 19.8%となっている。



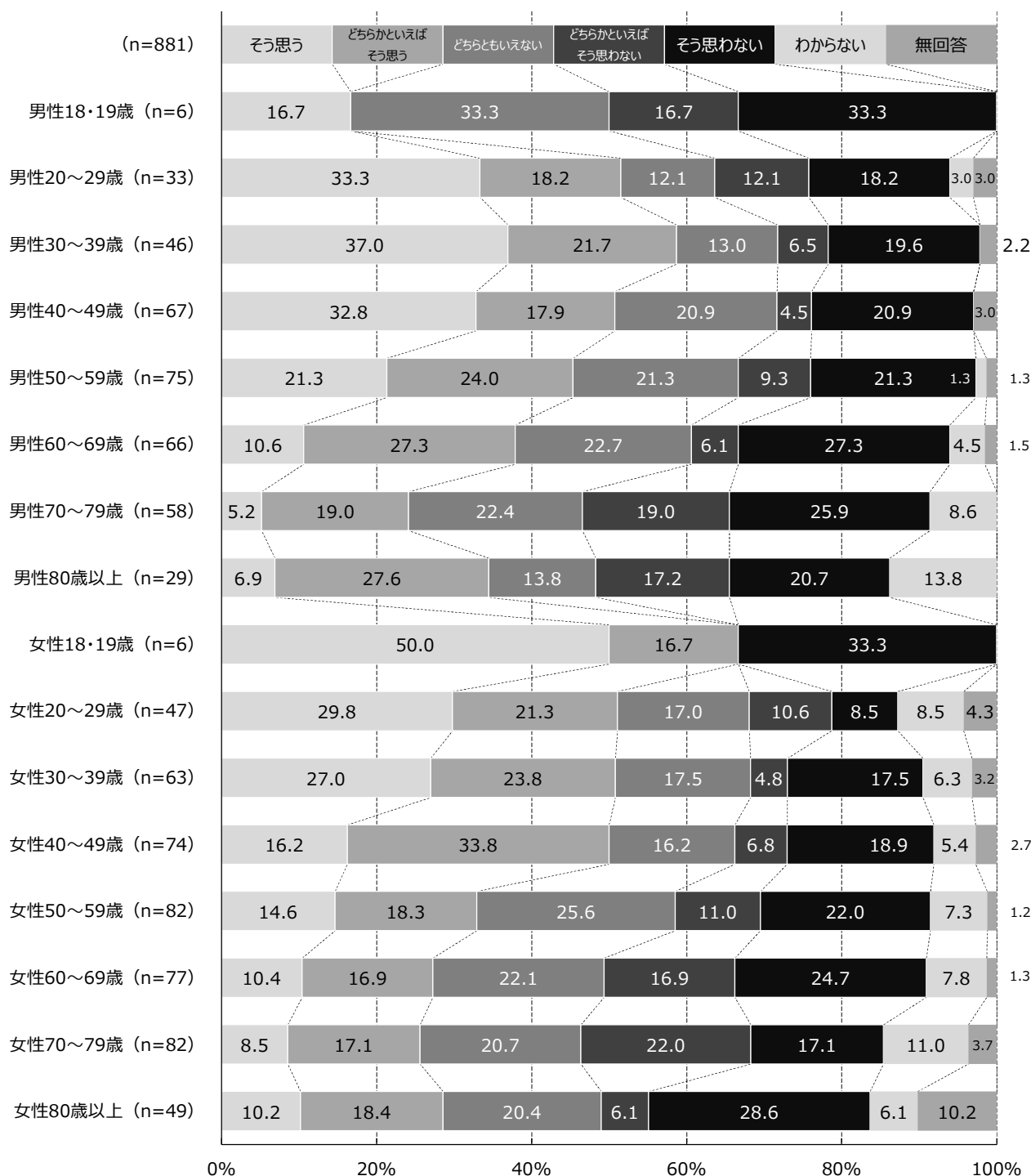
【性別】

性別でみると、男性では「そう思わない」が 22.6%と割合が最も高く、女性では「どちらかといえばそう思う」が 21.3%と割合が最も高い。



【性・年齢別】

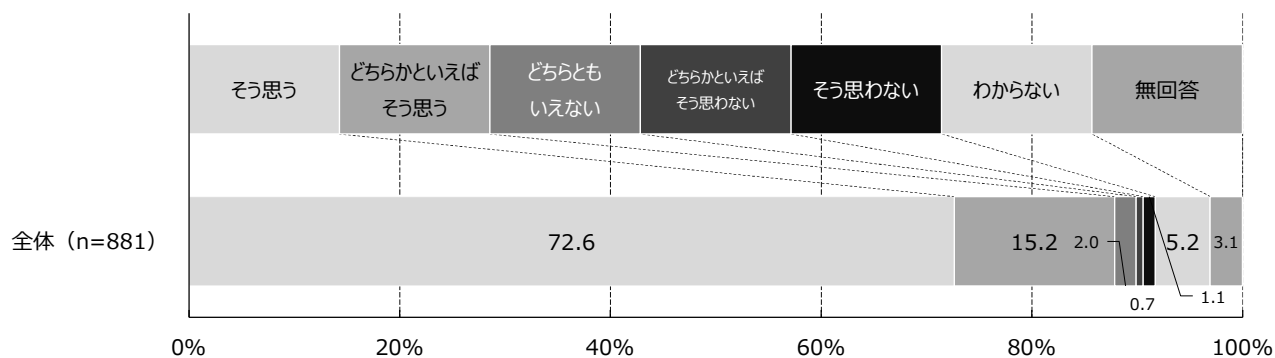
性・年齢別でみると、いずれの性別においても「20～29 歳」「30～39 歳」「40～49 歳」で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が高く、年齢の上昇とともに割合が減少する傾向がみられる。



1.3 拉致問題について

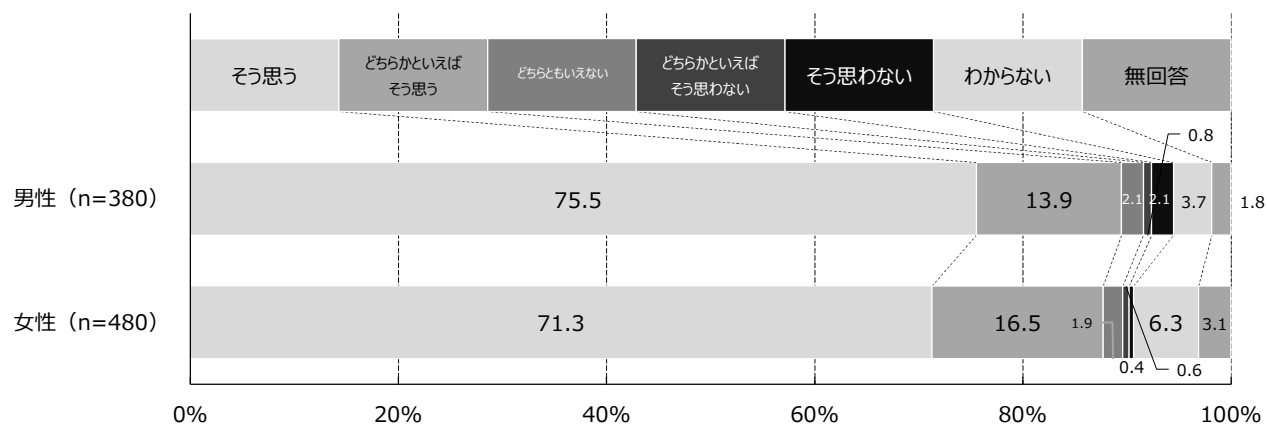
問 34 あなたは、「北朝鮮当局による日本人拉致は、我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる重大な問題である」と思いますか。（○は1つ）

「そう思う」が72.6%と割合が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が15.2%となっている。



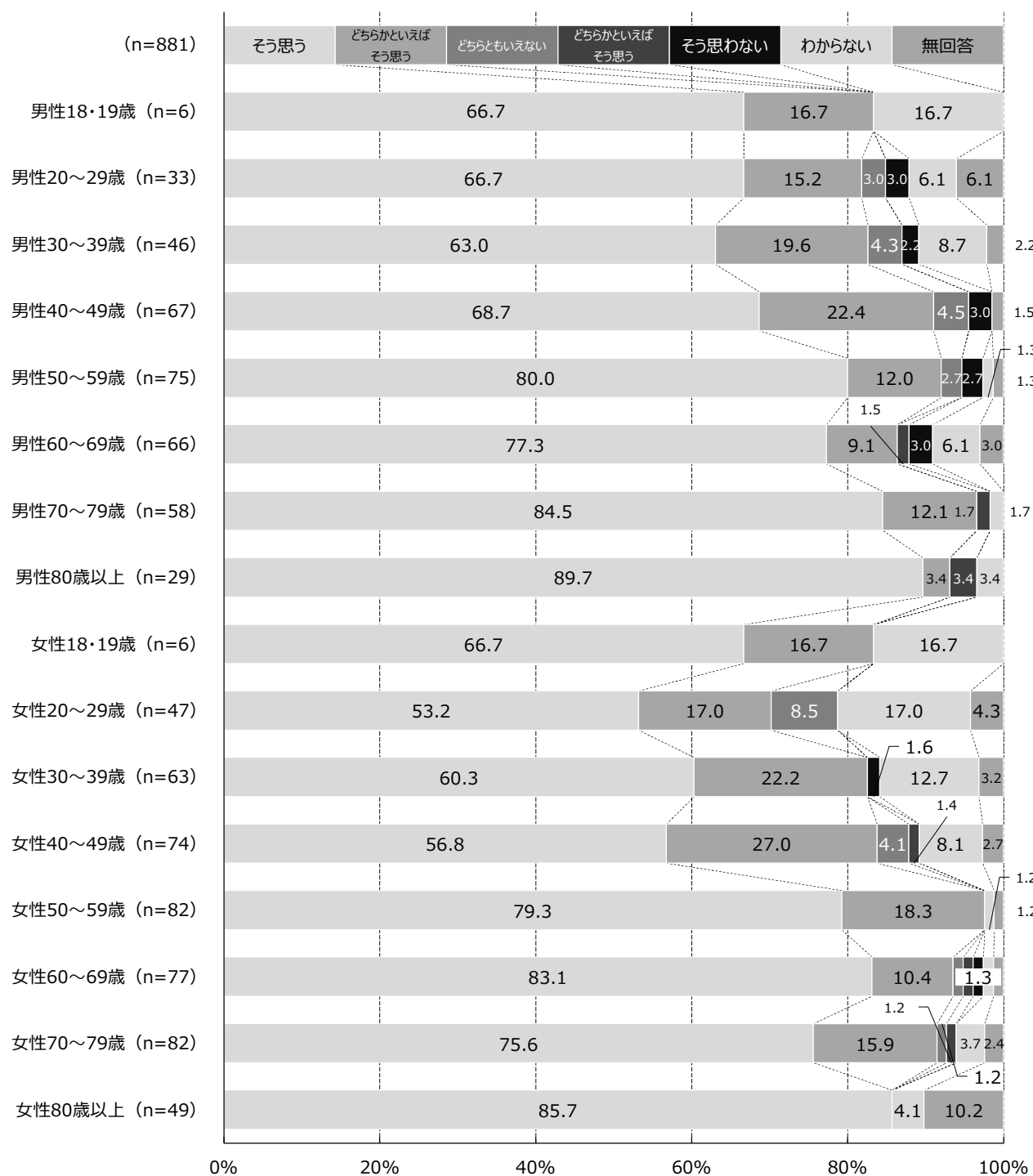
【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「そう思う」の割合が最も高い。



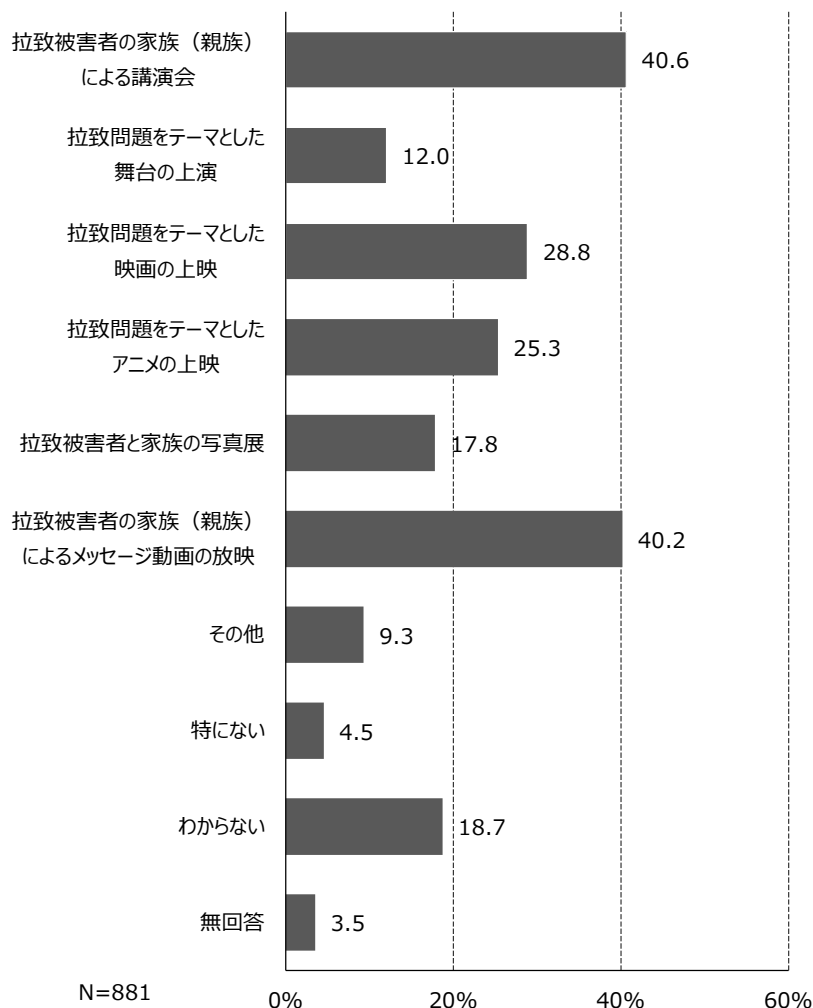
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、いずれの性別、年代においても「そう思う」の割合が最も高い。



問 35 あなたは、拉致問題について理解を深め、関心を持ち続けてもらうためには、どのような取組が効果があると思いますか。(○はいくつでも)

「拉致被害者の家族（親族）による講演会」が40.6%と割合が最も高く、次いで「拉致被害者の家族（親族）によるメッセージ動画の放映」が40.2%となっている。



【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「拉致被害者の家族（親族）による講演会」の割合が最も高い。

(単位：%)

区分	合計	拉致被害者の家族（親族）による講演会	拉致問題をテーマとした舞台の上演	拉致問題をテーマとした映画の上映	拉致問題をテーマとしたアニメの上映	拉致被害者と家族の写真展	拉致被害者の家族（親族）によるメッセージ動画の放映	その他	特にない	わからない	無回答
男性	380	38.7	12.4	28.4	22.6	17.1	37.9	11.1	6.1	18.7	2.1
女性	480	43.5	12.1	29.8	27.3	18.3	42.9	8.1	3.5	18.3	3.8

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「拉致被害者の家族（親族）による講演会」「拉致被害者の家族（親族）によるメッセージ動画の放映」の割合が高い傾向がみられるが、「男性 20～29 歳」「女性 20～29 歳」では「拉致問題をテーマとした映画の上映」、「女性 30～39 歳」では「拉致問題をテーマとしたアニメの上映」の割合が最も高い。

（単位：％）

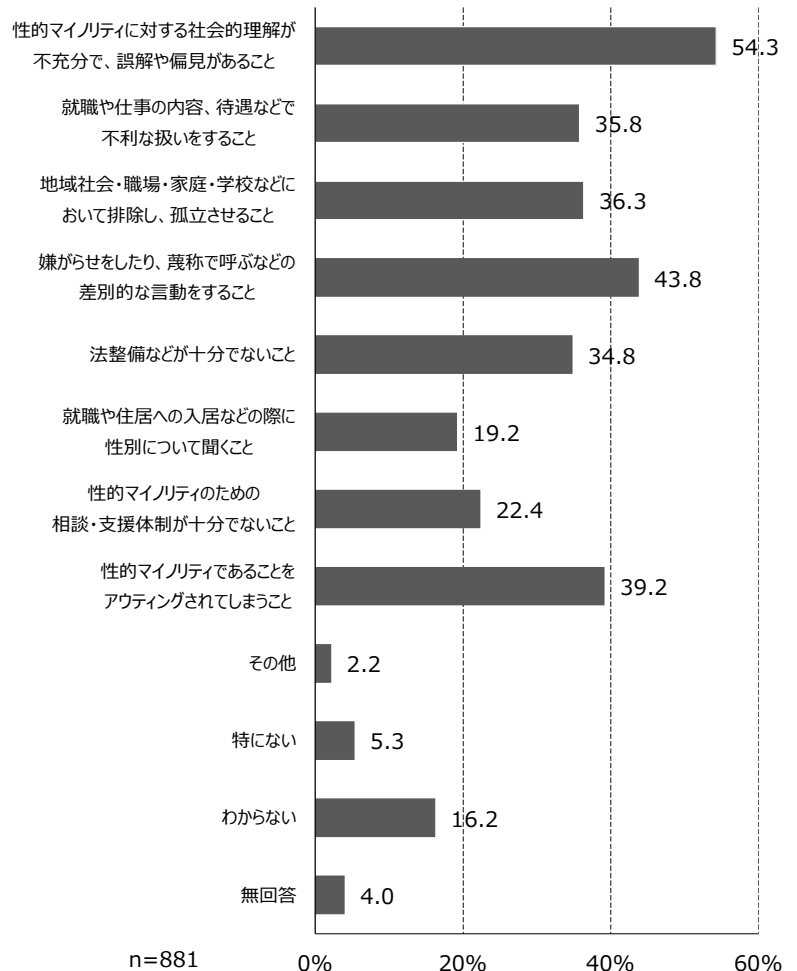
区分	有効回答数 (件)	拉致被害者の家族（親族）による講演会	拉致問題をテーマとした舞台の上演	拉致問題をテーマとした映画の上映	拉致問題をテーマとしたアニメの上映	拉致被害者と家族の写真展	拉致被害者の家族（親族）によるメッセージ動画の放映	その他	特にな	わからない	無回答
男性 18・19 歳	6	16.7	0.0	33.3	66.7	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0
20～29 歳	33	33.3	15.2	42.4	30.3	24.2	24.2	3.0	3.0	15.2	3.0
30～39 歳	46	43.5	10.9	30.4	23.9	21.7	32.6	8.7	6.5	21.7	2.2
40～49 歳	67	44.8	13.4	25.4	26.9	17.9	38.8	13.4	7.5	13.4	3.0
50～59 歳	75	29.3	13.3	26.7	28.0	10.7	40.0	12.0	5.3	29.3	1.3
60～69 歳	66	37.9	10.6	28.8	18.2	21.2	39.4	18.2	6.1	9.1	3.0
70～79 歳	58	43.1	12.1	25.9	15.5	15.5	50.0	6.9	6.9	15.5	1.7
80 歳以上	29	44.8	13.8	24.1	3.4	10.3	24.1	10.3	6.9	31.0	0.0
女性 18・19 歳	6	50.0	33.3	66.7	66.7	50.0	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0
20～29 歳	47	31.9	12.8	36.2	25.5	12.8	25.5	6.4	0.0	25.5	6.4
30～39 歳	63	30.2	9.5	38.1	39.7	15.9	27.0	9.5	3.2	20.6	3.2
40～49 歳	74	50.0	13.5	35.1	28.4	16.2	39.2	13.5	2.7	12.2	2.7
50～59 歳	82	45.1	9.8	30.5	28.0	20.7	51.2	8.5	6.1	13.4	1.2
60～69 歳	77	50.6	15.6	23.4	27.3	23.4	48.1	5.2	3.9	24.7	1.3
70～79 歳	82	40.2	6.1	15.9	15.9	13.4	46.3	4.9	3.7	22.0	3.7
80 歳以上	49	53.1	18.4	32.7	24.5	22.4	57.1	8.2	2.0	12.2	12.2

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

1.4 性的マイノリティの人権について

問 36 性的マイノリティの人権について、課題や問題だと思うのは次のうちどれですか。
(○はいくつでも)

「性的マイノリティに対する社会的理解が不十分で、誤解や偏見があること」が54.3%と割合が最も高く、次いで「嫌がらせをしたり、蔑称で呼ぶなどの差別的な言動をすること」が43.8%、「性的マイノリティであることをアウティングされてしまうこと」が39.2%となっている。



【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「性的マイノリティに対する社会的理解が不十分で、誤解や偏見があること」の割合が最も高い。

(単位：%)

区分	合計	性的マイノリティに対する社会的理解が不十分で、誤解や偏見があること	就職や仕事の内容、待遇などで不利な扱いをすること	地域社会・職場・家庭・学校などにおいて排除し、孤立させること	嫌がらせをしたり、蔑称で呼ぶなどの差別的な言動をすること	法整備などが十分でないこと	就職や住居への入居などの際に性別について聞くこと	性的マイノリティのための相談・支援体制が十分でないこと	性的マイノリティであることをアウティングされてしまうこと	その他	特になし	わからない	無回答
男性	380	52.9	33.9	31.1	41.8	30.5	16.6	19.2	35.3	2.9	8.4	16.8	2.1
女性	480	56.3	38.3	41.0	45.6	39.0	21.7	25.6	42.5	1.5	2.9	16.0	4.6

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「性的マイノリティに対する社会的理解が不十分で、誤解や偏見があること」の割合が高い傾向がみられるが、「男性 20～29 歳」「男性 30～39 歳」では「嫌がらせをしたり、蔑称で呼ぶなどの差別的な言動をすること」、「男性 80 歳以上」「女性 80 歳以上」では「わからない」の割合が高い。

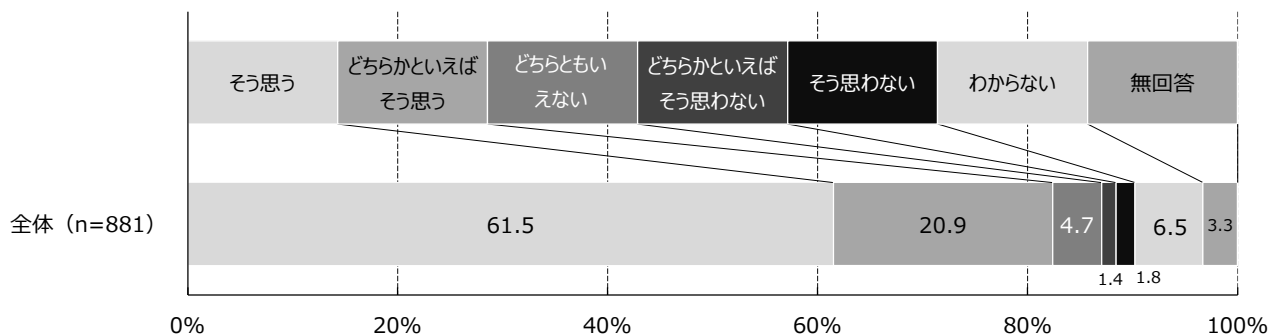
(単位：%)

区分	有効回答数(件)	性的マイノリティに対する社会的理解が不十分で、誤解や偏見があること	就職や仕事の内容、待遇などで不利な扱いをすること	地域社会・職場・家庭・学校などにおいて排除し、孤立させること	嫌がらせをしたり、蔑称で呼ぶなどの差別的な言動をすること	法整備などが十分でないこと	就職や住居への入居などの際に性別について聞くこと	性的マイノリティのための相談・支援体制が十分でないこと	性的マイノリティであることをアウティングされてしまうこと	その他	特になし	わからない	無回答
男性 18・19 歳	6	50.0	50.0	50.0	83.3	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0
20～29 歳	33	60.6	45.5	36.4	60.6	36.4	24.2	36.4	51.5	6.1	3.0	12.1	3.0
30～39 歳	46	47.8	32.6	34.8	54.3	28.3	21.7	23.9	45.7	4.3	6.5	23.9	2.2
40～49 歳	67	58.2	34.3	28.4	40.3	26.9	10.4	16.4	34.3	6.0	9.0	4.5	1.5
50～59 歳	75	52.0	33.3	33.3	42.7	30.7	16.0	16.0	41.3	0.0	8.0	10.7	2.7
60～69 歳	66	56.1	33.3	30.3	42.4	42.4	16.7	16.7	28.8	1.5	9.1	15.2	3.0
70～79 歳	58	50.0	32.8	24.1	29.3	29.3	20.7	19.0	27.6	3.4	8.6	25.9	0.0
80 歳以上	29	41.4	24.1	31.0	17.2	17.2	10.3	13.8	13.8	0.0	17.2	41.4	3.4
女性 18・19 歳	6	50.0	50.0	33.3	66.7	83.3	16.7	16.7	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0
20～29 歳	47	53.2	40.4	46.8	44.7	31.9	21.3	21.3	38.3	2.1	2.1	14.9	6.4
30～39 歳	63	65.1	38.1	49.2	50.8	54.0	33.3	23.8	57.1	1.6	1.6	4.8	3.2
40～49 歳	74	59.5	43.2	45.9	52.7	43.2	29.7	31.1	50.0	1.4	4.1	2.7	2.7
50～59 歳	82	64.6	36.6	39.0	46.3	35.4	14.6	28.0	43.9	2.4	3.7	14.6	1.2
60～69 歳	77	58.4	45.5	44.2	50.6	40.3	23.4	28.6	42.9	1.3	3.9	16.9	2.6
70～79 歳	82	48.8	34.1	32.9	37.8	32.9	13.4	24.4	34.1	0.0	2.4	25.6	4.9
80 歳以上	49	38.8	26.5	30.6	30.6	28.6	18.4	18.4	26.5	2.0	0.0	38.8	16.3

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

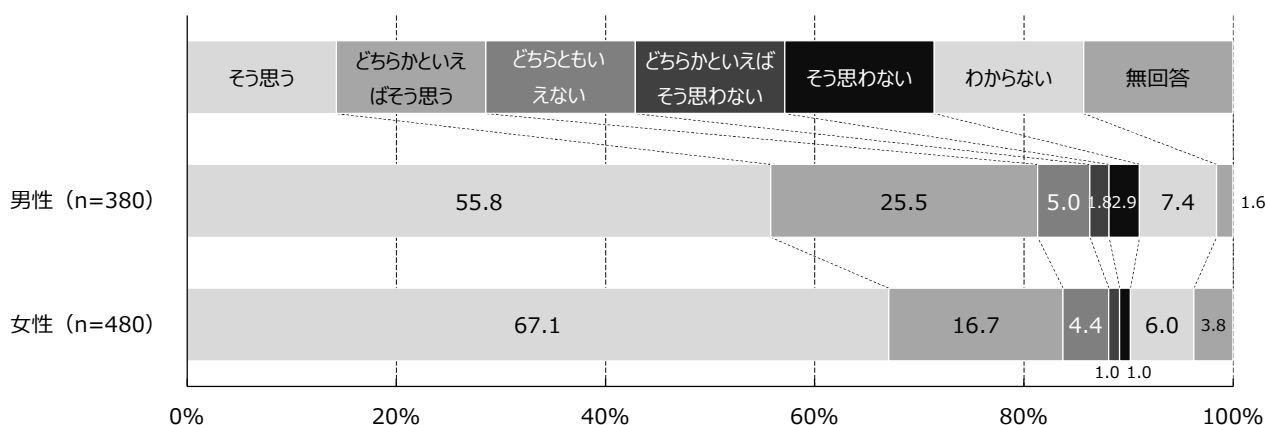
問 37 あなたは、「性別について、『男』『女』という区分には必ずしも当てはまらない人や、体と心の性が一致しない人などがある」と思いますか。(○は1つ)

「そう思う」が61.5%と割合が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が20.9%となっている。



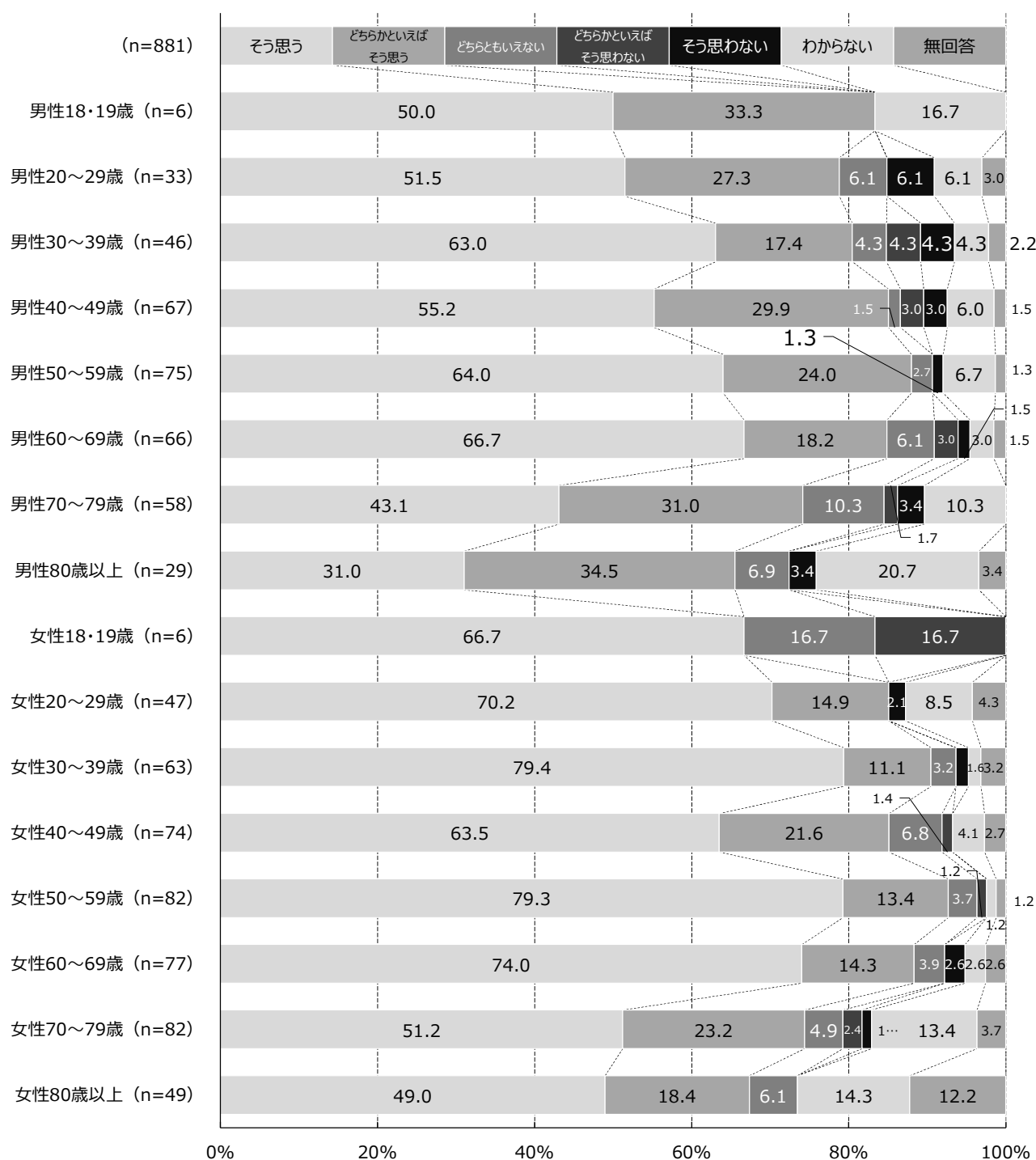
【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「そう思う」の割合が最も高く、女性は男性よりも11.3ポイント高い。



【性・年齢別】

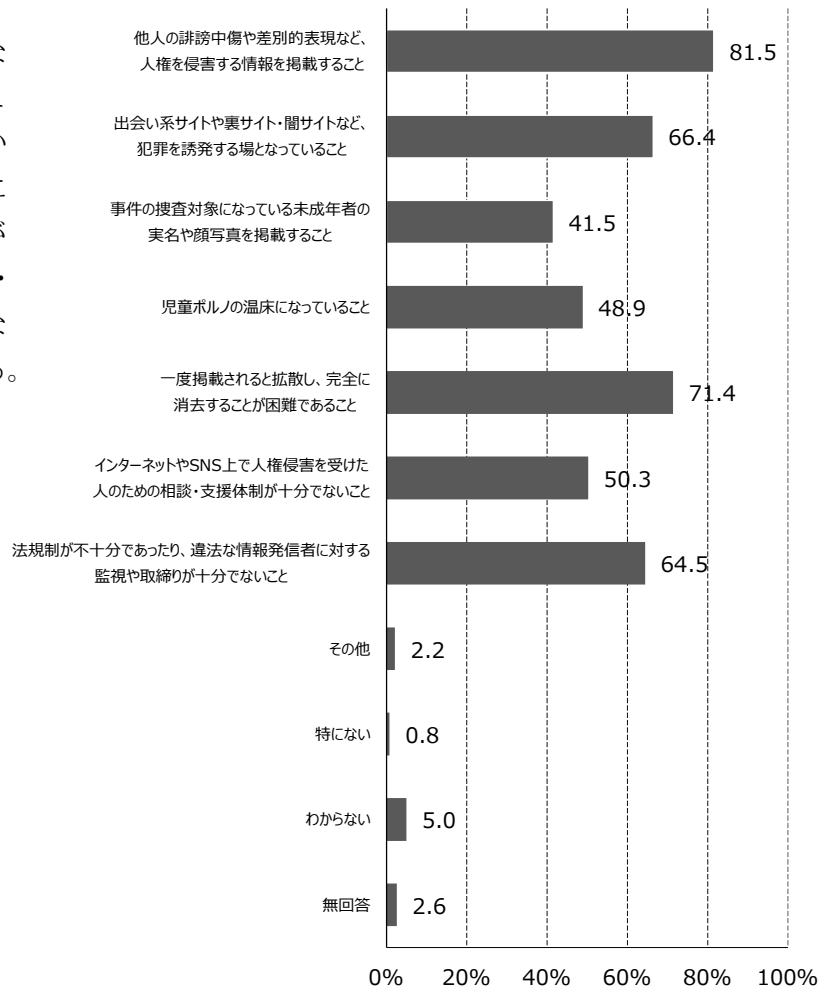
性・年齢別でみると、いずれの性別、年代においても「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が高い。



15 インターネットやSNSによる人権問題について

問 38 インターネットやSNSによる人権侵害について、課題や問題だと思うのは次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

「他人の誹謗中傷や差別的表現など、人権を侵害する情報を掲載すること」が81.5%と割合が最も高く、次いで「一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること」が71.4%、「出会い系サイトや裏サイト・闇サイトなど、犯罪を誘発する場となっていること」が66.4%となっている。



【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「他人の誹謗中傷や差別的表現など、人権を侵害する情報を掲載すること」の割合が最も高い。

(単位：%)

区分	合計	他人の誹謗中傷や差別的表現など、人権を侵害する情報を掲載すること	出会い系サイトや裏サイト・闇サイトなど、犯罪を誘発する場となっていること	事件の捜査対象になっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	児童ポルノの温床になっていること	一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること	インターネットやSNS上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制が十分でないこと	法規制が不十分であったり、違法な情報発信者に対する監視や取締りが十分でないこと	その他	特になし	わからない	無回答
男性	380	82.6	65.8	35.0	43.2	67.6	46.8	61.8	3.4	1.1	5.5	1.6
女性	480	81.7	67.9	47.1	53.5	74.8	53.5	67.3	1.3	0.4	4.4	2.7

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、いずれの性別、年代においても「他人の誹謗中傷や差別的表現など、人権を侵害する情報を掲載すること」の割合が最も高い。

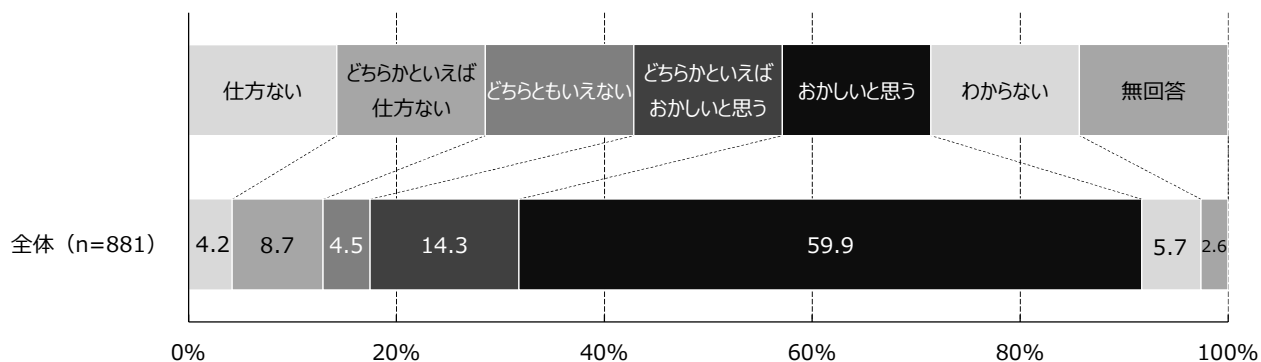
(単位：%)

区分	有効回答数(件)	他人の誹謗中傷や差別的表現など、人権を侵害する情報を掲載すること	出会い系サイトや裏サイト・闇サイトなど、犯罪を誘発する場となっていること	事件の捜査対象になっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	児童ポルノの温床になっていること	一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること	インターネットやSNS上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制が十分でないこと	法規制が不十分であったり、違法な情報発信者に対する監視や取締りが十分でないこと	その他	特になし	わからない	無回答
男性 18・19 歳	6	66.7	50.0	33.3	50.0	83.3	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0
20～29 歳	33	84.8	63.6	45.5	48.5	60.6	60.6	69.7	3.0	0.0	3.0	3.0
30～39 歳	46	84.8	56.5	54.3	50.0	78.3	54.3	71.7	2.2	0.0	2.2	2.2
40～49 歳	67	86.6	70.1	29.9	40.3	70.1	44.8	50.7	3.0	1.5	0.0	1.5
50～59 歳	75	89.3	69.3	30.7	46.7	77.3	52.0	72.0	2.7	0.0	1.3	2.7
60～69 歳	66	80.3	75.8	34.8	45.5	69.7	40.9	63.6	6.1	1.5	3.0	1.5
70～79 歳	58	75.9	60.3	27.6	31.0	55.2	44.8	58.6	1.7	3.4	10.3	0.0
80 歳以上	29	72.4	55.2	31.0	41.4	44.8	31.0	44.8	6.9	0.0	31.0	0.0
女性 18・19 歳	6	83.3	83.3	50.0	83.3	66.7	66.7	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	47	83.0	74.5	46.8	55.3	68.1	55.3	61.7	0.0	0.0	4.3	4.3
30～39 歳	63	90.5	71.4	52.4	60.3	81.0	47.6	68.3	0.0	0.0	1.6	1.6
40～49 歳	74	83.8	77.0	58.1	71.6	81.1	64.9	71.6	5.4	1.4	1.4	2.7
50～59 歳	82	84.1	65.9	41.5	43.9	75.6	53.7	74.4	1.2	0.0	2.4	0.0
60～69 歳	77	83.1	68.8	50.6	61.0	79.2	59.7	68.8	1.3	1.3	2.6	1.3
70～79 歳	82	76.8	58.5	41.5	42.7	74.4	45.1	61.0	0.0	0.0	9.8	3.7
80 歳以上	49	67.3	59.2	36.7	34.7	57.1	44.9	59.2	0.0	0.0	10.2	8.2

※網掛けはそれぞれの区分で最も割合が高い選択肢

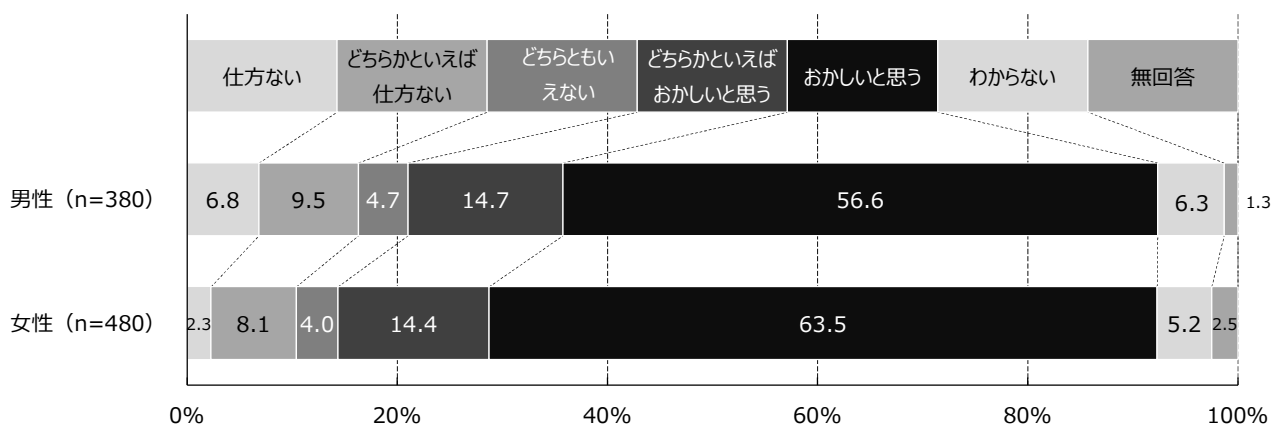
問 39 あなたは、匿名性の高いインターネット上で、差別的な書き込みが行われることについて、どう思いますか。(○は1つ)

「おかしいと思う」が59.9%と割合が最も高く、次いで「どちらかといえばおかしいと思う」が14.3%となっている。



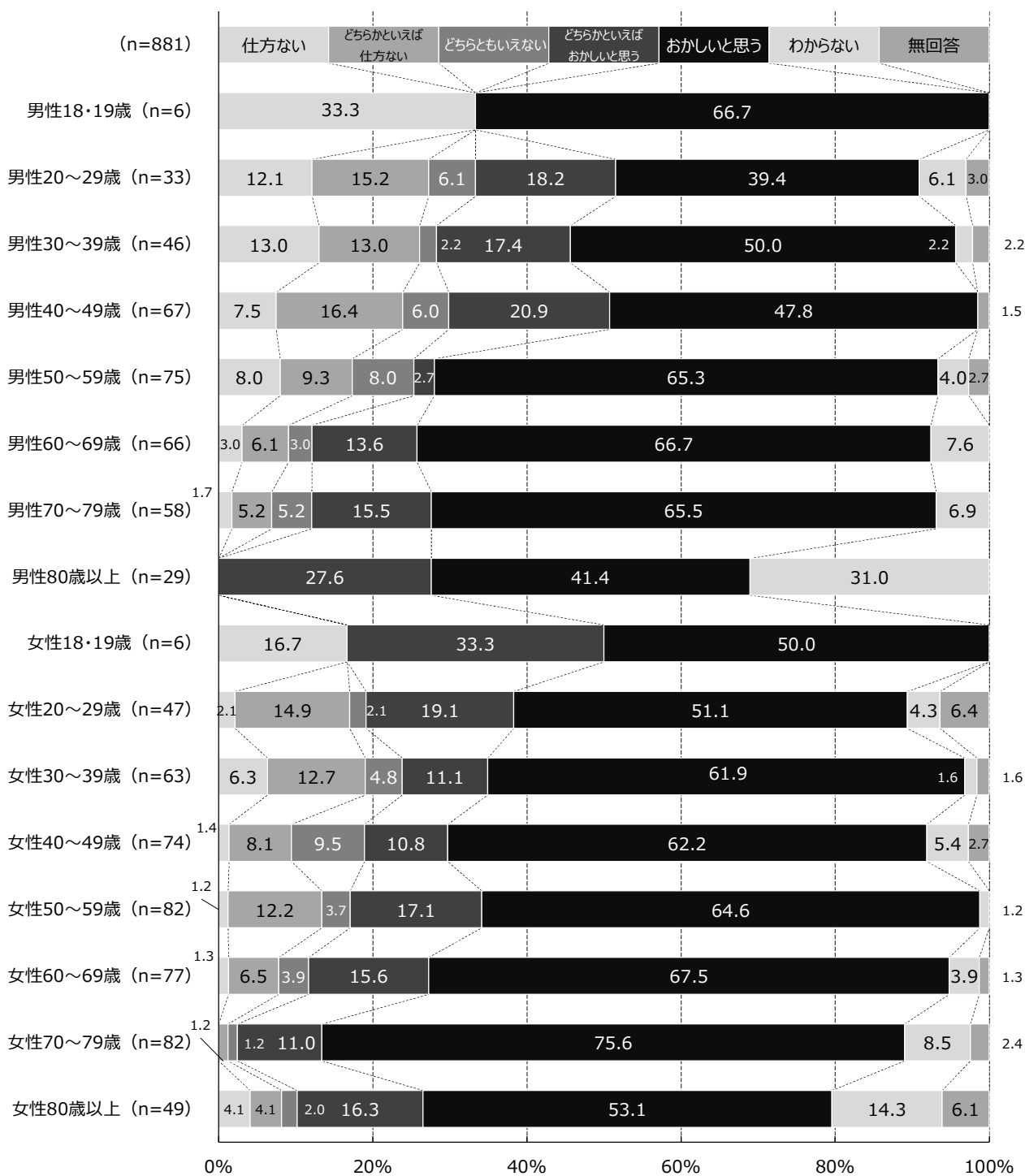
【性別】

性別でみると、いずれの性別においても「おかしいと思う」の割合が最も高く、女性は男性よりも6.9ポイント高い。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、いずれの性別、年代においても「おかしいと思う」の割合が最も高い。



Ⅲ 調査結果のまとめ

1 基本属性のクロス集計

今回の調査で回答のあった9属性【国籍・川崎市居住年数・居住区・性別・年齢・同居家族・最終学歴（在学中含む）・職業・年収】のうち、5属性【国籍・川崎市居住年数・性別・年齢・最終学歴（在学中含む）】についてクロス集計を記載する。なおここで記載する割合(%)は全て母数(n=881)に対する数値である。

【国籍×川崎市居住年数（n=881）】

(単位：%)

	計	1年未満	1～9年	10～19年	20年以上	無回答
計	100.0	3.5	17.7	18.3	59.9	0.6
日本国籍	97.4	3.1	16.9	17.7	59.6	0.1
外国籍	2.2	0.5	0.8	0.6	0.3	0.0
無回答	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5

「日本国籍」では、「20年以上」が59.6%と割合が最も高く、次いで「10～19年」17.7%となっている。「外国籍」では、「1～9年」が0.8%と割合が最も高く、次いで「10～19年」0.6%となっている。

【国籍×性別（n=881）】

(単位：%)

	計	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
計	100.0	43.1	54.5	0.2	0.8	1.4
日本国籍	97.4	42.1	53.3	0.2	0.8	0.9
外国籍	2.2	1.0	1.0	0.0	0.0	0.1
無回答	0.5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3

「日本国籍」では、「女性」が53.3%、「男性」が42.1%となっている。「外国籍」では、「男性」が1.0%、「女性」が1.0%となっている。

【国籍×年齢（n=881）】

(単位：%)

	計	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
計	100.0	1.5	9.2	12.5	16.6	17.8	16.7	16.1	8.9	0.8
日本国籍	97.4	1.5	8.7	11.8	16.0	17.6	16.6	16.1	8.7	0.3
外国籍	2.2	0.0	0.5	0.7	0.6	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1
無回答	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3

「日本国籍」では、「50～59歳」が17.6%と割合が最も高く、次いで「60～69歳」が16.6%となっている。外国籍では、「30～39歳」が0.7%と割合が最も高く、次いで「40～49歳」が0.6%となっている。

【国籍×最終学歴（n=881）】

（単位：％）

	計	中学校	高等学校	短期大学・ 高等専門学校	大学	大学院	その他	無回答
計	100.0	5.3	25.2	19.6	40.7	6.2	1.6	1.2
日本国籍	97.4	5.3	25.1	19.1	40.2	5.4	1.6	0.7
外国籍	2.2	0.0	0.1	0.5	0.6	0.8	0.0	0.2
無回答	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3

「日本国籍」では、「大学」が 40.2％と割合が最も高く、次いで「高等学校」25.1％、となっている。「外国籍」では、「大学院」が 0.8％と割合が最も高く、次いで「大学」が 0.6％となっている。

【川崎市居住年数×性別（n=881）】

（単位：％）

	計	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
計	100.0	43.1	54.5	0.2	0.8	1.4
1 年未満	3.5	1.1	2.4	0.0	0.0	0.0
1～9 年	17.7	7.7	9.4	0.0	0.1	0.5
10～19 年	18.3	8.3	9.6	0.2	0.0	0.1
20 年以上	59.9	26.0	32.9	0.0	0.7	0.3
無回答	0.6	0.0	0.1	0.0	0.0	0.5

居住年数でみると、「20 年以上・女性」が 32.9％と割合が最も高く、次いで「20 年以上・男性」が 26.0％となっている。

【川崎市居住年数×年齢（n=881）】

（単位：％）

	計	18・19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	無回答
計	100.0	1.5	9.2	12.5	16.6	17.8	16.7	16.1	8.9	0.8
1 年未満	3.5	0.1	1.8	0.8	0.2	0.3	0.0	0.1	0.1	0.0
1～9 年	17.7	0.3	3.1	6.8	3.4	1.5	0.8	1.1	0.3	0.3
10～19 年	18.3	1.0	0.7	2.5	5.9	4.2	2.0	1.2	0.7	0.0
20 年以上	59.9	0.0	3.6	2.4	7.0	11.8	13.8	13.6	7.6	0.0
無回答	0.6	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5

居住年数でみると、「20 年以上・60～69 歳」が 13.8％と割合が最も高く、次いで「20 年以上・70～79 歳」が 13.6％となっている。

【川崎市居住年数×最終学歴（n=881）】

（単位：％）

	計	中学校	高等学校	短期大学・ 高等専門学校	大学	大学院	その他	無回答
計	100.0	5.3	25.2	19.6	40.7	6.2	1.6	1.2
1年未満	3.5	0.1	0.2	0.6	1.8	0.6	0.1	0.1
1～9年	17.7	0.5	2.4	2.0	10.2	1.6	0.3	0.7
10～19年	18.3	0.3	3.3	3.0	9.5	1.8	0.3	0.0
20年以上	59.9	4.4	19.3	14.0	19.2	2.3	0.7	0.1
無回答	0.6	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.3

居住年数でみると、「20年以上・高等学校」が19.3％と割合が最も高く、次いで「20年以上・大学」が19.2％となっている。

【性別×年齢（n=881）】

（単位：％）

	計	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
計	100.0	1.5	9.2	12.5	16.6	17.8	16.7	16.1	8.9	0.8
男性	43.1	0.7	3.7	5.2	7.6	8.5	7.5	6.6	3.3	0.0
女性	54.5	0.7	5.3	7.2	8.4	9.3	8.7	9.3	5.6	0.0
その他	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない	0.8	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
無回答	1.4	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.2	0.0	0.8

性別でみると、「女性・50～59歳」「女性・70～79歳」が9.3％と割合が最も高く、次いで「女性・60～69歳」が8.7％、「男性・50～59歳」が8.5％となっている。

【性別×最終学歴（n=881）】

（単位：％）

	計	中学校	高等学校	短期大学・ 高等専門学校	大学	大学院	その他	無回答
計	100.0	5.3	25.2	19.6	40.7	6.2	1.6	1.2
男性	43.1	2.4	9.9	4.7	21.2	4.2	0.6	0.2
女性	54.5	2.8	15.1	14.5	18.7	2.0	0.9	0.3
その他	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
答えたくない	0.8	0.0	0.2	0.1	0.5	0.0	0.0	0.0
無回答	1.4	0.1	0.0	0.2	0.2	0.0	0.1	0.7

性別でみると、「男性・大学」が21.2％と割合が最も高く、次いで「女性・大学」が18.7％となっている。

【年齢×最終学歴（n=881）】

(単位：%)

	計	中学校	高等学校	短期大学・ 高等専門学校	大学	大学院	その他	無回答
計	100.0	5.3	25.2	19.6	40.7	6.2	1.6	1.2
18・19 歳	1.5	0.0	0.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	9.2	0.0	1.1	1.8	4.5	1.1	0.2	0.3
30～39 歳	12.5	0.3	1.6	1.7	7.6	1.2	0.0	0.0
40～49 歳	16.6	0.6	1.9	3.5	8.5	1.7	0.1	0.2
50～59 歳	17.8	0.2	3.9	5.3	6.6	1.1	0.7	0.0
60～69 歳	16.7	0.7	4.7	3.9	6.9	0.6	0.0	0.0
70～79 歳	16.1	1.8	6.9	2.7	4.0	0.5	0.2	0.0
80 歳以上	8.9	1.7	4.8	0.7	1.5	0.0	0.2	0.0
無回答	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7

年代でみると、「40～49 歳・大学」が 8.5%と割合が最も高く、次いで「30～39 歳・大学」が 7.6%となっている。

1 記述回答

記述回答を求めた設問の結果を紹介する。

問 1 あなたの国籍で「外国籍」を選択した 19 件のうち、記述回答のあった 17 件

・中国・ネパール・韓国・マレーシア・台湾・フィリピン・タイ・ブラジル など

問 7 あなたの最終学歴で「その他」を選択した 14 件のうち、記述回答のあった 12 件

・専門学校・各種学校・看護学校・職業訓練校 など

問 8 あなたの現在の職業で「その他」を選択した 20 件のうち、記述回答のあった 17 件

・会社員・役員・不動産関係・介護福祉士・警備員・生活保護・失業・派遣・高齢者ボランティア・育児中・該当なし など

問 11 あなたが関心のある人権課題で「その他」を選択した 18 件のうち、記述回答のあった 16 件

- ・一部の高齢者からのパワーハラスメント、カスタマーハラスメントに困っている、「人権の尊重」を盾に嫌がらせ行為が非常に多いのでどう対処したらいいのか
- ・日本人の人権（外国人市民に生活保護が支給されやすい）
- ・専業主婦／主婦に対する人権
- ・非常勤職員における人権
- ・ヘイトスピーチ
- ・特に㊸拉致された被害者について早く国が頑張って家族を安心させて欲しい
- ・教師の人権
- ・アカデミックハラスメントパワーハラスメントに関する人権課題
- ・日本では外国人ばかり優遇され、学生などが苦勞している状況に納得できません。
- ・外国人への特権が増え続け、日本人が冷遇されており人権が蔑ろにされている。
- ・犯罪加害者の家族の人権
- ・公務員の人権
- ・組織内の人権
- ・労働者の人権
- ・この国が人権について他国よりも遅れてるのが不安 など

問 16 あなた自身やご家族が人権侵害を受けたことがあるかで「その他」を選択した 13 件のうち、記述回答のあった 12 件

- ・「人権侵害」ではないが、5歳の時に両親を亡くし、寂しい思いをしたため㊸を選択しました。
- ・高齢の為、住宅が中々借りれない。
- ・1945年に北朝鮮・平壤で人権侵害を受けたことがあります。

- ・病気のために三ヶ月間休職したところ、退職を余儀なくされました。法的には問題があると思われる状況でしたが、契約書類も書き換えさせられてしまいました。訴えるだけの気力も残っておらず、最終的には受け入れざるを得ませんでした。
- ・義親からの嫁へのハラスメント
- ・自身が気付いていないだけで受けたことがあるのかもしれません。
- ・血液型、趣味に関して
- ・未婚者に対する人権侵害
- ・会社内でのパワーハラスメント
- ・アルツハイマーに関するもの
- ・わからない など

問 17 あなた自身やご家族が人権侵害された時の対応で「その他」を選択した 22 件のうち、記述回答のあった 20 件

- ・程度内容による
- ・感じていない
- ・場合、程度によっては⑥～⑧にも相談する
- ・子どもの場合、教育委員会など、あとは SNS
- ・自分で調べて対処する。
- ・SNS などを通じて助言を求める。
- ・市、県議員に相談する。
- ・その時の事案によってしかるべき場所へ相談します。
- ・縁を切る。
- ・職場で職を捨てても良ければ本社へ抗議。その他の場合は別の理由で職種転換などを希望し自己解決。
- ・AI に聞く
- ・ネットで調べる
- ・対処する方法を考えて適切な相談窓口相談する。
- ・気にしない
- ・有効な相談先を調査する。
- ・抗議したことで益々ということがある。諦める、関わらない。
- ・どんな手を使ってでも報復する など。

問 20 不当差別解消、人権尊重推進で市民の理解を深めるためにどのような取組が効果があるかで「その他」を選択した 40 件のうち、記述回答のあった 39 件

- ・回覧板
- ・マスメディアで取り上げる。
- ・公共交通機関に掲示する。
- ・屋外のどこか大画面で市民の共有常識（？）としてアピールする、「こんなことはやってませんか？」などわかりやすい例
- ・弁護士無料相談
- ・お互いに尊重し合う姿勢が重要だと思います。

- ・相談窓口が変わり対応処置が不明、昔ながらの対面相談形式が良いと思います。（昭和2年代以降）
- ・高校、大学での教育
- ・習い事の先生からの配布物（目を通すことが多いので）
- ・市民が困っていることを解消していく
- ・マスメディア
- ・法律、条例を作る
- ・被害を受けた個人が加害者側に立ち向かうには、とても労力を必要とする。相談を受けた役所や警察などの公的な権力が面倒くさらずに解決し、加害者側が差別した事を後悔し考えを改めるような方策をとらなければ、いつまでたっても差別はなくならないと思う。
- ・各家庭での人権問題への取り組み
- ・あらゆる教育機関をはじめ公共施設での教育・共同作業（相手を知るための）活動の広まり
- ・相談窓口の存在を教える。
- ・広報誌でも市民が興味のもてる内容に工夫することが一番だと思います。
- ・駅、商業施設
- ・法整備を整える
- ・スポーツ選手を通しての啓発、広報
- ・子供や若者に人気のあるキャラクターやイベントを活用する。
- ・不可能だと思う
- ・政治が変わること
- ・フェスやイベントで影響力の高い芸能タレントを使ってPRする。そして、それを一大ムーブメントにする。
- ・差別と区別を履き違えないことをあらゆる媒体を使って周知すべき。
- ・公的機関自身が、人権尊重を徹底すること。子供が通う保育園でも、人権がきちんと尊重されているとは言えない。
- ・テレビ、スーパーとかの商業施設への張り紙
- ・人権擁護を盾に政治的な思想の流布や公金に群がる組織や活動家を排除しない限り、人権尊重のまちづくりの推進に対する市民の理解は得られないと考える。
- ・掲示だけじゃたりない
- ・人権侵害に対する罰則の規定
- ・YouTuber にステマさせる
- ・差別と区別の線引きを条例等で明確にする
- ・被害者の声や被害事実などを届ける（わかってもらう）
- ・TV 番組を作る。YouTube 番組を作る。
- ・学校から保護者への周知
- ・人権をテーマにした有名人のトークショー、コンサート、お笑いライブ、鉄オタイイベントなど
- ・今のような郵送
- ・高校、大学等、教育機関
- ・実際に人権侵害、差別を受けいるいた人々の生声を聞いてみたい。 など

問 21 子どもの人権について課題や問題で「その他」を選択した 28 件のうち、記述回答のあった

27 件

- ・ SNS 等で誹謗中傷を匿名で行うこと
- ・ 保護者が「人権の尊重」を理由に教育の機会を放棄し、結果として子供が引きこもり状態に至るケースを聞いたことがある、その保護者は状況を深刻に受け止めず、責任の所在を病気だと主張している。「人権の尊重」をするということは慎重に検討すべき課題であると思う。
- ・ 甘やかし過ぎたり、保護者による偏見や教育現場への過度な要求が子どもへ影響している。
- ・ 家庭では、子どもが学校生活にどのように適応しているかを把握することが難しいため、学校におかれましては、生徒一人ひとりが学校生活に十分になじめているかどうかを、きめ細やかに確認してほしい。不登校の状態が生徒の成長への妨げになる可能性があるため。
- ・ 人権をたてに理不尽な要求を覚えてしまい悪用すること。
- ・ 現代社会において体罰は原則として行うべきではないが、経験している身としては最小限の範囲であれば理解はあります。
- ・ ③昔はよくありました体罰（悪いことをした内容）にもよりますが、親をすぐ訴える事を考えます。
- ・ 子どもが家族の介護に重い役割を担っている。
- ・ ヤングケアラー
- ・ 全て該当すると思います。
- ・ 住んでいる学区や通う学校により、進路や就職の目に見えぬ圧力が存在すること。
- ・ 人を思いやる気持ちを各家庭、各組織で育むこと。
- ・ 子どもの話を常に聞いてあげる。
- ・ 子どもは親や先生、周りの人達を見て育つ、我々はそのお手本として生活するべきだと思います。
- ・ 教育機関で一律の価値観で長い期間教育が行われること。
- ・ 親や教師等の大人がいじめを認めず、放置すること。
- ・ 貧困により十分な教育や食事が受けられていない子どもがいること。
- ・ 外国人へのヘイトなど
- ・ 年少扶養控除の廃止、親の所得による支援の有無
- ・ 身体や心等にハンディキャップがある場合
- ・ 子の連れ去り
- ・ ネットの広告
- ・ ヤングケアラー
- ・ 気づかぬうちに人権侵害をしてしまう可能性があること、どこまでが人権侵害なのか明確ではないこと、人権侵害が家庭内など閉ざされた環境で起きていることで他の人の目には触れない可能性があること。
- ・ 古典的な道徳意識の薄れ
- ・ 加害者が出席停止や転校にならないこと
- ・ いじめという言葉の存在。傷害罪で罰するべき など

問 23 男女平等に関わる人権について課題や問題で「その他」を選択した 42 件のうち、記述回答

のあった 42 件

- ・ 医大入試の合否で女性を差別していた事実は本当にショックでした。
- ・ 人格否定を伴うパワーハラスメント

- ・離婚後における養育費の不履行について、支払い義務者（元パートナー）が履行しない場合であっても、その者の財産の差し押さえや強制徴収が行えないこと。
- ・専業主婦や介護などにより就労が困難な方たちに対して優しさ、配慮が足らないと感じること。
- ・女性の社会進出については、全ての人が望んでいるとは限らないと思います、希望する人、そうでない人の選択の自由が尊重されることが正しい意味での「男女平等に関わる人権」だと思います。
- ・古来より社会において、男女それぞれの固有の役割を果たしていれば、それも一つの平等ではないだろうか。
- ・男女平等が重視される世の中ではあるが、男女固有の役割は必要だと思います。
- ・女性の正社員率の低さ、昇進の格差など
- ・一部の年配者の理解が不十分であるのが現状
- ・夫婦別姓は必要ないと思います。
- ・全て該当すると思います。
- ・近年では、男性が社会的に弱い立場に置かれているように感じる場面も見受けられます、女性と比べて男性の方がより多くの努力を求められることもあるように思えます。
- ・男女平等を意識するあまり、力の差で女性が男性にかなわないことも女性に強要すること。
- ・駅員、警察の対応（性犯罪に対して）
- ・夫婦別姓の廃止
- ・女性が出産後も仕事を続けることの難しさや、保育園の受け入れ体制が不十分なため退職せざるおえない等。
- ・そもそも平等の定義がおかしいと思います。
- ・「男尊女卑」という社会的慣習
- ・女性のみが被害者扱いにされること、冷静な判断ができない世論
- ・区別と差別を正しく使い分けられていない社会
- ・むしろ男性が逆差別されている
- ・女性専用や女性無料という女性が優遇される場面もある現実
- ・過剰に女性を優遇しすぎている
- ・男女平等という言葉が先行し、「誰しものが得意な事で助け合う」という意識が置き去りになっている気がする。性固有で得意・不得意は存在する（肉体・精神構造的な平均値として。もちろん例外もあり）
- ・男性の育休取得
- ・女性に仕事を強制させるような思想。男女比を重視して、一部の無能な女性を昇格昇進させることで現場は混乱が起きている。女性の権利をかざして、男性の冤罪が一部発生していること。
- ・子育て、家事などの役割分担が女性の方が多く、男性の育休取得率が低いこと。
- ・男女平等と表現すると感情論になりがちで議論が進まないの、人は平等と表現するだけで良いと思う。性別に関わらず、人が自分の能力を発揮でき、嫌なことは嫌だと主張して改善できる環境にない事が課題。
- ・生物学的な男女の差異を無視した男女平等の議論
- ・男性であることの足枷が多い
- ・男性差別を差別と言わない風潮
- ・体液をかけるなどの犯罪が性犯罪扱いではない、性犯罪の求刑が短すぎる
- ・過度な多様性の採用

- ・女性の社会進出を促される割に、男性の家事育児介護参加を促されていないこと
- ・そもそも男と女では作りやルールが違う。男と同じフローチャートをたどらせて社会に出すべきではない。もっと優遇、やゆとりを持たせるべきだ
- ・男女平等と書いておきながら、男性に関する項目が少ない
- ・離婚時の母親の親権優位性
- ・専業主婦は仕事じゃないという考え。家事育児は手伝うではなく2人でやるもの
- ・問いの時点で『女性の』と分ける考え方
- ・進学や昇進において、過剰な女性優遇により男性側に不利益を生じること。
- ・私が勤める会社では男女格差は感じない為、課題、問題が理解出来てない。
- ・男性の家庭進出が促進されていないため、女性の社会進出が阻まれている点 など

問 25 高齢者の人権について課題や問題で「その他」を選択した 16 件のうち、記述回答のあった 16 件

- ・働きたい意欲があれば、就労を継続できる社会の実現
- ・全て該当すると思います。
- ・終末期を迎える方が点滴などをせず、自宅で過ごせるように在宅医師を増員してほしいです。
- ・一人で生活する必要がある高齢者が全うに生活するための支援が足りていないこと。
- ・高齢者に対する物理的、金銭的な支援
- ・高齢家族に対する他家族（息子、娘等）の無関心さ
- ・市や県によって支援体制が異なるし、融通が利かない、手続きが大変で隣の市でも呼び寄せにくい
- ・孤独死
- ・社会的ケアが不十分
- ・川崎市の高齢者は自分勝手に間違えた解釈が多い
- ・高齢者と一括りにしない事が大切だと思う。高齢でもやりがいの為に働きたいのか、生活の為に働かざるを得ないのか、どこに住みたいかは違うはず。それを高齢者が学んで選び取れる体制が必要と思う。
- ・地域で支え合うような雰囲気が希薄になっていること。
- ・老人を甘やかしすぎだ
- ・高齢者による運転
- ・定年後の給与が減額される事
- ・宗教的煽動や政治的煽動を受けること など

問 27 障害者の人権について課題や問題で「その他」を選択した 19 件のうち、記述回答のあった 16 件

- ・車椅子の通れない幅員の歩道等の整備が不十分である。
- ・障害者を町でよく見かけられる社会になると良いと思う。
- ・接する機会がないため、どう対応したら良いか分からない。
- ・全て該当すると思います。
- ・①～⑰全てだと思います、無くなることを願っています。
- ・幼児期から障害に対する教育が不足していること
- ・等級認定の壁や周囲の人の障害者に関する法の知見の浅さ

- ・障害の程度や個々の状況には差異があるため、一律に手厚くするのは反対です
- ・障害者を被害者扱いした視点でものを考えること、障害者と健常者が共存していくためにお互いに”思う心”を育む必要があると思います。
- ・一部の障害者の主張が障害者全体の意思であるかのように周知しようとする事。
- ・障害児の進学先の選択が、本人の特性や能力よりも保護者の意向に左右されてしまうこと。
- ・障害者の介助をする人に対するサポートが弱いこと。
- ・障害者が被害をした際の処置が不十分
- ・補助犬の受け入れ拒否。他人から補助犬に攻撃される。
- ・支援学校での教育は社会にでるためのスキルは手厚く教えていただけているが、本来の学問としての教育が少し手薄になっていること。
- ・幼少期から一般の社会と分断されうること。
- ・精神障害者基礎年金の隠し規定が変わり、人により貰えたり貰えなかったりすること。
- ・誰しも足りない所があるので、双方がお互いに補い合うという視点で見れないこと など

問 31 同和地区出身の人と結婚しようとしたとき、親や親せきなどから強い反対を受けたときの対応で「その他」を選択した 18 件のうち、記述回答のあった 17 件

- ・同和問題よりも外国籍住民の通名が気になります
- ・今もあるのでしょうか、調べてわかるのでしょうか？
- ・何故反対なのか意見を聞いて考える。
- ・同和地区出身者の方を婚約者に選ばない
- ・親や親せきを説得し、それでも理解が得られない場合でも、自分の意志を尊重して結婚する。
- ・反対理由を良く精査し、話し合う。
- ・きちんとした会社に勤めているなら
- ・話し合いを重ね、双方が納得できるよう試みる。
- ・自身がこれから結婚する年齢でないのでは分からない。
- ・同和地区がどこかもわからない。おそらく親も知らない。
- ・本人を見てもらう。
- ・私は既婚者です。
- ・自ら結婚したいと思わない。
- ・同和地区とは何か？このような設問自体が差別を助長していると考える。
- ・相手次第
- ・同和地区等よくわからないし、そのような事にこだわる人とは親であっても関わりたくない。
- ・この選択肢の中にない など

問 32 外国人の人権について課題や問題で「その他」を選択した 25 件のうち、記述回答のあった 23 件

- ・外国人への必要以上の待遇を・・・と、リードさせたいこのアンケートが不快
- ・マナー、ルール
- ・納税義務がないのに権利だけを主張する不平等さ、治外法権、日本のルールを無視する。
- ・優遇され過ぎているのも問題かと思います。
- ・全ての外国人に当てはまる問題ではなく、個人によると思います。

- ・多摩区役所において手続きを行った際、担当職員の対応が少し冷たい態度を取られたと感じる場面があり、不快に感じました。
- ・日本に入国する際に日本国憲法に違反しないことを誓約書にサインさせる。
- ・人権を必要以上に要求し、義務を守らないことに疑問がある。
- ・身近で見聞したことがないので分かりません。
- ・日本でのマナーやしきたりを守らない。
- ・外国人は優遇されすぎ。税金払っていない割合が多い。警察に捕まりにくい。報道されにくいなど
- ・過剰に保護しようとし過ぎている。日本を食い物とするようなものまで保護すべきでは無い。
- ・来日した理由にもよります。
- ・学校での学習の保障
- ・難民認定が少ない
- ・言葉、慣習の壁
- ・生活保護や不法移民を国外退去させるべき
- ・日本語教育、SNS など
- ・外国人が事故などを起こした際の刑が軽すぎる。
- ・法律を整備する 特例は作らない。
- ・SNS 上の発言
- ・アメリカ在住のアメリカ人夫は日本人のケース。夫死亡時に手続が煩雑過ぎの為、遺族年金受給を諦めた。夫の年収は高く、加入期間も充分あったのに関わらず、受け取れないのは気の毒。
- ・役所の公務員のこちらが外国人であるとわかった瞬間から態度が偉そうになることを小さい頃から受け続けている など

問 35 拉致問題で理解を深め、関心を持ち続けてもらうにはどのような取組が効果があるかで

「その他」を選択した 82 件のうち、記述回答のあった 23 件

- ・日本も戦時中に同様の行為が行われた事実を認め、拉致問題と併せてその事実を公開してもいいと思います
- ・国のトップがリーダーシップを示す必要がある。
- ・報道機関（ニュース）で積極的に取り上げる。
- ・政府があまりその事にふれていない。
- ・北朝鮮の国際的孤立を促す活動
- ・メディア
- ・メディアによる顕在化
- ・教科書に載せる
- ・簡単なまとめ動画にして SNS に流す
- ・政府の力が不足している、積極的外交努力が重要だと思う
- ・風化させてはいけない問題だと思いますし、テレビやネット上で繰り返し事実を伝えていくべきだと思います。
- ・定期的な報道
- ・政府による外交的取組みの強化（例：対北朝鮮制裁の強化）
- ・テーマにしてしまうと関心のある方しか鑑賞しないと思うので、アニメで登場するくらいの扱いが良いと思います。

- ・メディア等で定期的に取り上げる。
- ・対話・対談する。
- ・過去の歴史としての冷静な事実確認、把握が必要
- ・状況を伝える内容の放映
- ・解決できない
- ・主要駅等でのポスターや記事の掲示
- ・TV、ラジオ等で特集を組んでもらう
- ・国の問題
- ・SNS 等の運用（ショート動画投稿）
- ・国民の皆さんに拉致問題への関心をより一層高めていただけるよう、様々な手段、方法を通じての周知活動をよろしく願いいたします。
- ・政府による、よし一層強い姿勢での救済措置が必要
- ・プーチン大統領が金正恩に拉致解放させるのが良いと言われている。
- ・取組みは絶対必要です、国は早く頑張ってください。
- ・拉致が何故起こったのか追求することが必要
- ・マスメディアを通じた情報発信が大事なのではないのでしょうか。
- ・国として積極的に対応する姿勢を国民に示す必要があると思います。
- ・長年解決しないのか疑問である、政府は何をしているのか
- ・マスメディア全体で取り上げるべき
- ・大人だけでなく、小学校低学年からの周知が必要だと思います。
- ・小学校～大学まで授業の一環として講演会を行うこと
- ・SNS 等のインターネット媒体の活用
- ・学校教育の一環として教える（再現ドラマ、映像で解りやすく）
- ・拉致問題に関する報道
- ・定期的にニュースで取り上げる。
- ・北朝鮮への経済的制裁
- ・拉致被害者の家族の方に負担をかけない方法を
- ・学校の授業や会社での課外講演の取組み
- ・対策を怠ってきた、政府は歴史の検証を説明、解明していく。
- ・Youtube や instagram などの動画配信サービスや SNS を活用する。
- ・Netflix などでドラマ化、ドキュメンタリーを配信。
- ・テレビや SNS 等で活動を多くを発信すること。
- ・国交回復、法整備
- ・現在の国際状態では難しいと思います。
- ・帰国された拉致被害者によるメッセージ動画の放映
- ・定期的に TV で特番放送して、現状なり経過なりを共有する。
- ・政府の活動が少ないので増やす。
- ・SNS での広告
- ・マスコミ、特に TV、新聞での継続的な報道
- ・拉致問題の政治利用を許さない。
- ・当事者の声が届かないとなかなか関心が続かない。
- ・北朝鮮の日本に対する非道を周知するべき。その上で拉致もその一つだと伝えるべき。

- ・テレビのニュースで定期的に取り上げる。上記の取組は、興味がある人にしか届かない。興味が無い人に届けるには、広く、頻度高い情報発信ではないか。
- ・SNS での発信
- ・拉致問題が解決しない間、家族関連の補助金を減額する等、負担が見える形で発生させることで皆自分事に捉え、必死になると思う。
- ・拉致についての正確な報道
- ・客観的な記述を教科書の必修課題とする。
- ・政府による情報発信
- ・拉致問題への理解と同情は消えてはならないが、国がやるべきことで川崎市がやる事ではないし、効果があるとは思えない。この設問の回答を元にして何か公共事業を起案しようなどと思ってもらっては困る。
- ・政治家の外交による発信
- ・テレビ番組としての放送
- ・公共放送や SNS での定期的な発信
- ・総理大臣が積極的に定期的に北朝鮮へアプローチをかけ、それを国民へ報告する。
- ・学校での教育、身近な生活の中での周知
- ・YouTuber にステマしてもらう
- ・そもそも長く続いている時点で理解などできない
- ・国の強い姿勢が常にある事。
- ・国としての毅然とした対応
- ・教育
- ・進展が無いので忘れがち
- ・国主導の取り組みや情報発信
- ・政府、マスコミの継続的な取り組み
- ・被害者家族に頼らない政府自治体の活動
- ・主要駅での貼り紙掲示
- ・政府の取り組みを定期的に報告
- ・人気のあるイベント（将棋や鉄オタなど）と組み合わせる。
- ・映画館までは…テレビで上映がいいと思います。
- ・戦争体験者の話と同様に、義務教育過程で聞く機会をもつべき。
- ・マスコミはもっと取り上げるべき など

問 36 性的マイノリティの人権で課題や問題で「その他」を選択した 19 件のうち、記述回答のあった 18 件

- ・同性にキスをされた経験がありますが、正直された側としては不快でしかありません。
- ・特に人権が侵害されているとは思っていない
- ・マイノリティを優先してマジョリティが暮らしづらくなる。
- ・理解できない
- ・必要以上に「性的マイノリティ」であることを社会に共有させようとする風潮
- ・性的マイノリティを普通のこととして受け入れる社会であってほしいです。
- ・トランスジェンダー（男性）が女性用トイレや風呂に入れろという活動をしていて不安
- ・本当の意味で理解しているのでなく、理解する”ふり”をしている人が多く感じます。

- ・性質の異なるマイノリティをまとめて議論すること（L.G.B.Tの括りなど）
- ・身近で見聞したことがないので分からない
- ・本人たちが被害者にならないこと、被害者にしないこと
- ・むしろ保護し過ぎ
- ・過剰に保護されることを危惧している。
- ・性的マイノリティを自称して犯罪をしようとする人がいること
- ・日本における性的マイノリティの人権は元から高い水準だと思う。例えば、スポーツに波及させ、女性の活躍の機会を奪うようなことはあってはならない。世界で発生した行き過ぎた取り組みがないことを願う。
- ・性別マジョリティ（特に女性）不利益を被っている事例が多数見受けられる。（女性用トイレが廃止されたなど）
- ・トイレや公衆浴場での取り扱いが明確ではないこと
- ・（特にアメリカで？）性的マイノリティでないにも関わらず性的マイノリティだと誤認して手術を受けてしまうこと。また、幼少期から性的マイノリティとしての可能性を過剰に与えられることで、（旧来の社会であれば） など

問 38 インターネットや SNS による人権侵害の課題や問題で「その他」を選択した 19 件のうち、記述回答のあった 19 件

- ・匿名が許されること
- ・SNS で収入が得られるシステムをなくす。
- ・規制の強化
- ・政府による SNS への規制を目的としているようなこのアンケートに問題があると確認しました。
- ・未成年者が簡単にネットを使用出来る環境を作らないようにする。
- ・親より子どもの方が SNS に触れる時間が長いこと
- ・匿名投稿で何でもありな発言や、事象に後手対応にしかない現状
- ・発信者が匿名であること
- ・全て該当すると思います。
- ・何も考えずに SNS に投稿する人が絶えないこと
- ・善悪の判断ができない人々の書き込み
- ・この種の人権侵害加害者に対する懲罰が不十分であること（軽い）
- ・本人の自覚なしにアクセスしてしまうことへの危険性を教育してほしい。
- ・悪意がそのまま発信される、印象操作が簡単にできてしまう
- ・ネットにおける人権侵害を、政治家や官僚等への批判を同等にし、人権侵害として取り扱うのは問題だと思う。
- ・インターネットや SNS よりもテレビや新聞、雑誌等による人権侵害の方が問題である。
- ・問題が起きた時に越えていかなければいけない壁やアクションが多すぎて、泣き寝入りへの誘導が自然に発生する構図に問題があると思う。
- ・法の壁、金銭の壁があり被害者は泣き寝入り、自業自得になっている風習。
- ・エロサイト広告などへの規制がされてない など

人権に関する市民意識調査

令和7（2025）年度

回答方法は2種類あります

●この用紙に回答する方法

OR

●インターネットで回答する方法

同封の「インターネットでのご回答」を参照ください

回答した後は・・・

2025 年

5 月 30 日（金） までに

同封の返信用封筒に入れていただき、
郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）

🕒 所要時間

15～30 分

✍ 設問数

39 問 14 ページ

ご協力よろしくおねがいいたします

- この調査は、国籍を問わず、市民の方に向けたものです。
- 回答は任意ですが、多くの回答をいただくことが、信頼できる調査結果につながります。調査の趣旨をご理解いただいた上で、ご協力をお願いします。
- このアンケート用紙を返信用封筒に入れ、投函することで、本調査への協力に同意いただいたものとします。
- この調査の目的上、不快に感じられる表現や、不適切とされる表現を含む場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

がいこくじんしみん

【外国人市民のかたへ】

英語、中国語（簡体字）、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、ベトナム語、日本語（ルビ付き）のアンケートもあります。ほしい人は044-200-2316に電話してください。

アンケートにかんするお問い合わせ先

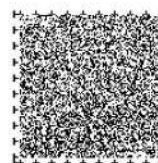
川崎市 市民文化局 人権・男女共同参画室

TEL：044-200-2316

E-mail：25zinken@city.kawasaki.jp

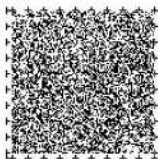
業務委託先 株式会社ステージワン

右のマークは
音声コードです。



アンケート用紙記入に際してのお願い

- > 封筒の宛名のご本人が回答してください。
- > ご本人による記入が難しい場合は、身近な方がご本人のお考えを聞きながら記入してください。
- > お答えは、あてはまる番号を○で囲むか、数字や文字を記入してください。
- > ○の数は「1つ」「いくつでも」など、指定された範囲内でお答えください。
- > あてはまる選択肢がない場合は、もっとも近いと思うものを選んでください。
- > 答えたくない質問や、答えられない質問がある場合は、次の質問に進んでください。
- > 鉛筆もしくはボールペン（黒か青）を使用してください。
- > 無記名で回答してください。



問8 あなたの現在の職業をお答えください。
(いくつかあてはまる場合は、主なものに○を1つ)

- 1 自営業(商店・農業など自分で事業をしている人)又はその家族従業員
- 2 常勤
- 3 非常勤(パート・アルバイトなど)
- 4 学生
- 5 主に家事に従事している
- 6 職業についていない(年金などで生活している人を含む)
- 7 その他()

問9 あなたの世帯の年収(税込み)は次のどの範囲かお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| 1 0～149万円 | 3 300～499万円 | 5 900万円以上 |
| 2 150～299万円 | 4 500～899万円 | 6 答えたくない |

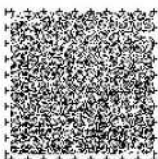
① ここからは、人権全般について、あなたの考えなどをうかがいます

問10 あなたは人権について興味や関心がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|------|
| 1 ある | 3 どちらともいえない | 5 ない |
| 2 どちらかといえばある | 4 どちらかといえばない | |

問11 あなたが関心のある人権課題についてお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 1 子どもの人権 | 10 北朝鮮当局によって拉致された被害者などの人権 |
| 2 男女平等に関わる人権 | 11 性的マイノリティの人権 |
| 3 高齢者の人権 | 12 アイヌの人々の人権 |
| 4 障害者の人権 | 13 犯罪被害者やその家族の人権 |
| 5 部落差別(同和問題) | 14 インターネットやSNSによる人権侵害 |
| 6 外国人の人権 | 15 人身取引(性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引)被害者の人権 |
| 7 HIV感染者・ハンセン病患者などの人権 | 16 刑を終えて出所した人の人権 |
| 8 新型コロナウイルス感染症に関する人権 | 17 貧困問題(生活困窮、ホームレスなど)に関する人権 |
| 9 ホームレスの人権 | 18 その他() |

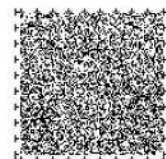


問 12 人権について、あなたが知っていることをお答えください。(○はいくつでも)

- 1 基本的人権は侵すことのできない永久の権利として憲法で保障されている。
- 2 すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されないと憲法に規定されている。
- 3 婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならないと憲法に規定されている。
- 4 川崎市では、全ての市民が不当な差別を受けることなく、個人として尊重され、生き生きと暮らすことができる人権尊重のまちづくりを推進していくために、「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」を制定した。

問 13 国や市の機関のさまざまな人権相談窓口について、あなたが知っているものをお答えください。(○はいくつでも)

- 1 みんなの人権 110 番 (法務省)
- 2 こどもの人権 110 番 (法務省)
- 3 女性の人権ホットライン (法務省)
- 4 インターネット人権相談受付窓口 (法務省)
- 5 人権擁護委員による人権相談 (横浜地方法務局川崎支局)
- 6 かわさき人権相談 (川崎市人権・男女共同参画室)
- 7 児童相談所虐待対応ダイヤル 189 (こども家庭庁)
- 8 かながわ子ども・若者総合相談 LINE (神奈川県)
- 9 子どもの権利侵害の電話相談 (川崎市人権オンブズパーソン)
- 10 男女平等にかかわる人権侵害の電話相談 (川崎市人権オンブズパーソン)
- 11 ハロー・ウィメンズ 110 番 (川崎市男女共同参画センター)
- 12 男性のための電話相談 (川崎市男女共同参画センター)
- 13 川崎市 DV 相談支援センター (電話相談) (川崎市児童家庭支援・虐待対策室)
- 14 DV 相談ナビ (内閣府)
- 15 DV 相談+ (プラス) (内閣府)
- 16 多文化共生総合相談ワンストップセンター (川崎市国際交流センター)
- 17 こころの電話相談 (川崎市総合リハビリテーション推進センター)
- 18 川崎いのちの電話
- 19 川崎市生活自立・仕事相談センター (だい J O B センター)



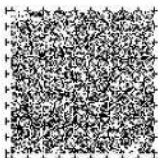
問 14 あなたは、次のそれぞれの人権課題について、現在、差別があると思いますか。
あなたの考えに近いものに○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	ある	多少ある	いささかある かいない	ほとんど ない
(1) 子どもの人権	1	2	3	4
(2) 男女平等に関わる人権	1	2	3	4
(3) 高齢者の人権	1	2	3	4
(4) 障害者の人権	1	2	3	4
(5) 部落差別（同和問題）※	1	2	3	4
(6) 外国人の人権	1	2	3	4
(7) HIV 感染者・ハンセン病患者などの人権	1	2	3	4
(8) 新型コロナウイルス感染症に関する人権	1	2	3	4
(9) ホームレスの人権	1	2	3	4
(10) 北朝鮮当局によって拉致された被害者などの人権	1	2	3	4
(11) 性的マイノリティの人権	1	2	3	4
(12) アイヌの人々の人権	1	2	3	4
(13) 犯罪被害者やその家族の人権	1	2	3	4
(14) インターネットや SNS による人権侵害	1	2	3	4
(15) 人身取引（性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引） 被害者の人権	1	2	3	4
(16) 刑を終えて出所した人の人権	1	2	3	4
(17) 貧困問題（生活困窮、ホームレスなど）に関する人権	1	2	3	4

※部落差別（同和問題）：同和地区などと呼ばれる地域出身者であることや、そこに住んでいるというだけで、日常のさまざまな場面で差別を受ける問題のことをいう。

問 15 「人権侵害」について、あなたの考えに近いものはどれですか。（○は1つ）

- 1 あってはならない 2 あるのは仕方ない 3 わからない



問 17 もし、あなた自身やご家族の人権が侵害された場合、あなたは、どのように対応しますか。
(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 黙って我慢する | 6 市役所に相談する |
| 2 相手に抗議する | 7 警察に相談する |
| 3 身近な人に相談する | 8 民間の人権擁護団体に相談する |
| 4 弁護士に相談する | 9 その他 () |
| 5 法務局又は人権擁護委員に相談する | 10 わからない |

問 18 あなたは、川崎市では、一人ひとりの人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)

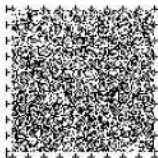
- 1 そう思う 2 どちらともいえない 3 そう思わない 4 わからない

問 19 あなたは、川崎市では、一人ひとりが互いに違いを認め合い、共に暮らしていける
社会になっていると思いますか。(○は1つ)

- 1 そう思う 2 どちらともいえない 3 そう思わない 4 わからない

問 20 あなたは、不当な差別を解消し、人権尊重のまちづくりを推進する上で、市民の理解を
深めるためには、どのような取組が効果があると思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1 市や県の広報紙での広報 | 7 小・中学校教育の一環で説明 |
| 2 リーフレットの配布 | 8 インターネットや SNS |
| 3 図書館、市民館等でのポスターの掲示 | 9 その他 () |
| 4 主要駅等でのポスターの掲示 | 10 特になし |
| 5 その他掲示物(立看板・懸垂幕など)の掲示 | 11 わからない |
| 6 講演会・研修会・イベントの開催 | |

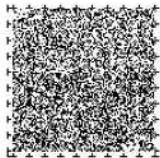


問 21

- 8 その他 ()

問 22

- 3 どちらともいえない

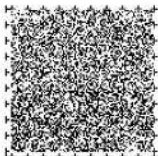


問 23 男女平等に関わる人権について、課題や問題だと思うのは次のうちどれですか。
(○はいくつでも)

- 1 「男は仕事、女は家庭」といった意識や考え方
- 2 職場における男女の待遇の違い（就職時の採用条件、仕事の内容、昇給昇進における男女差など）
- 3 職場や学校などでのセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）
- 4 配偶者や恋人などの親しい関係にあるパートナーからの暴力（殴る、暴言、行動を監視するなど）
- 5 売春・買春（援助交際を含む）
- 6 テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットや SNS などによる女性の性を強調する情報
- 7 女性に対する犯罪や暴力に関する支援・相談体制が十分ではない
- 8 政治、経済、社会などの分野における政策・方針決定過程への女性の参加比率が低い
- 9 その他（ ）
- 10 特にない
- 11 わからない

問 24 あなたは、子どもが成長したことなどにより再就職を希望する女性に対して、その配偶者又はパートナーが「男は仕事、女は家庭」と反対することについて、どう思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 当然のことと思う | 4 どちらかといえばおかしいと思う |
| 2 どちらかといえば当然のことと思う | 5 おかしいと思う |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

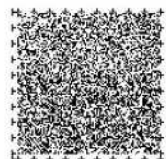


問 25 高齢者の人権について、課題や問題だと思うのは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

- 1 働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと
- 2 差別的な発言や行為を受けること
- 3 アパートや住宅への入居が困難なこと
- 4 家庭内の看護や介護において処遇が十分でなかったり、虐待があること
- 5 病院や福祉施設内において処遇が十分でなかったり、虐待があること
- 6 在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと
- 7 悪質商法、特殊詐欺のターゲットとされること
- 8 高齢者虐待防止法が十分に知られていないこと
- 9 その他 ()
- 10 特にない
- 11 わからない

問 26 あなたは、「高齢者は情報や考え方が古いので、高齢者の意見は尊重されなくてもよい」と思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 そう思わない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

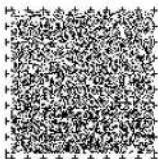


問 27 障害者の人権について、課題や問題だと思うのは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

- 1 じろじろ見たり、避けたりすること
- 2 障害のある人の意思を尊重しないこと
- 3 差別的な発言や行為を受けること
- 4 アパートや住宅への入居が困難なこと
- 5 働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと
- 6 結婚を周囲から反対されること
- 7 家庭内の看護や介護において処遇が十分でなかったり、虐待があること
- 8 病院や福祉施設内において処遇が十分でなかったり、虐待があること
- 9 入院治療が必要なのに、入院させること
- 10 在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと
- 11 道路の段差解消、音声案内の設置など、障害に配慮した社会基盤の整備が十分でないこと
- 12 学校の受け入れ体制が十分でないこと
- 13 スポーツ、文化活動、地域活動に気軽に参加できないこと
- 14 地域の人と交流する機会が少ないこと
- 15 店舗などの商業施設が気軽に利用できないこと
- 16 手話、筆談、書類の読み上げ、資料のルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとらないこと
- 17 障害者差別解消法が十分に知られていないこと
- 18 その他 ()
- 19 特にない
- 20 わからない

問 28 あなたは、車いすの人、盲導犬や介助犬などを連れた人が、正当な理由なく店舗への入店を断られることがあることについて、どう思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 当然のことと思う | 4 どちらかといえばおかしいと思う |
| 2 どちらかといえば当然のことと思う | 5 おかしいと思う |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |



問 32 外国人の人権について、どのような場面で、課題や問題があると思いますか。
(○はいくつでも)

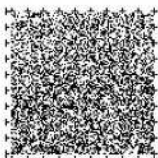
- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 公的機関などの窓口で手続をするとき | 9 就職や仕事上で |
| 2 友人との交際のとき | 10 マスコミの報道の中で |
| 3 近所の人とのつきあいの中で | 11 参政権が与えられていないこと |
| 4 学校生活の中で | 12 いわゆる差別的な発言や行為で |
| 5 住まいを探すとき | 13 その他 |
| 6 結婚するとき | () |
| 7 社会保障制度の面で | 14 特にない |
| 8 街を歩いていた、店に入るとき | 15 わからない |

問 33 あなたは、「人権について、外国人よりも自国民の方が優先されるべきだ」と思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 そう思わない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 34 あなたは、「北朝鮮当局による日本人拉致は、我が国の主権及び国民の生命と安全に関する重大な問題である」と思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 そう思わない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |



問 35 あなたは、拉致問題について理解を深め、関心を持ち続けてもらうためには、どのような取組が効果があると思いますか。(○はいくつでも)

- 1 拉致被害者の家族(親族)による講演会
- 2 拉致問題をテーマとした舞台の上演
- 3 拉致問題をテーマとした映画の上映
- 4 拉致問題をテーマとしたアニメの上映
- 5 拉致被害者と家族の写真展
- 6 拉致被害者の家族(親族)によるメッセージ動画の放映
- 7 その他()
- 8 特にない
- 9 わからない

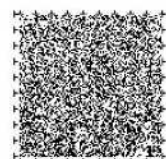
問 36 性的マイノリティの人権について、課題や問題だと思うのは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

- 1 性的マイノリティに対する社会的理解が不十分で、誤解や偏見があること
- 2 就職や仕事の内容、待遇などで不利な扱いをすること
- 3 地域社会・職場・家庭・学校などにおいて排除し、孤立させること
- 4 嫌がらせをしたり、蔑称で呼ぶなどの差別的な言動をすること
- 5 法整備などが十分でないこと
- 6 就職や住居への入居などの際に性別について聞くこと
- 7 性的マイノリティのための相談・支援体制が十分でないこと
- 8 性的マイノリティであることをアウティング[※]されてしまうこと
- 9 その他()
- 10 特にない
- 11 わからない

※アウティング: 本人の意思を無視して、暴露すること(本人の同意なく暴露してしまうこと)をいう。

問 37 あなたは、「性別について、『男』『女』という区分には必ずしも当てはまらない人や、体と心の性が一致しない人などがいる」と思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 そう思わない |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |



問 38 インターネットや SNS による人権侵害について、課題や問題だと思うのは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

- 1 他人の誹謗中傷や差別的表現など、人権を侵害する情報を掲載すること
- 2 出会い系サイトや裏サイト・闇サイトなど、犯罪を誘発する場となっていること
- 3 事件の捜査対象になっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること
- 4 児童ポルノの温床になっていること
- 5 一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること
- 6 インターネットや SNS 上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制が十分でないこと
- 7 法規制が不十分であったり、違法な情報発信者に対する監視や取締りが十分でないこと
- 8 その他 ()
- 9 特にない
- 10 わからない

問 39 あなたは、匿名性の高いインターネット上で、差別的な書き込みが行われることについて、どう思いますか。(○は1つ)

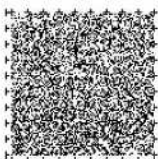
- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 仕方ない | 4 どちらかといえばおかしいと思う |
| 2 どちらかといえば仕方ない | 5 おかしいと思う |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

ご協力ありがとうございました。

記入したアンケートは、返信用封筒に入れ、5月30日(金)までに郵便ポストに投函してください。

お手数をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

(このアンケート用紙や封筒には、お名前やご住所を記入しないでください。)



川崎市 人権に関する市民意識調査
調査結果報告書

令和8（2026）年2月

川崎市 市民文化局 人権・男女共同参画室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

T E L : 044-200-2316 F A X : 044-200-3914



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市